

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (23/24)】

深度(m) **破碎部No.63(OS-4孔)**

99.4 99.5 99.6 99.7 99.8



コア写真

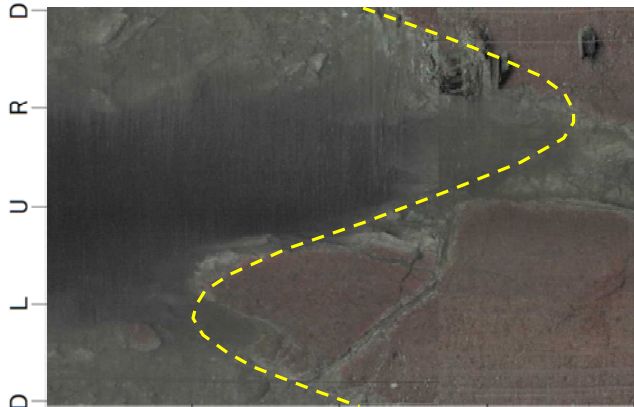
== 破碎部

・厚さ5.0~5.4cmの砂状破碎部



深度(m)

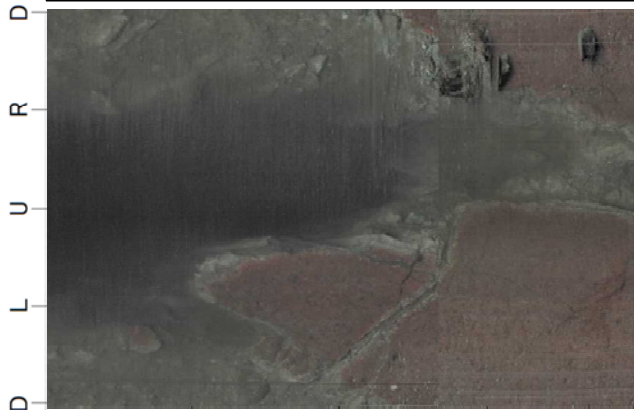
99.4 99.5 99.6 99.7 99.8



N58° E/72° SE*

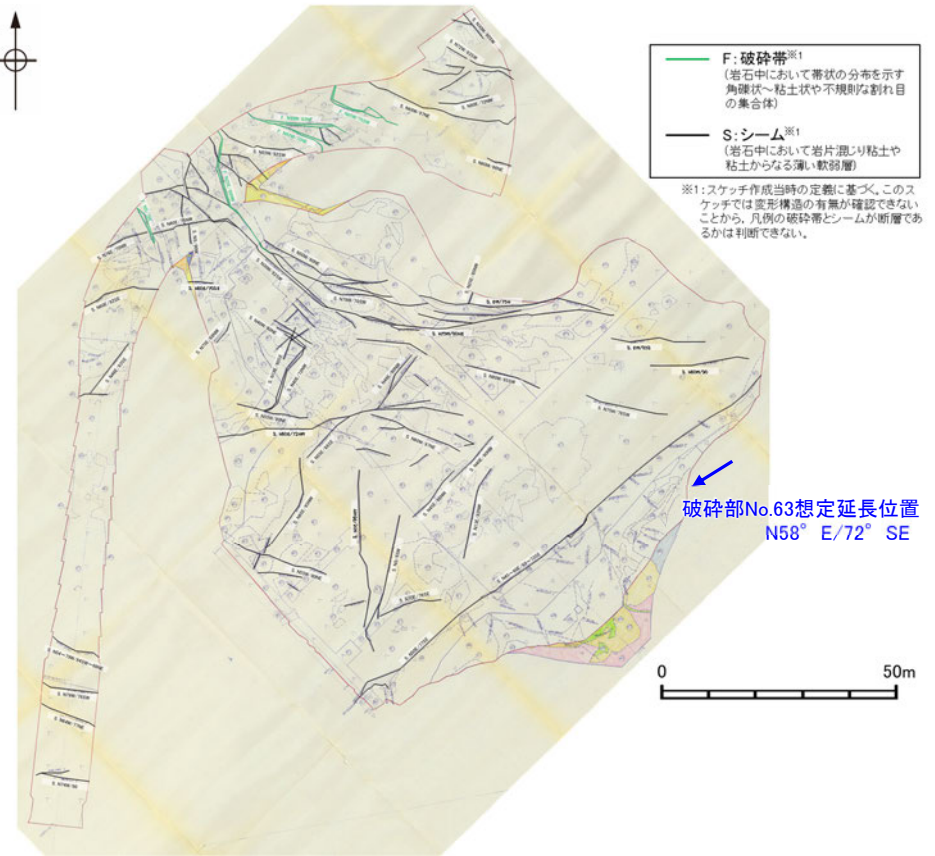
深度(m)

99.4 99.5 99.6 99.7 99.8



BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)

※:破碎部の主せん断面の走向・傾斜は孔壁が崩れて確認できなかったため、破碎部下端の母岩境界の走向・傾斜を用いた。



F: 破碎帯^{※1}
 (岩石中において帯状の分布を示す角礫状~粘土状や不規則な割れ目の集合体)

S: シーム^{※1}
 (岩石中において岩片混じり粘土や粘土からなる薄い軟弱層)

※1:スケッチ作成当時の定義に基づく。このスケッチでは変形構造の有無が確認できないことから、凡例の破碎帯とシームが断層であるかは判断できない。

破碎部No.63 想定延長位置
 N58° E/72° SE

大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (24/24)】

深度(m) 100.7 100.8 100.9 101.0

破碎部No.65(OS-4孔)

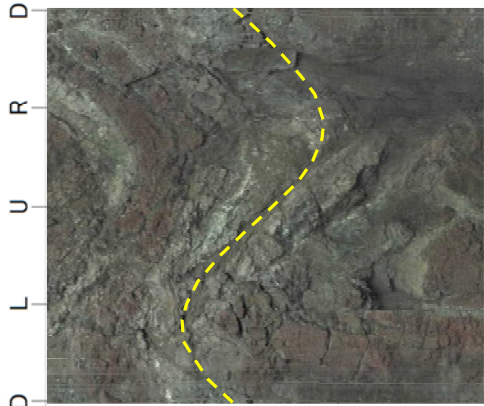


・厚さ1.2~1.4cmの粘土状破碎部及び厚さ3.0~4.0cmの固結した破碎部

コア写真

== 破碎部

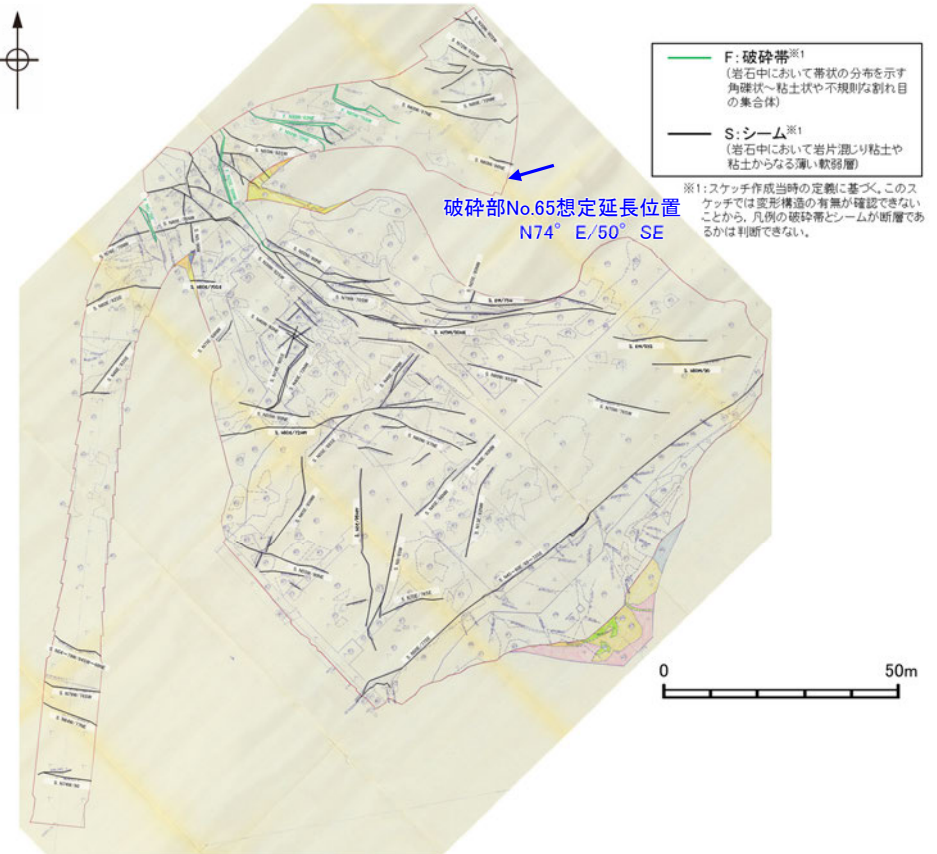
深度(m) 100.7 100.8 100.9 101.0 深度(m) 100.7 100.8 100.9 101.0



N74° E/50° SE



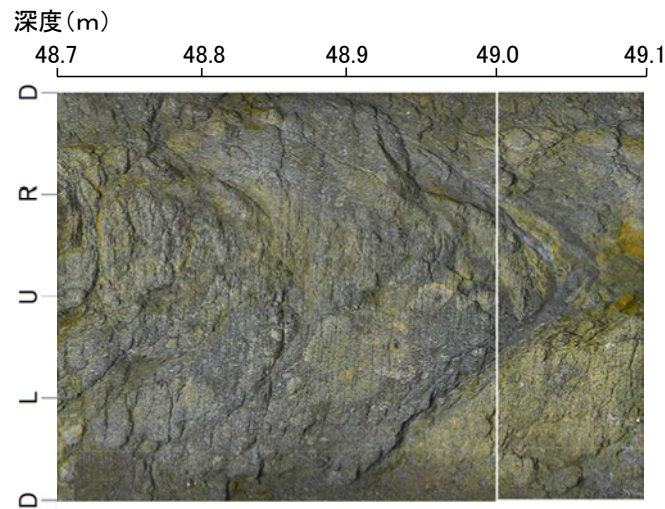
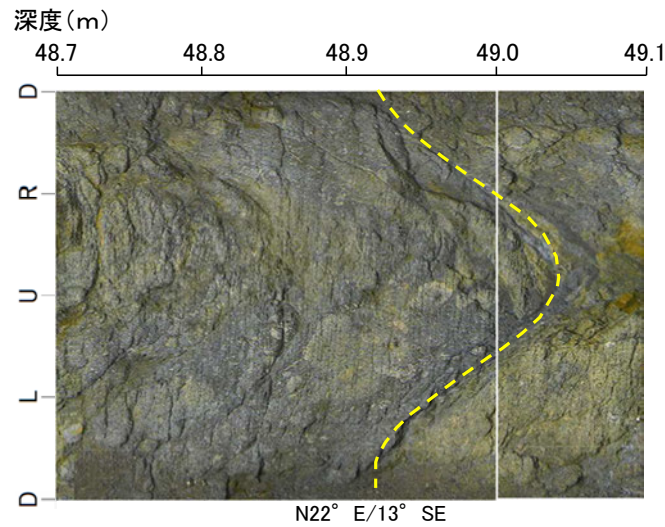
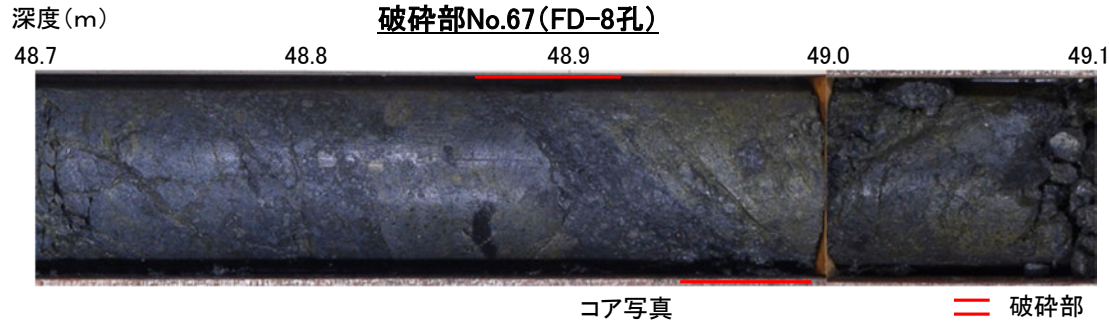
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



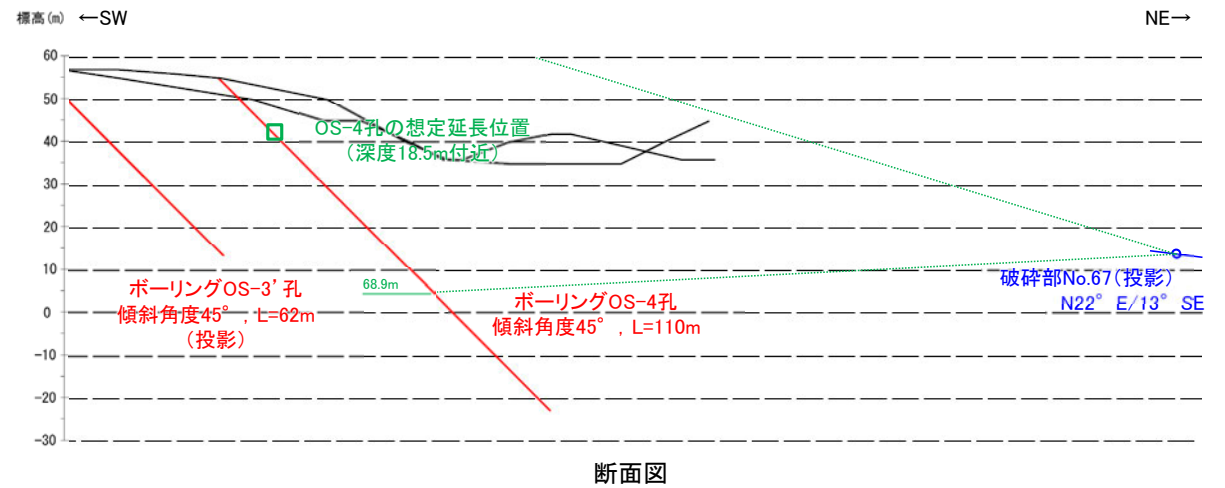
大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-8孔) (1/2)】



BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(0.0~68.9m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-8孔) (2/2)】

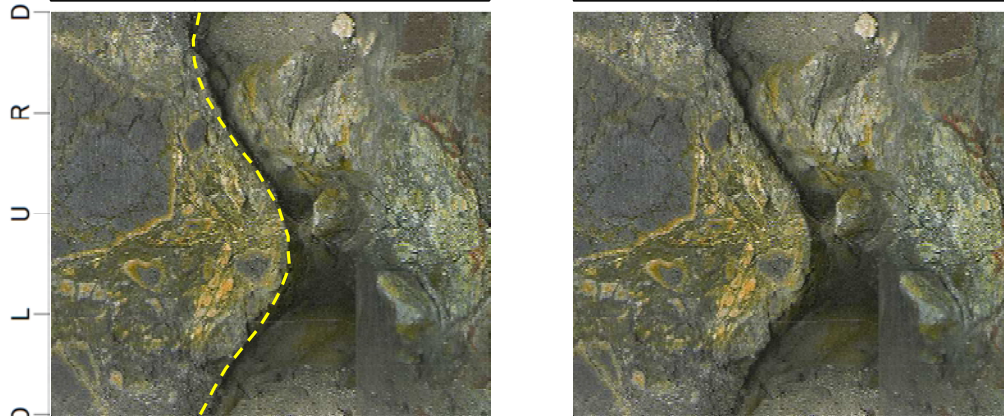
深度(m) **破碎部No.68(FD-8孔)**
61.7 61.8 61.9 62.0



・厚さ1.5cmの粘土状破碎部及び
厚さ10.5cmの固結した破碎部

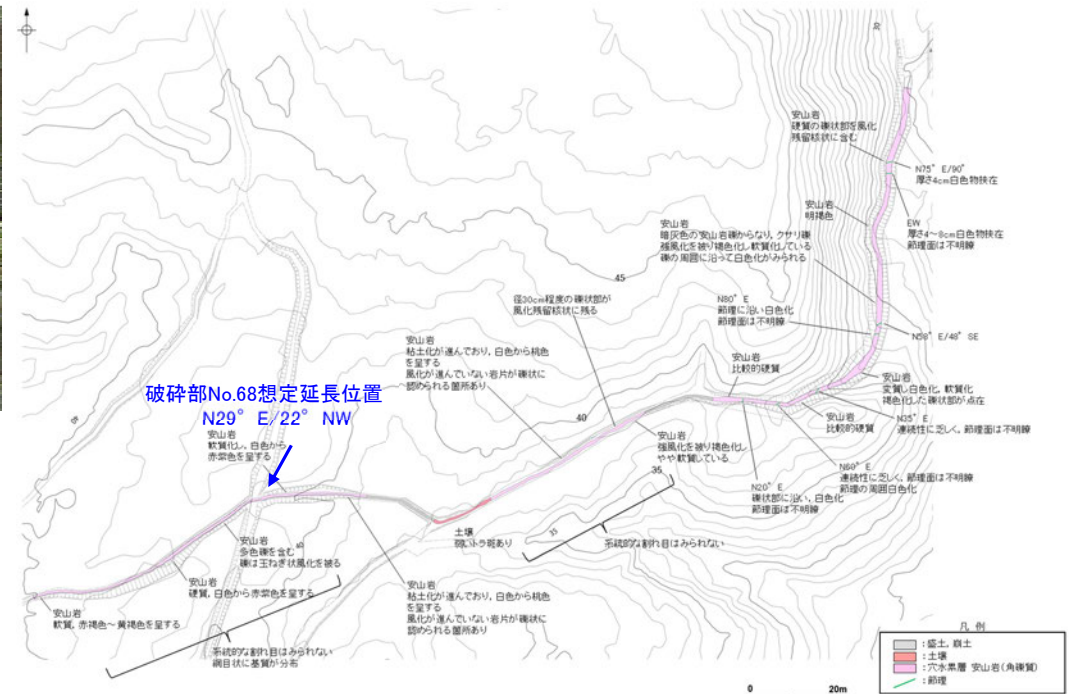
コア写真 — 破碎部

深度(m) 61.7 61.8 61.9 62.0 深度(m) 61.7 61.8 61.9 62.0



N29° E/22° NW

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

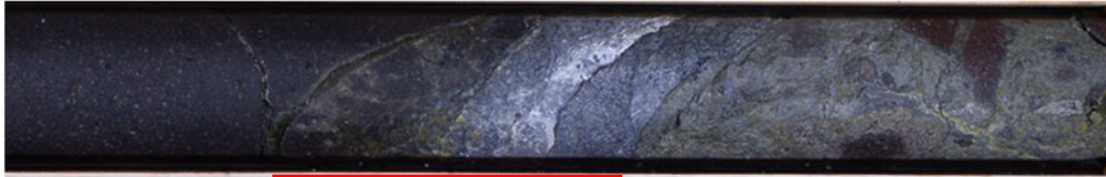


表土はぎ調査結果(ルートマップ)

走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップFの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-9孔) (1/1)】

深度(m) **破碎部No.70(FD-9孔)**
 24.5 24.6 24.7 24.8 24.9 25.0

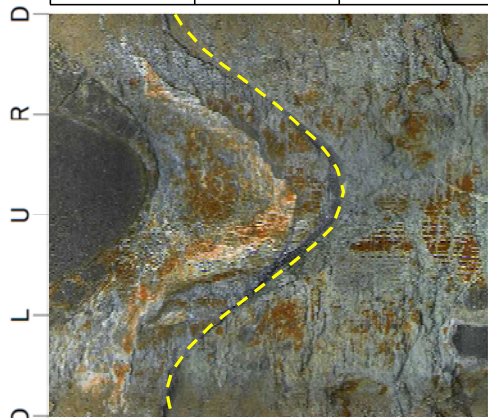


コア写真

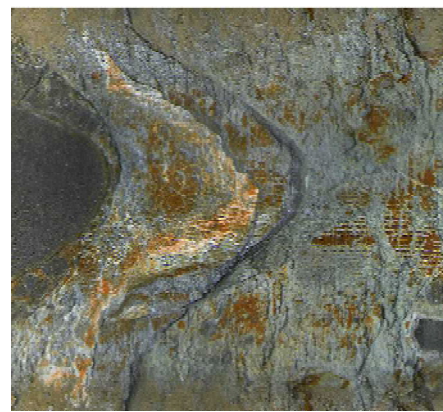
＝ 破碎部

・厚さ1.0cmの粘土状破碎部及び
 厚さ12cmの固結した破碎部

深度(m) 24.7 24.8 24.9 25.0 深度(m) 24.7 24.8 24.9 25.0

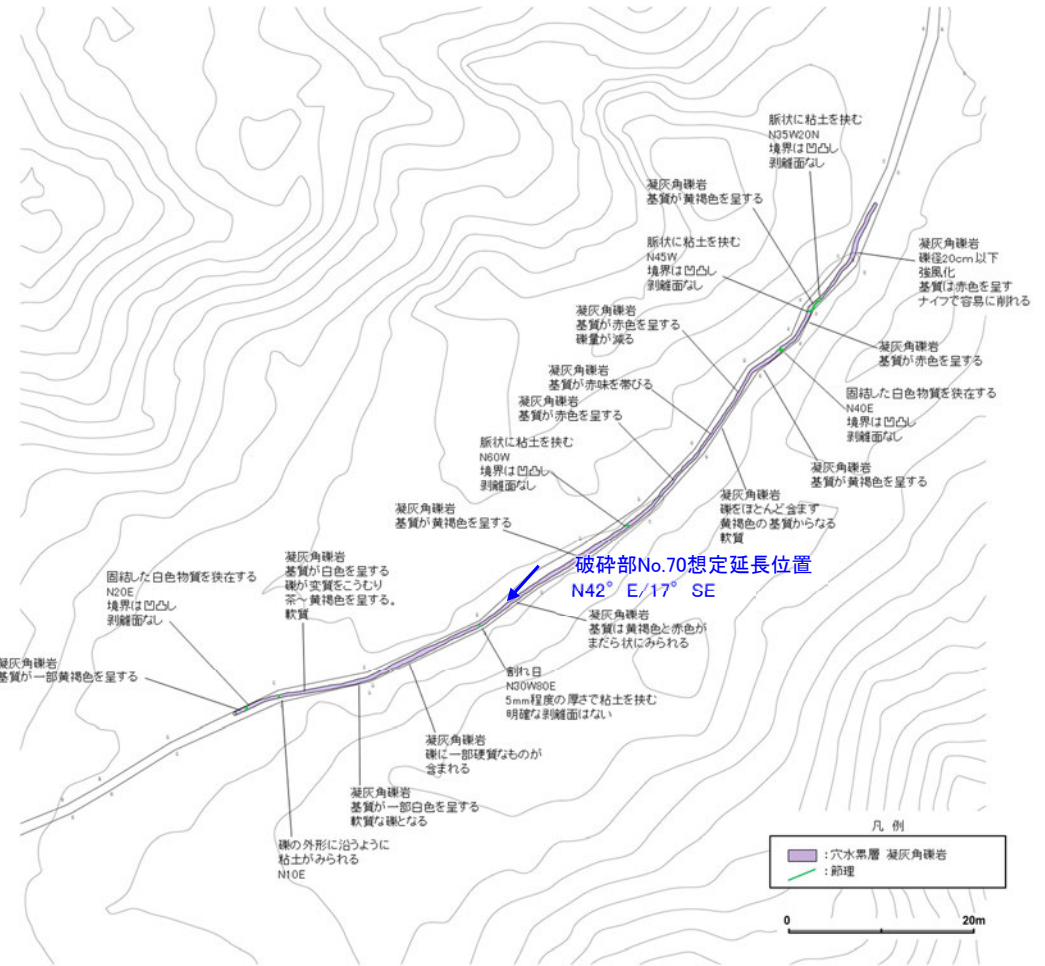


N42° E/17° SE

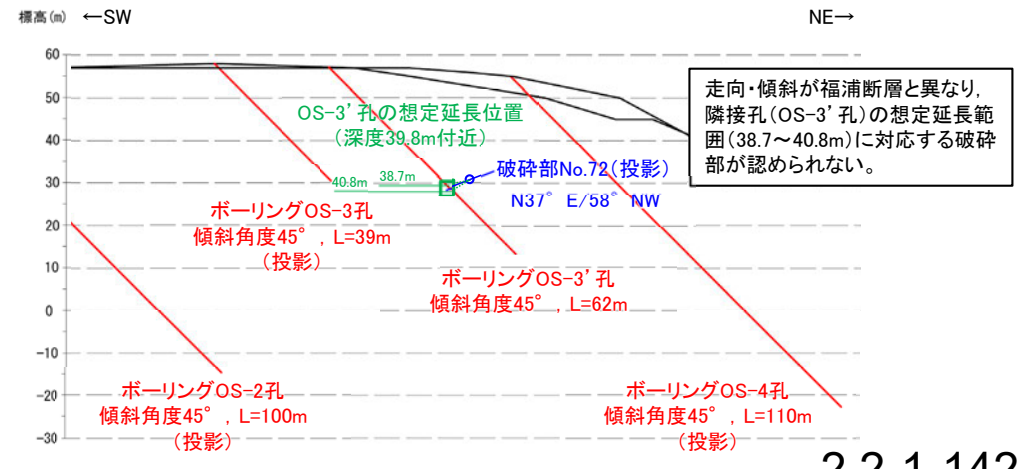
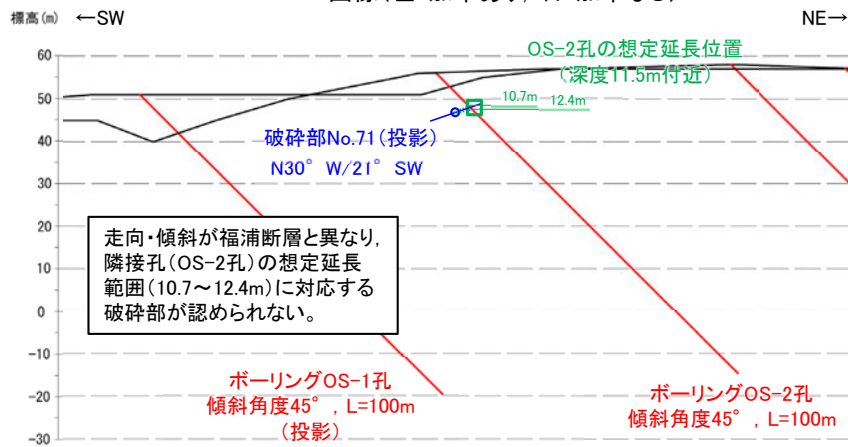
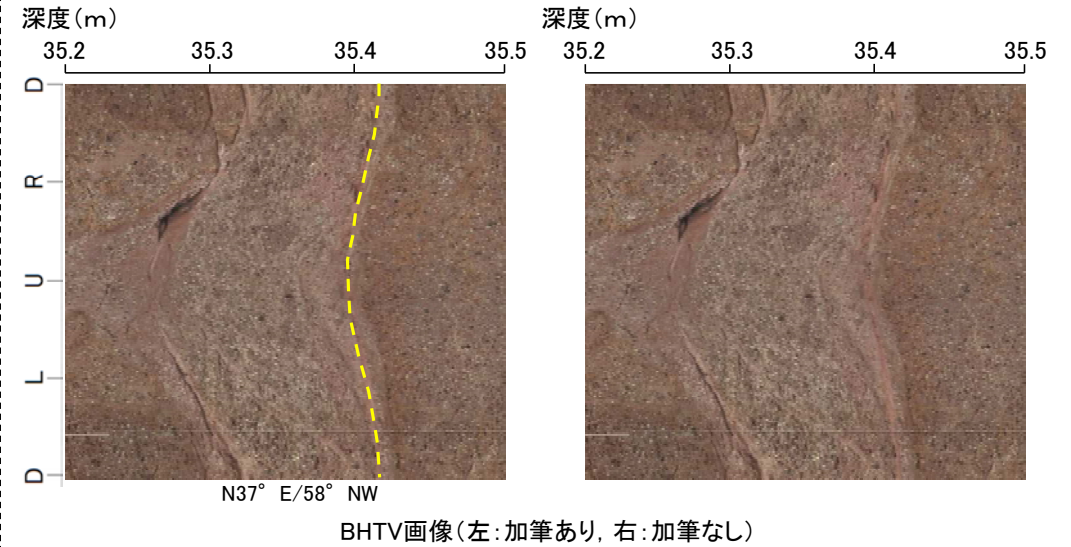
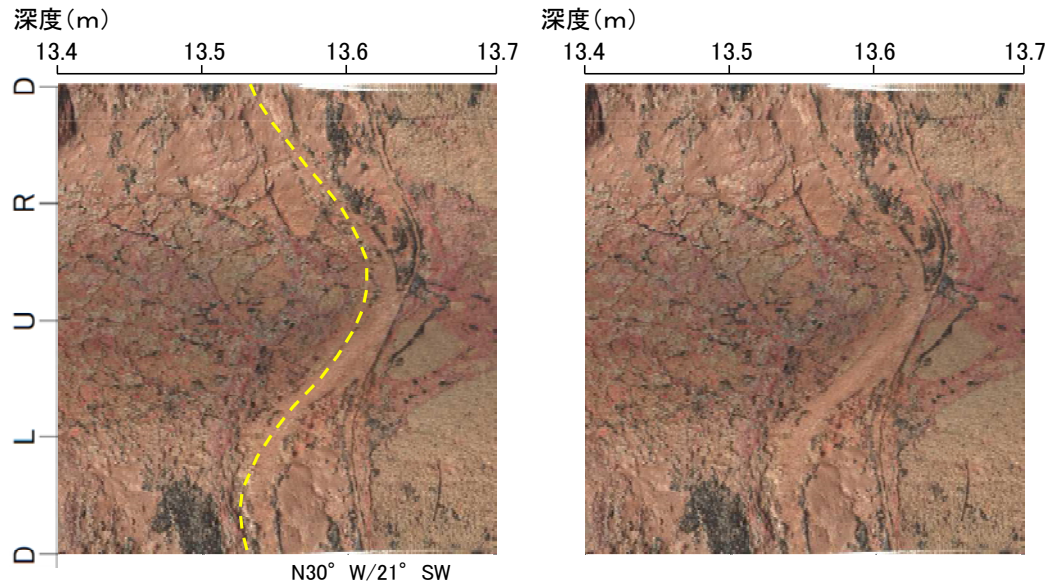
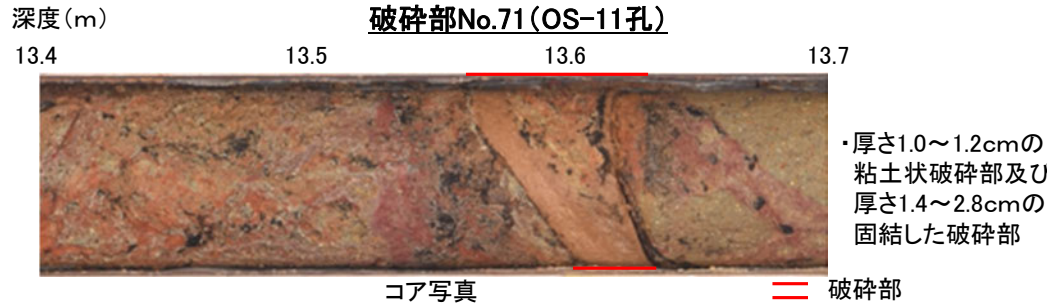


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

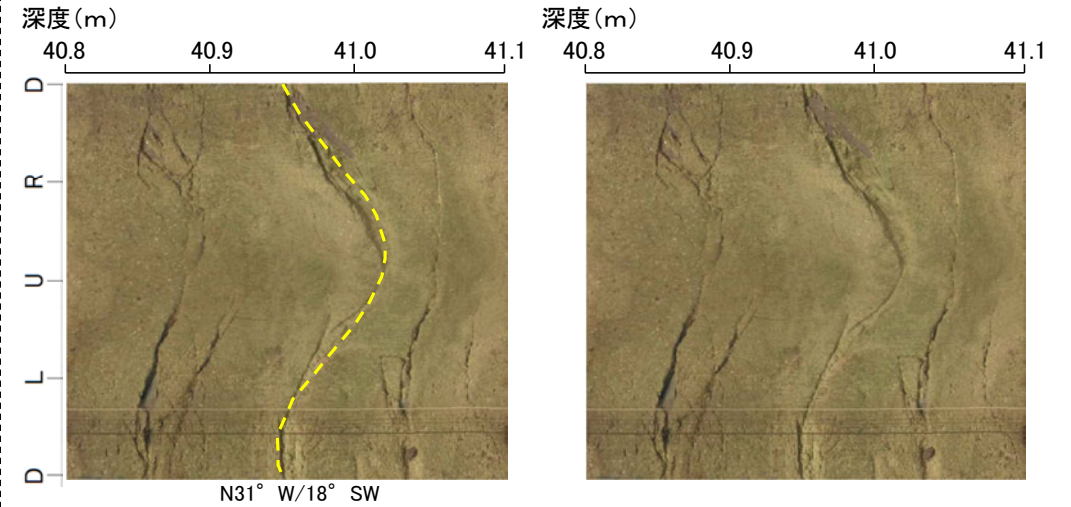
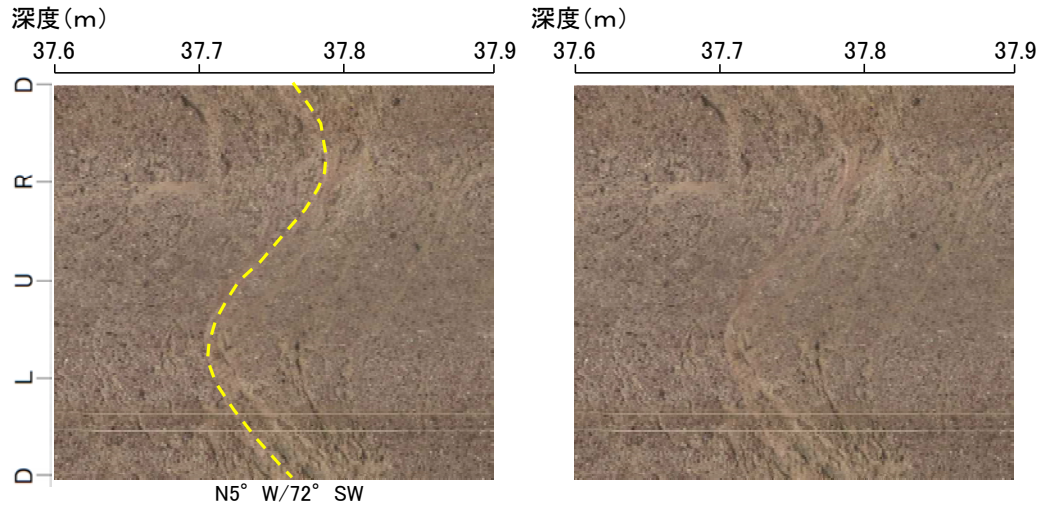
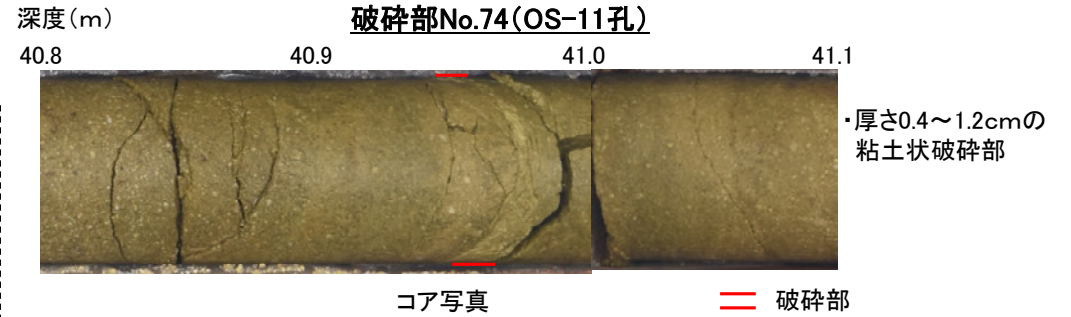
走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。



【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-11孔) (1/4)】

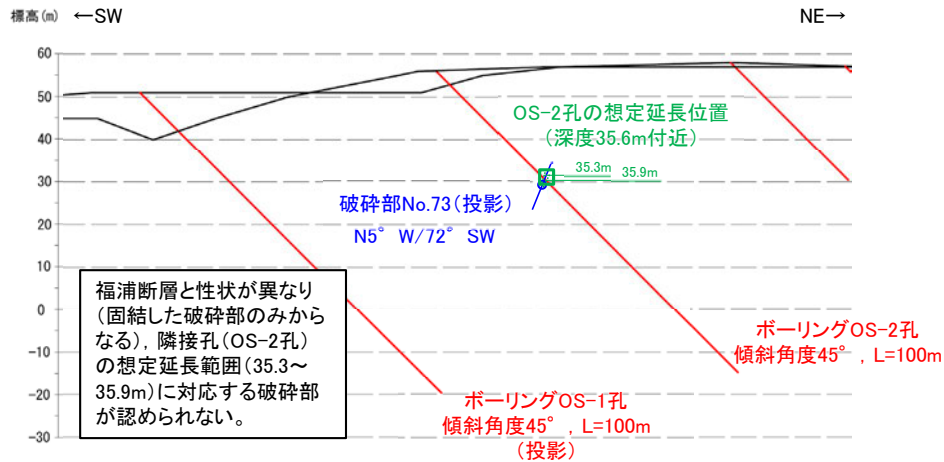


【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-11孔) (2/4)】

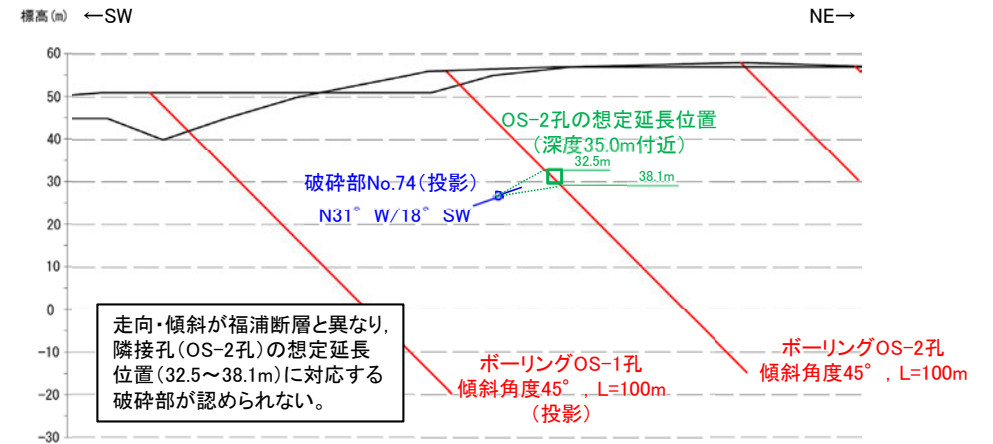


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

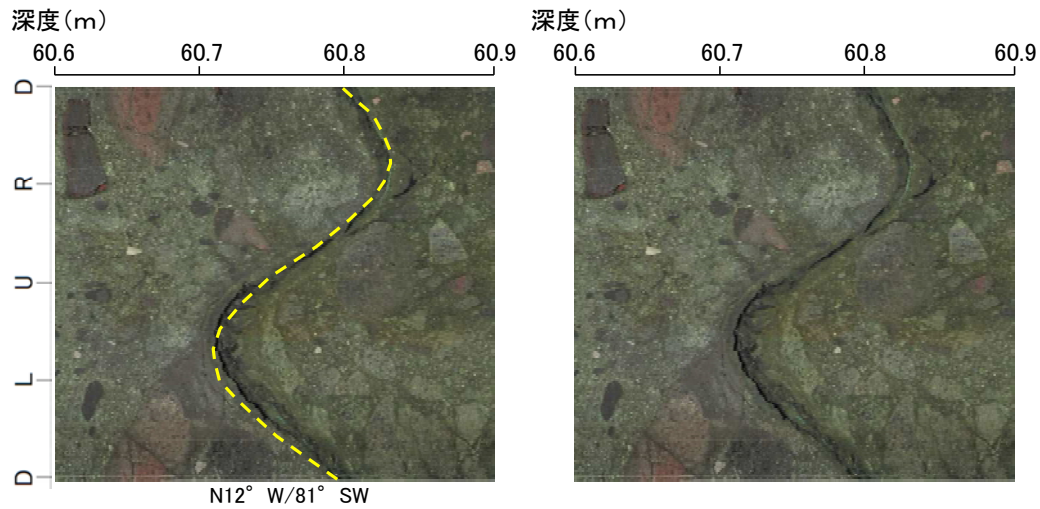
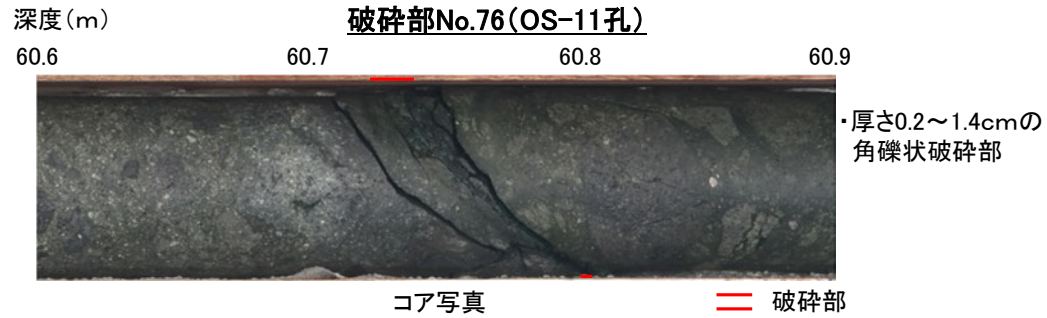


断面図

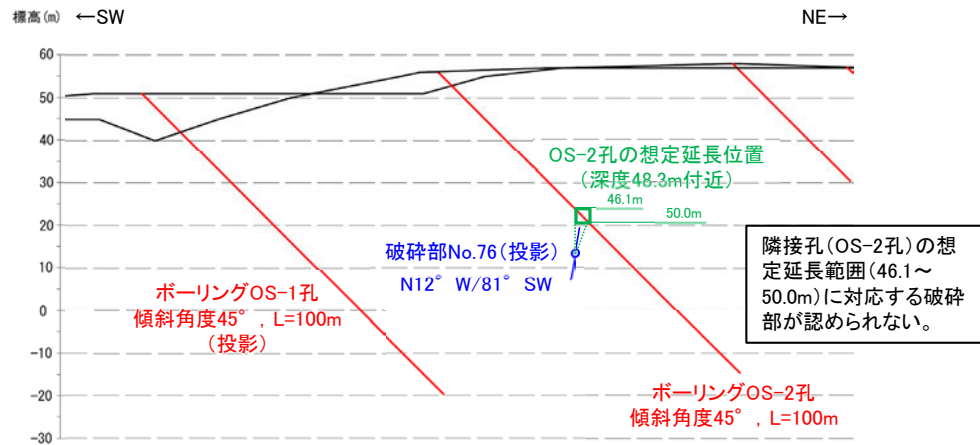


断面図

【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-11孔) (3/4)】

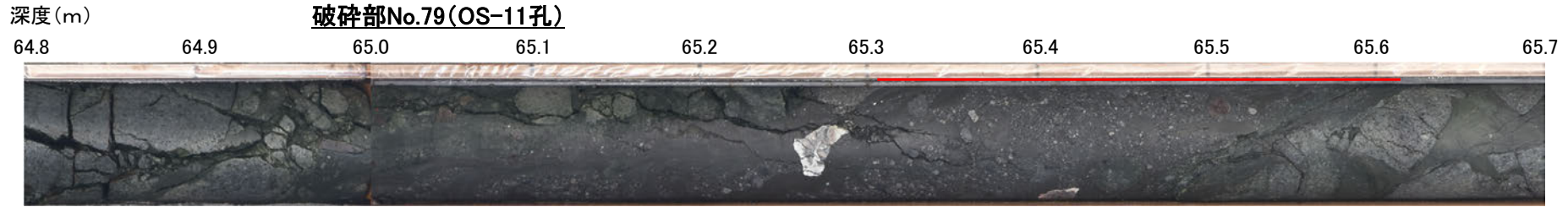


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



断面図

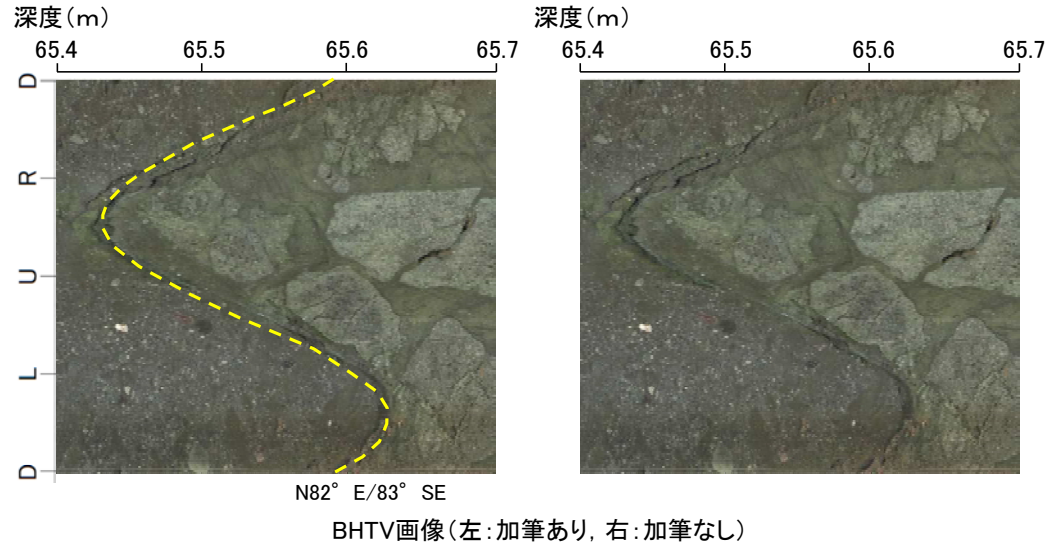
【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-11孔) (4/4)】



・厚さ0.2~0.5cmの砂状破碎部及び厚さ17~31cmの固結した破碎部

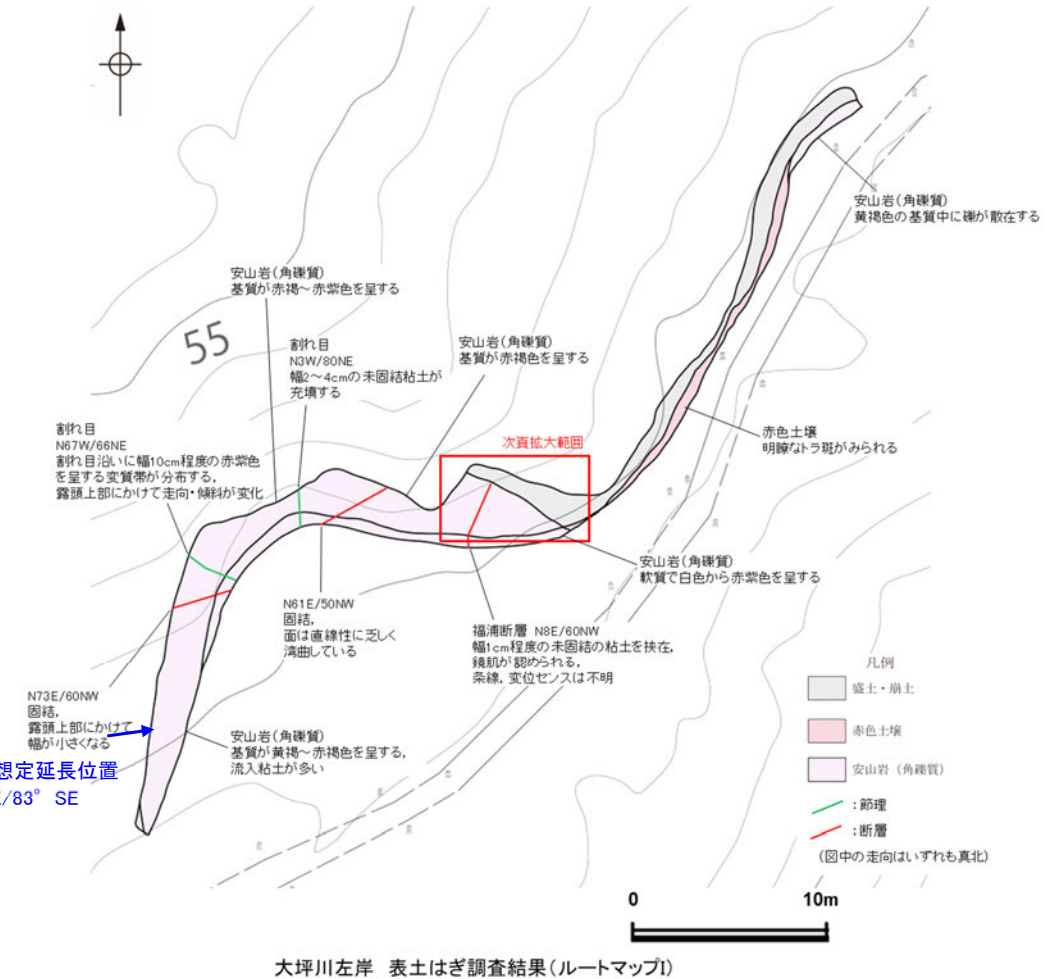
コア写真

== 破碎部



破碎部No.79想定延長位置
N82° E/83° SE

走向・傾斜が福浦断層と異なり, ルートマップの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。



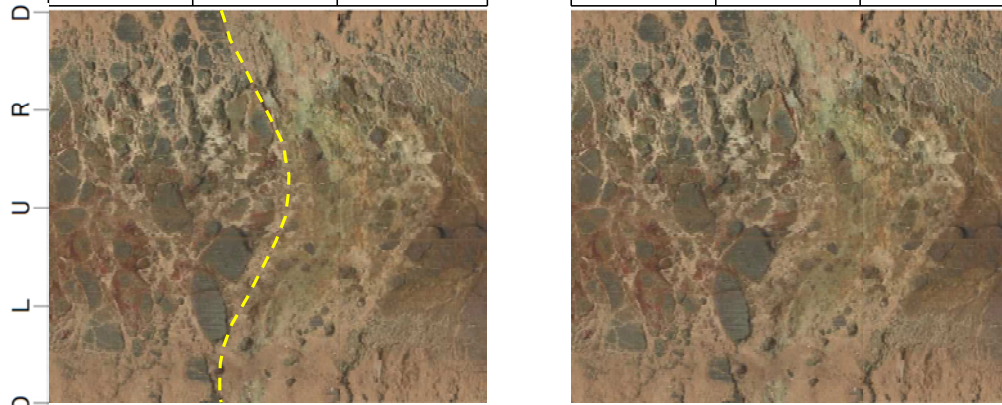
【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-6孔) (1/1)】

深度(m) **破碎部No.80(FD-6孔)**
 44.8 44.9 45.0 45.1



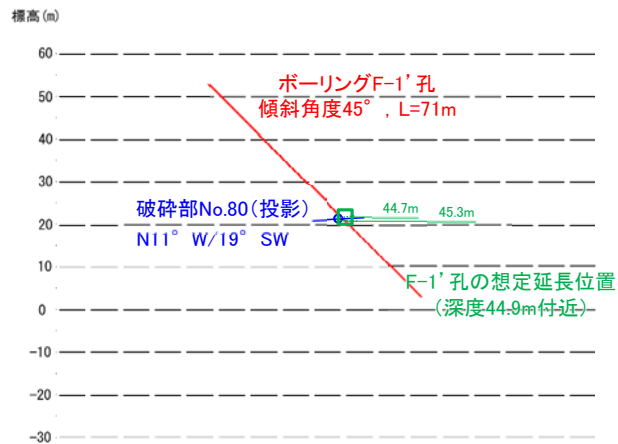
・厚さ7.0~7.5cmの砂状破碎部

深度(m) コア写真 深度(m) 破碎部
 44.8 44.9 45.0 45.1 44.8 44.9 45.0 45.1



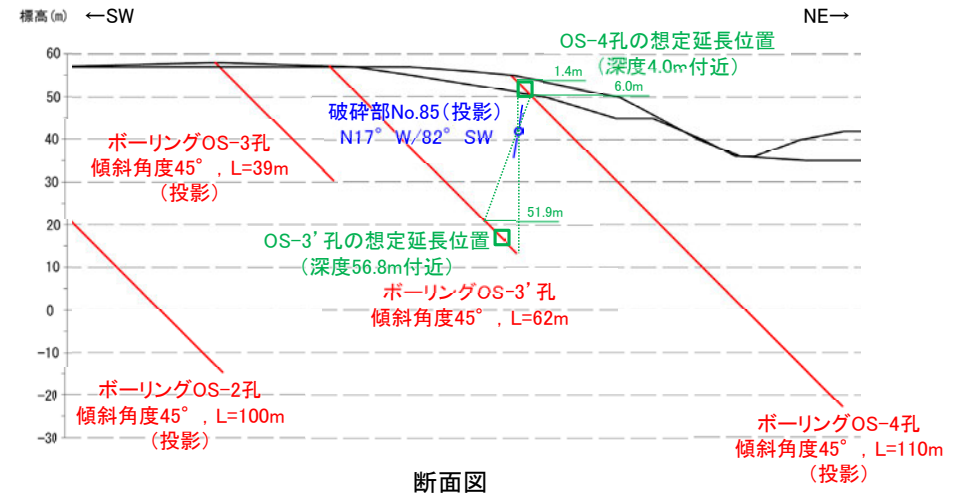
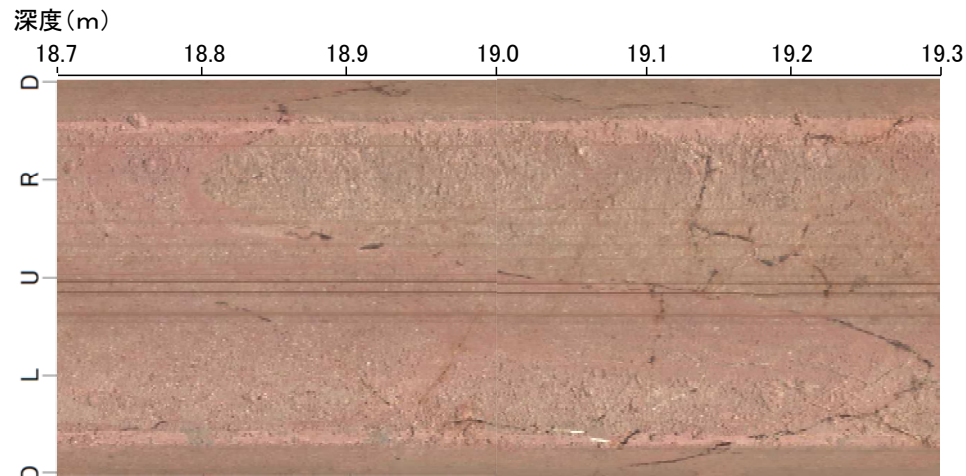
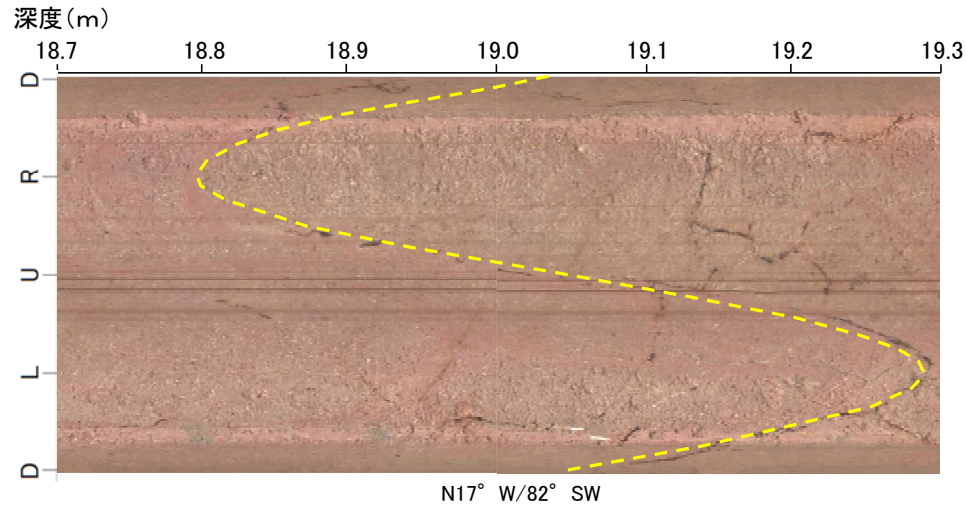
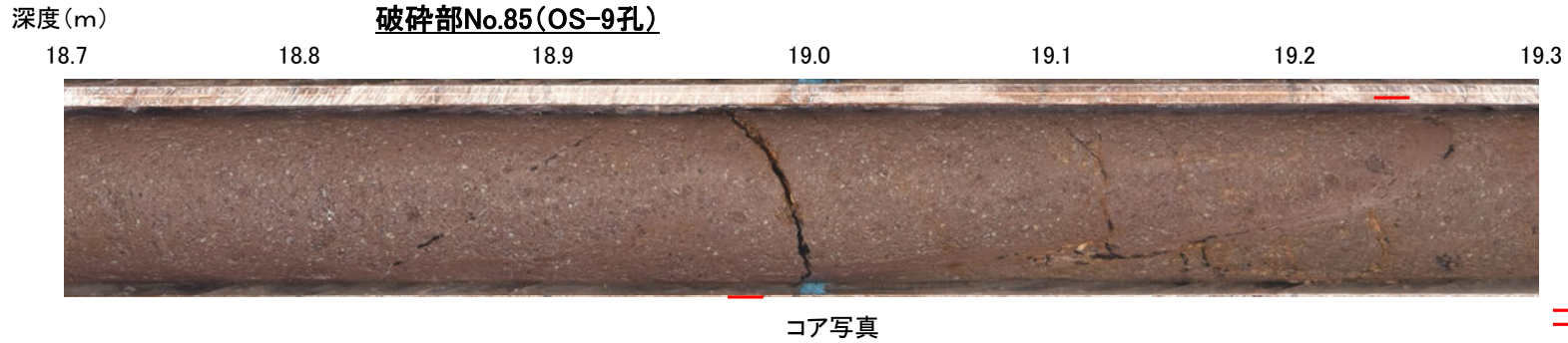
N11° W/19° SW

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(F-1'孔)の想定延長位置(44.7~45.3m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (1/8)】



性状が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-3'孔, OS-4孔)の想定延長位置(51.9~60.0m, 1.4~6.0m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (2/8)】

深度(m) **破碎部No.86(OS-9孔)**
 20.6 20.7 20.8 20.9 21.0 21.1 21.2

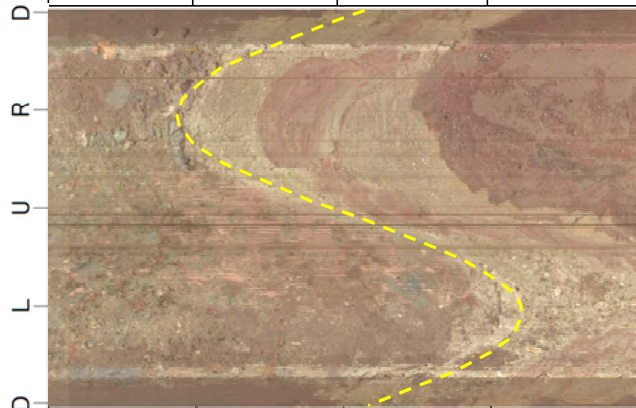


・厚さ1.8~2.0cmの粘土状破碎部及び厚さ3.7~13cmの固結した破碎部

コア写真

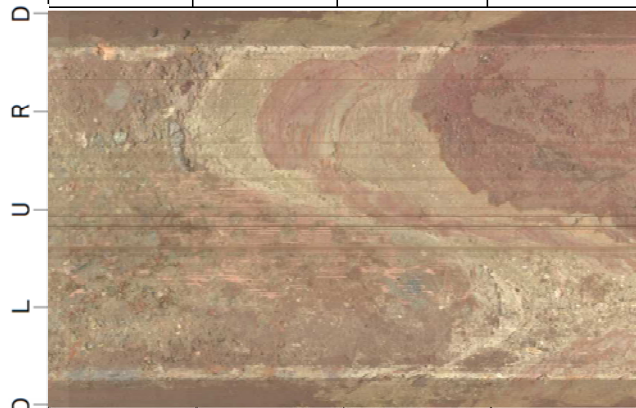
— 破碎部

深度(m)
 20.6 20.7 20.8 20.9 21.0

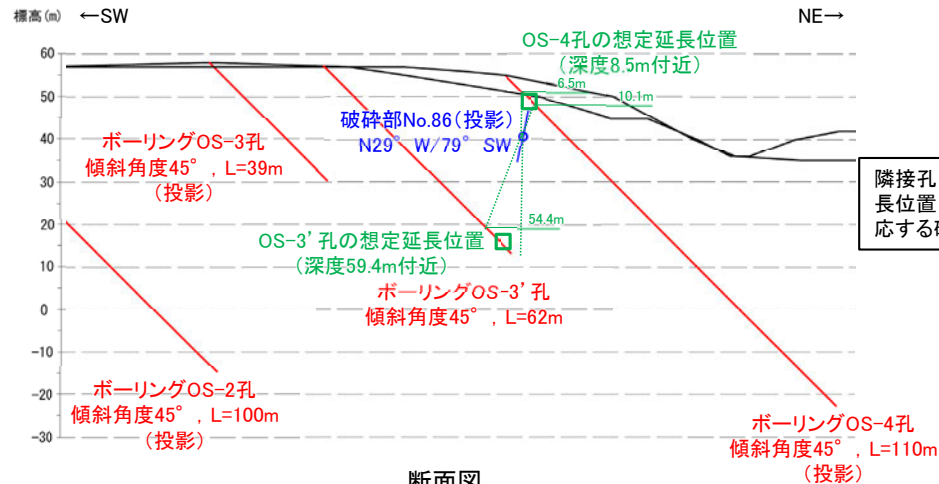


N29° W/79° SW

深度(m)
 20.6 20.7 20.8 20.9 21.0



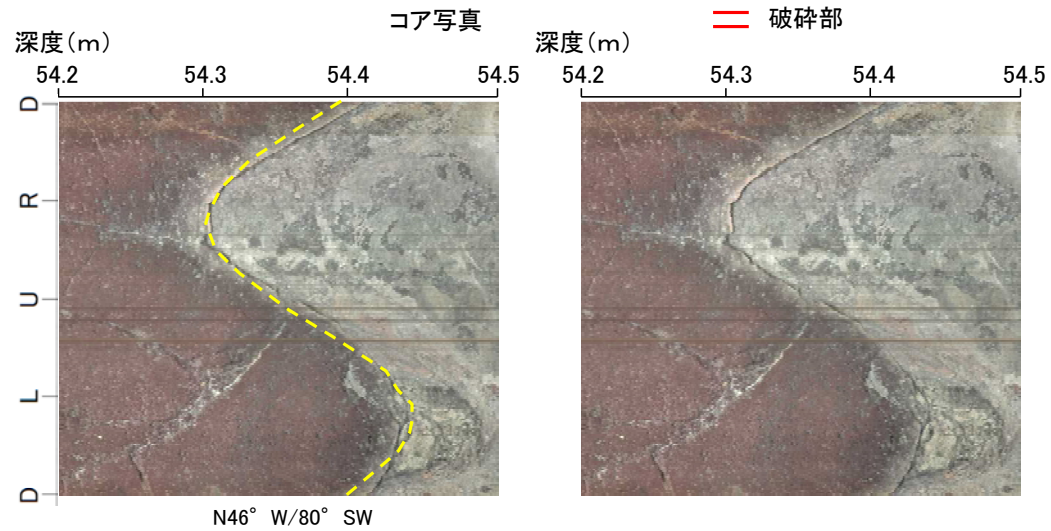
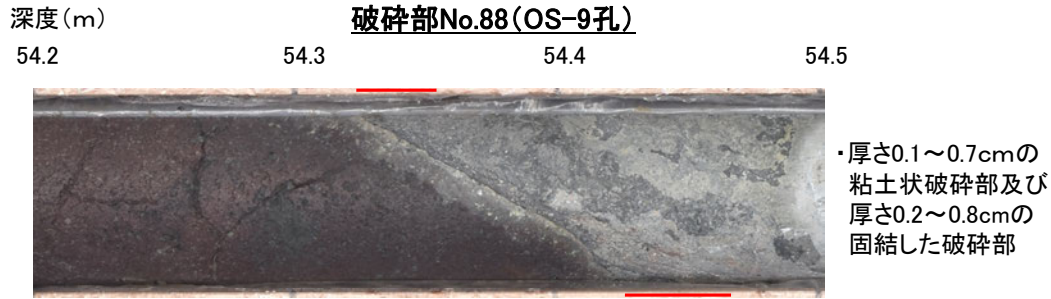
BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)



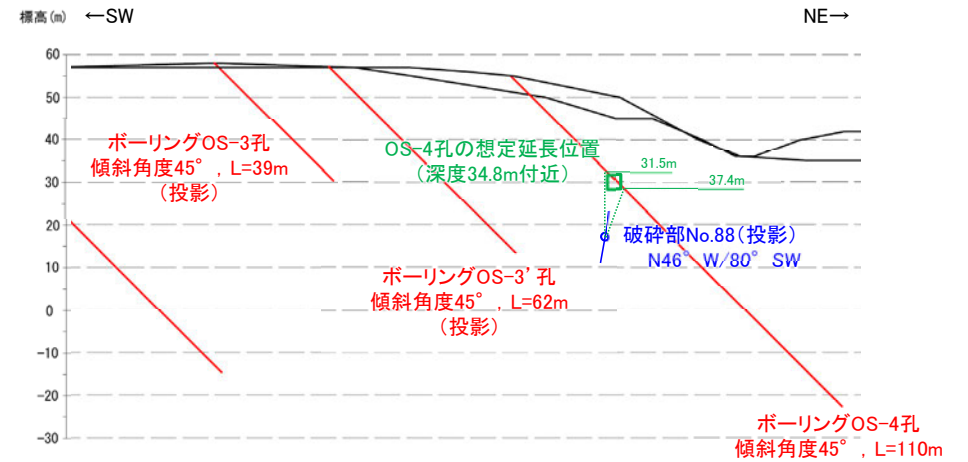
隣接孔(OS-3' 孔, OS-4孔)の想定延長位置(54.4~60.0m, 6.5~10.1m)に対応する破碎部が認められない。

断面図

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (3/8)】



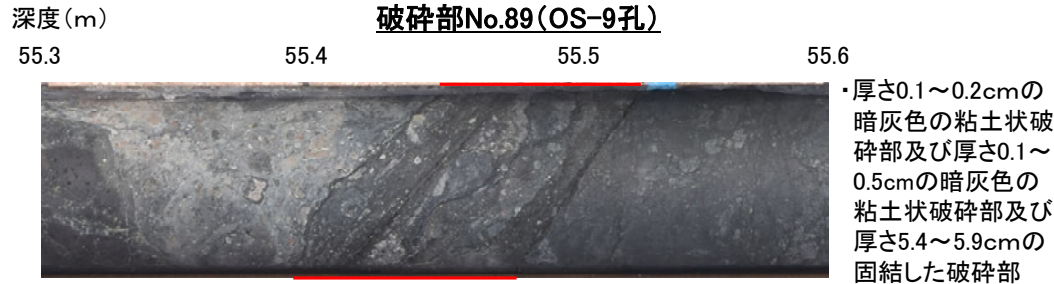
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



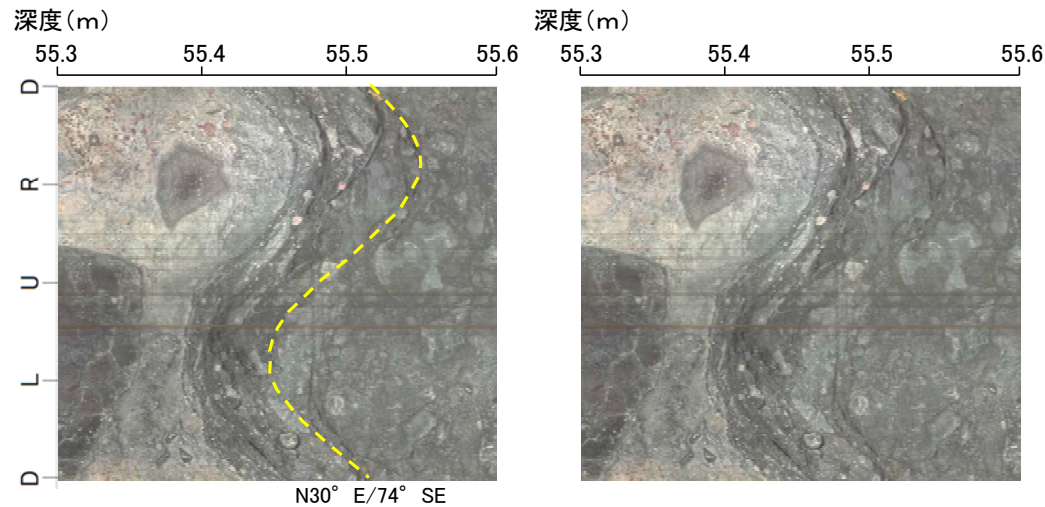
断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(31.5~37.4m)に対応する破碎部が認められない。

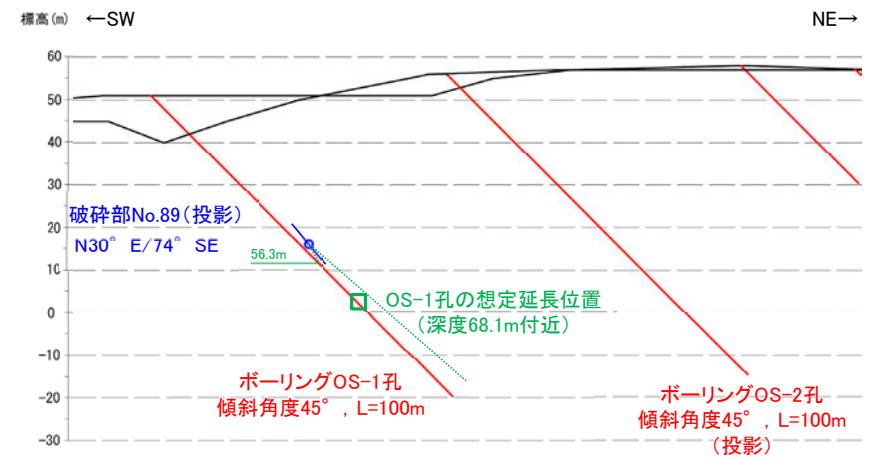
【破砕部の連続性確認(OS-9孔) (4/8)】



コア写真 = 破砕部



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-1孔)の想定延長範囲(56.3~100.0m)に対応する破砕部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (5/8)】

深度(m) 破碎部No.90(OS-9孔)
 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9

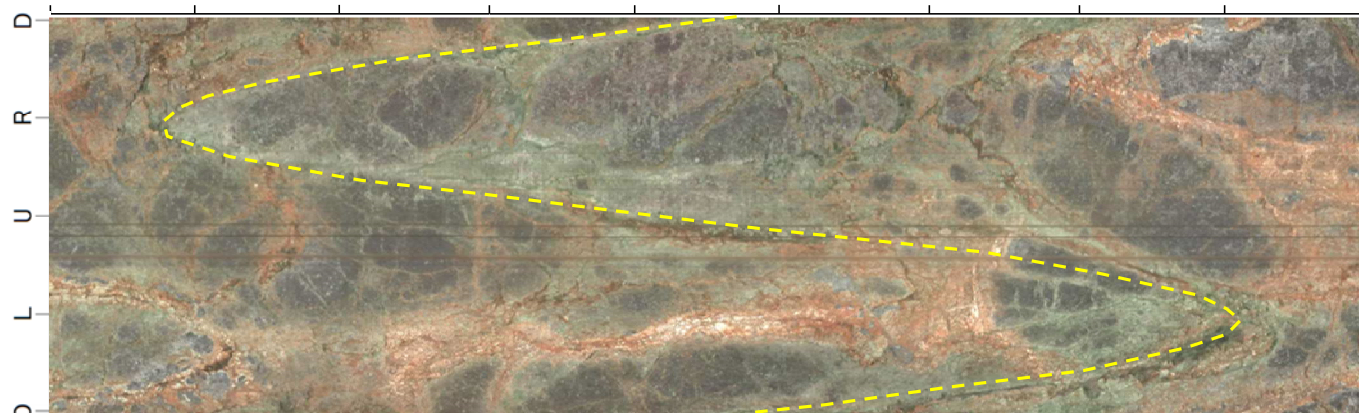


・厚さ0.3~1.1cmの
粘土状破碎部

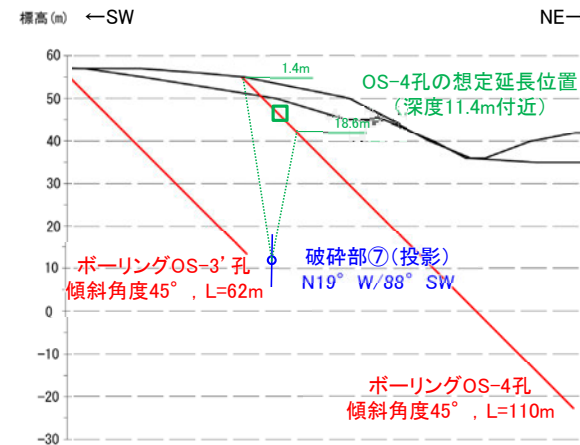
コア写真

== 破碎部

深度(m)
 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9

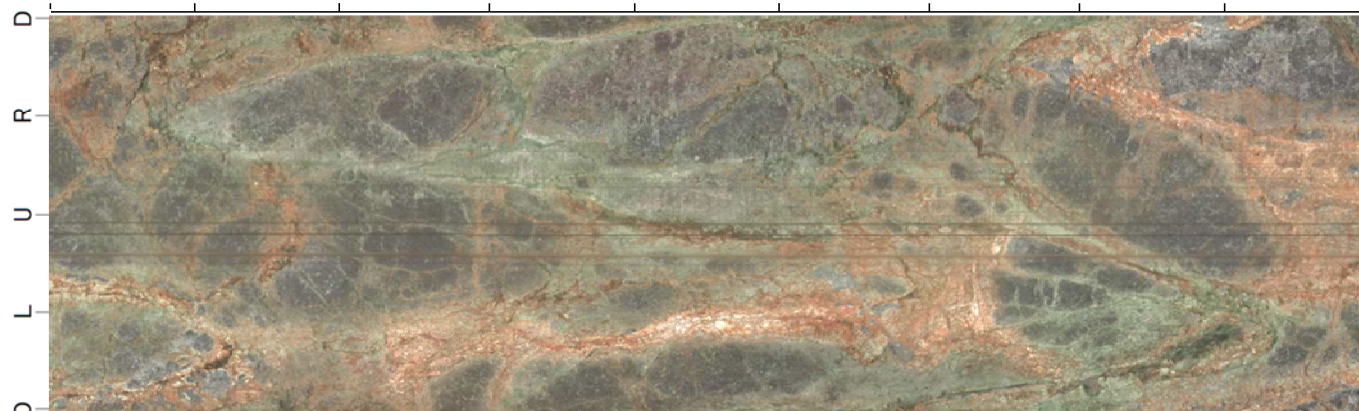


N19° W/88° SW



断面図

深度(m)
 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9



BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(1.4~18.6m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (6/8)】

深度(m) 70.5 70.6 70.7 70.8

破碎部No.92(OS-9孔)

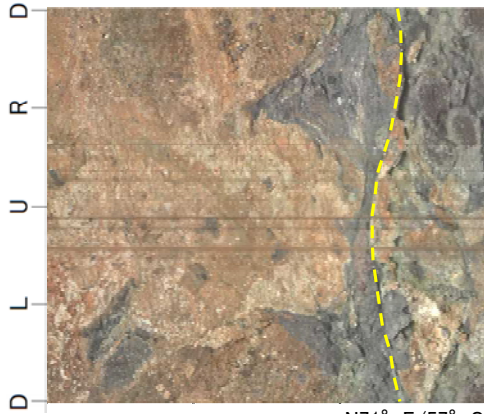


・厚さ5.4cmの角礫状破碎部

コア写真

== 破碎部

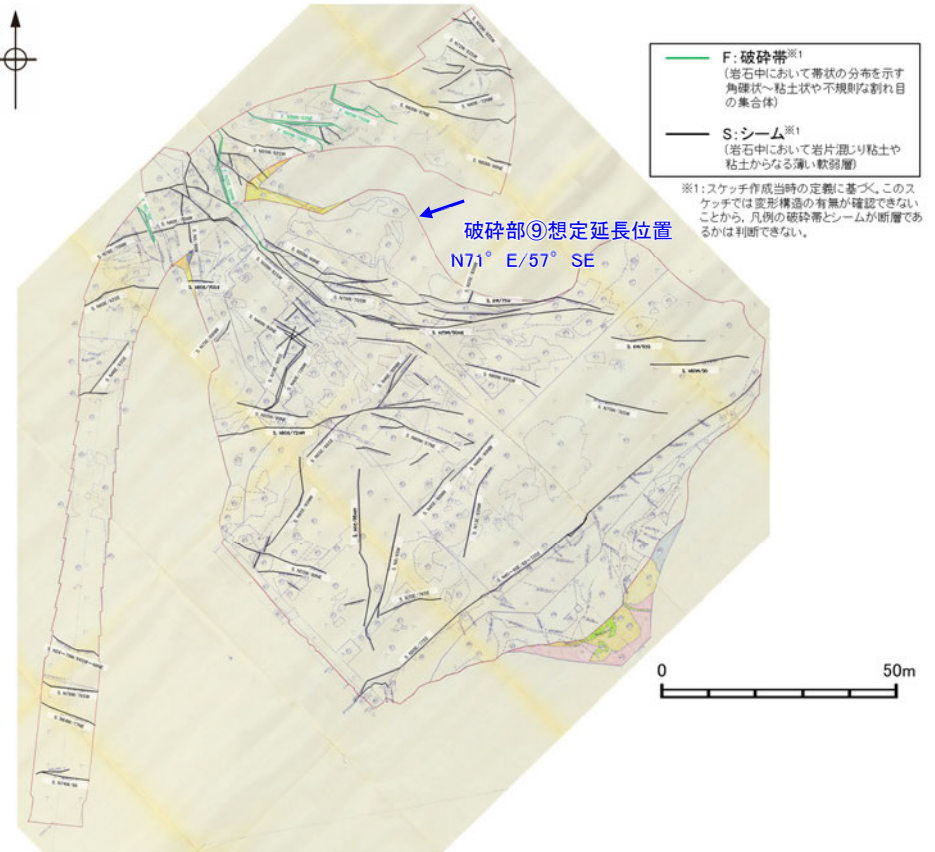
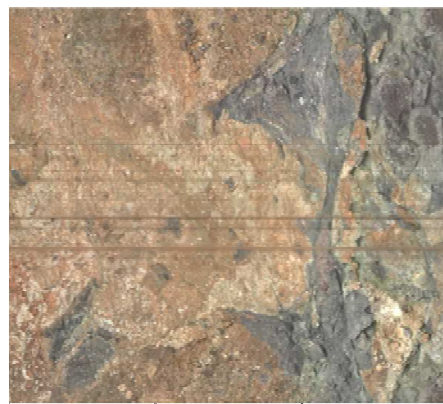
深度(m) 70.5 70.6 70.7 70.8



N71° E/57° SE

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

深度(m) 70.5 70.6 70.7 70.8



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (7/8)】

深度(m) 71.0 71.1 71.2 71.3

破碎部No.93(OS-9孔)

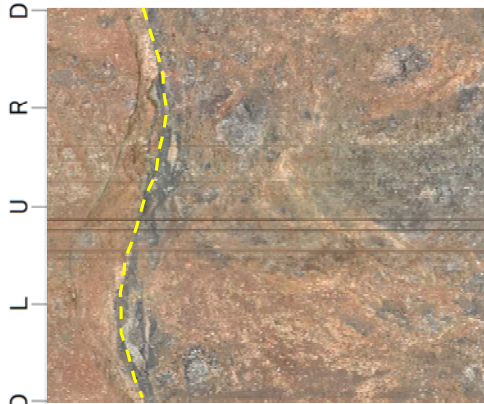


・厚さ0.1~0.5cmの粘土状破碎部及び厚さ0.6~2.0cmの固結した破碎部

コア写真

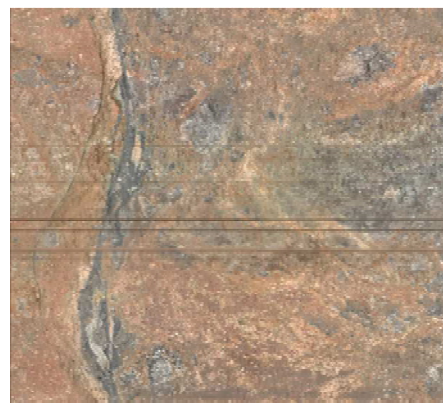
== 破碎部

深度(m) 71.0 71.1 71.2 71.3

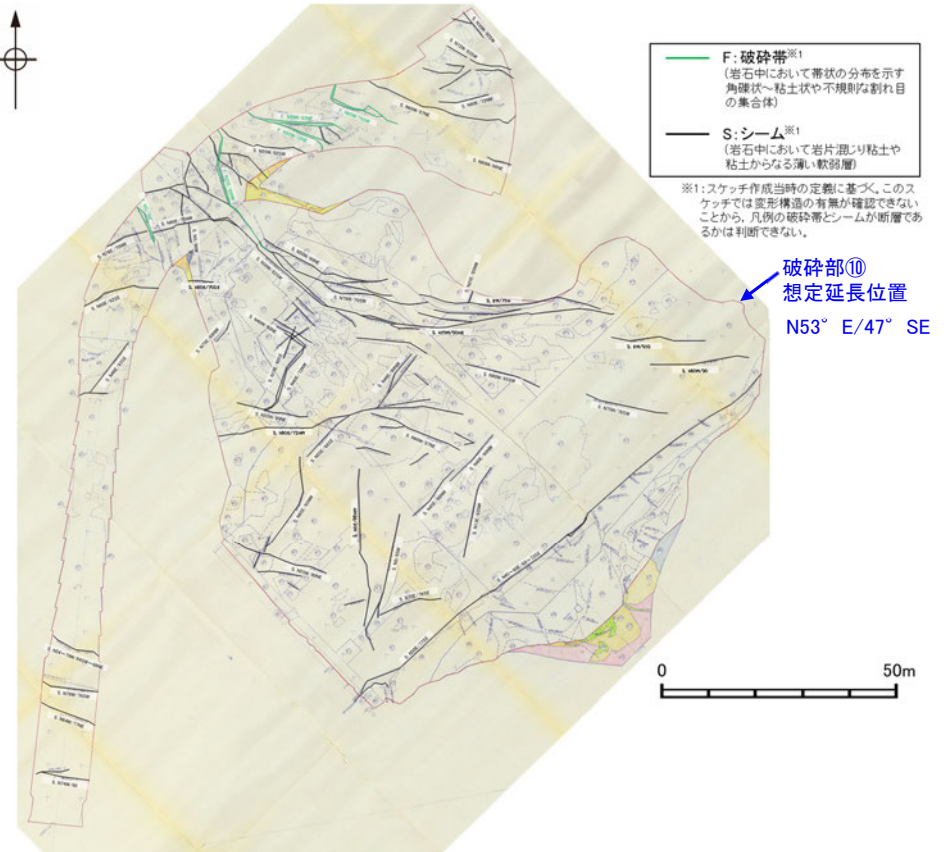


N53° E/47° SE

深度(m) 71.0 71.1 71.2 71.3



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【破碎部の連続性確認(OS-9孔) (8/8)】

深度(m) **破碎部No.94(OS-9孔)**
79.5 79.6 79.7 79.8

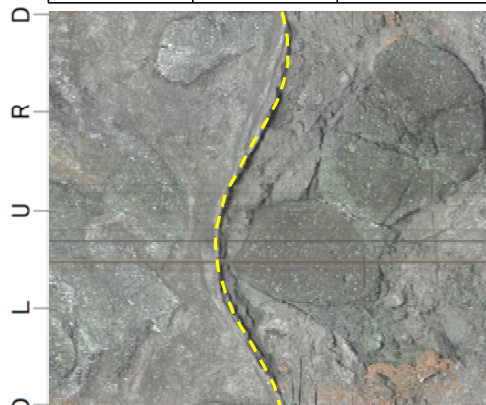


・厚さ0.2~0.7cmの粘土状破碎部及
び厚さ2.3~3.3cmの固結した破碎部

コア写真

— 破碎部

深度(m) 79.5 79.6 79.7 79.8

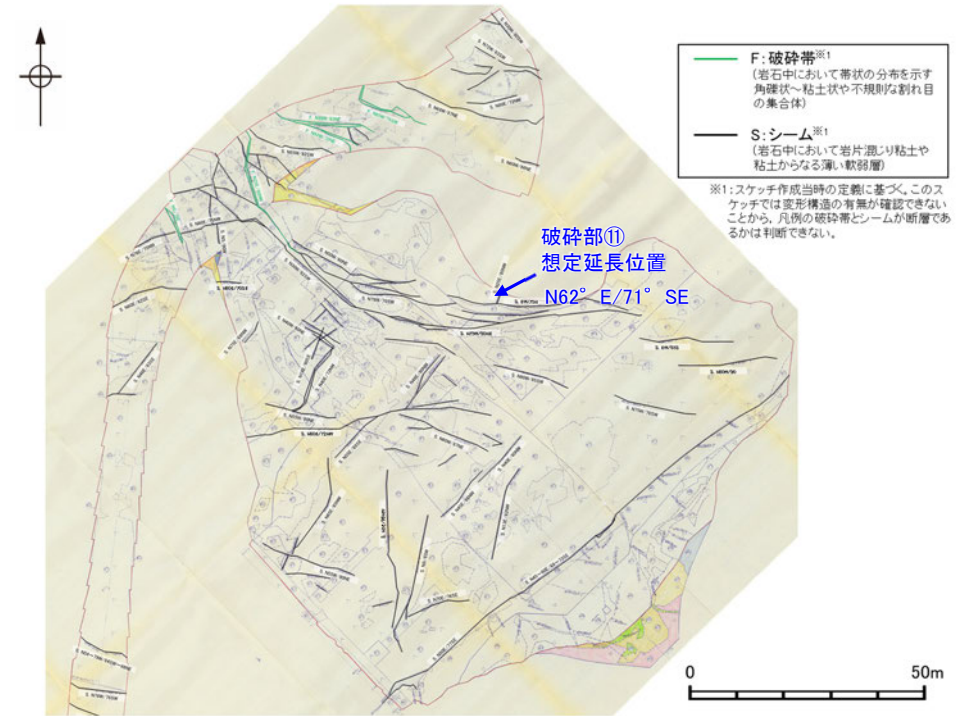


N62° E/71° SE

深度(m) 79.5 79.6 79.7 79.8



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

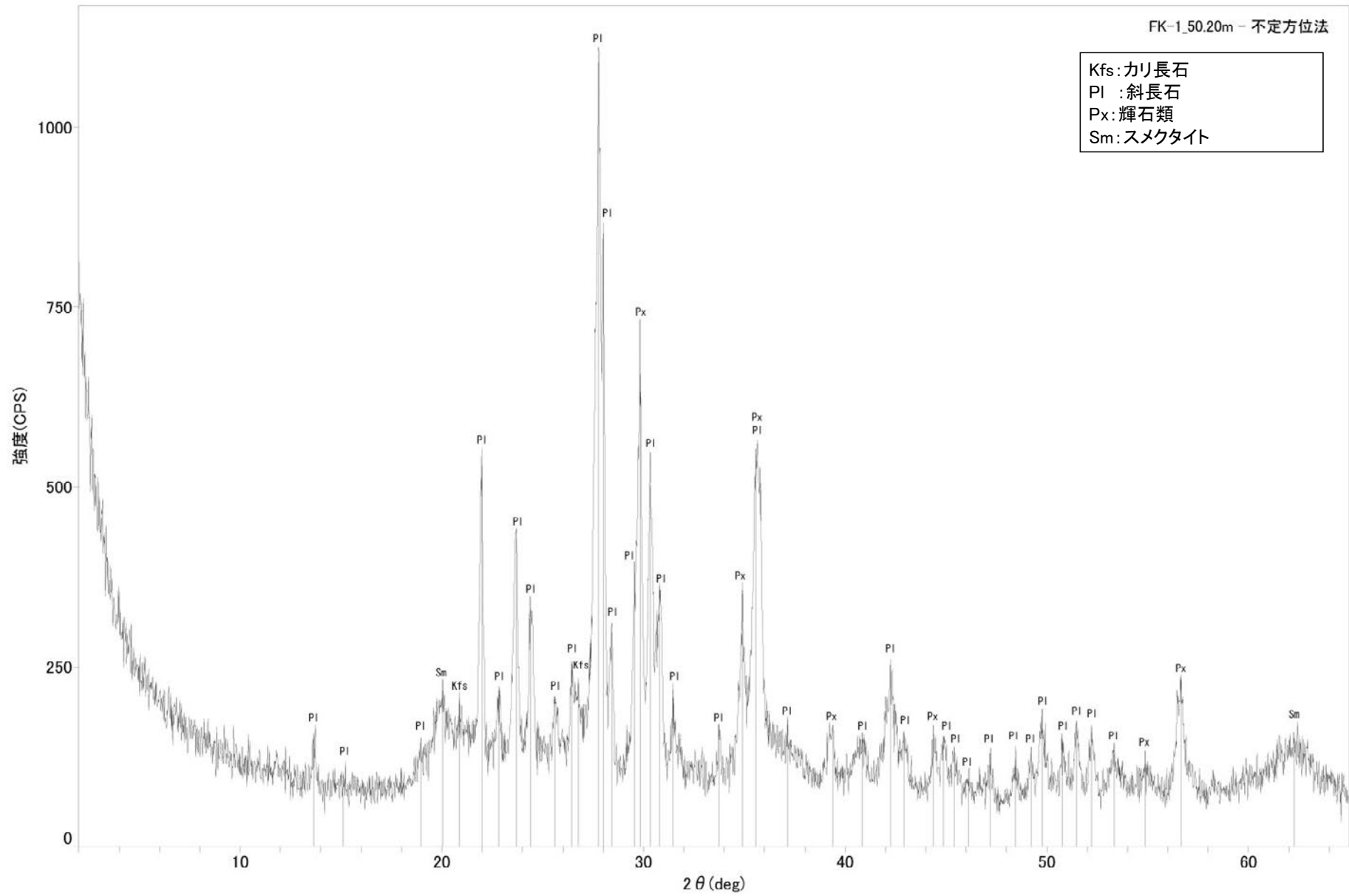


大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

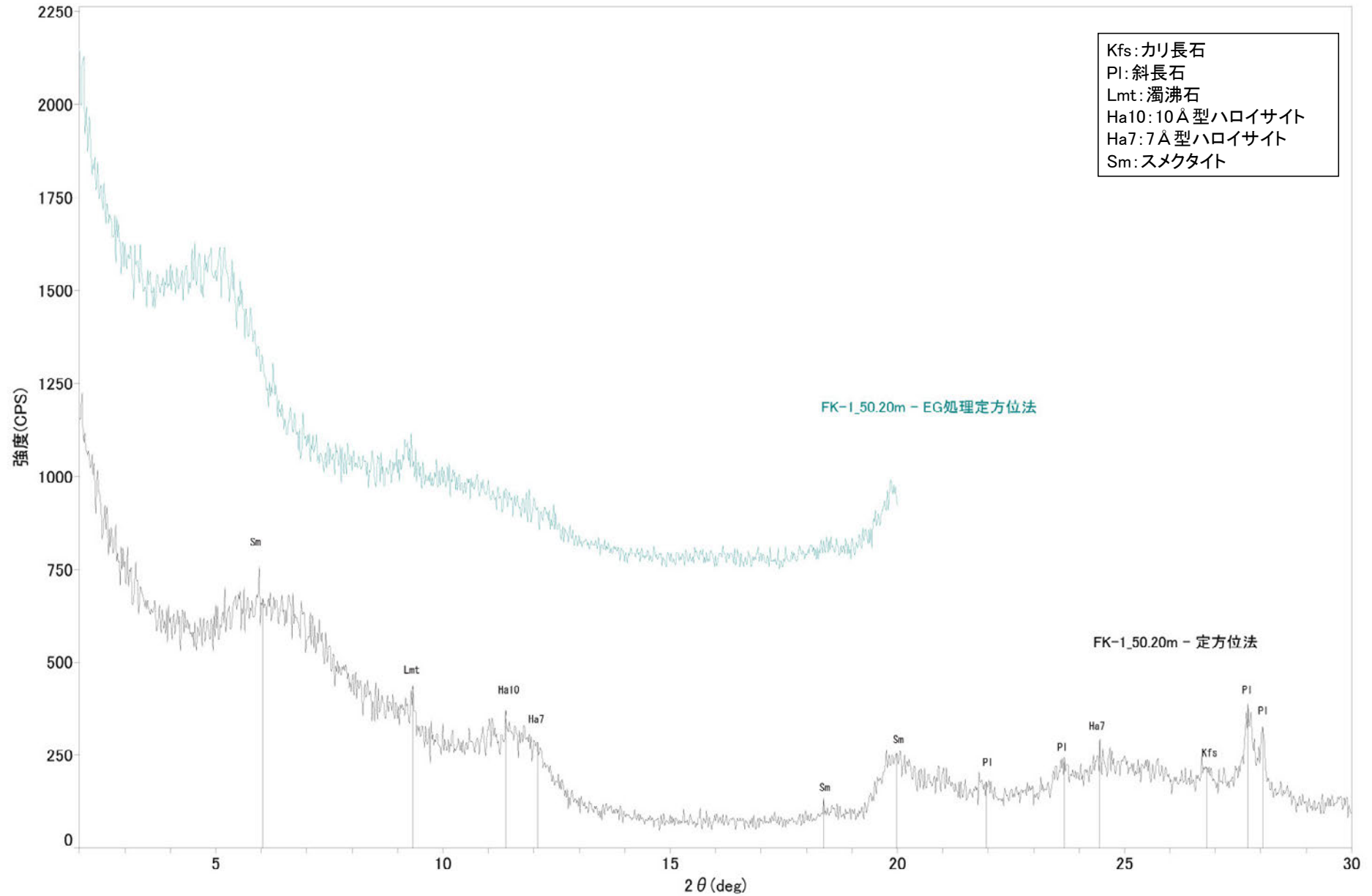
走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

(8)FK-1孔, 大坪川ダム右岸トレンチ XRD分析

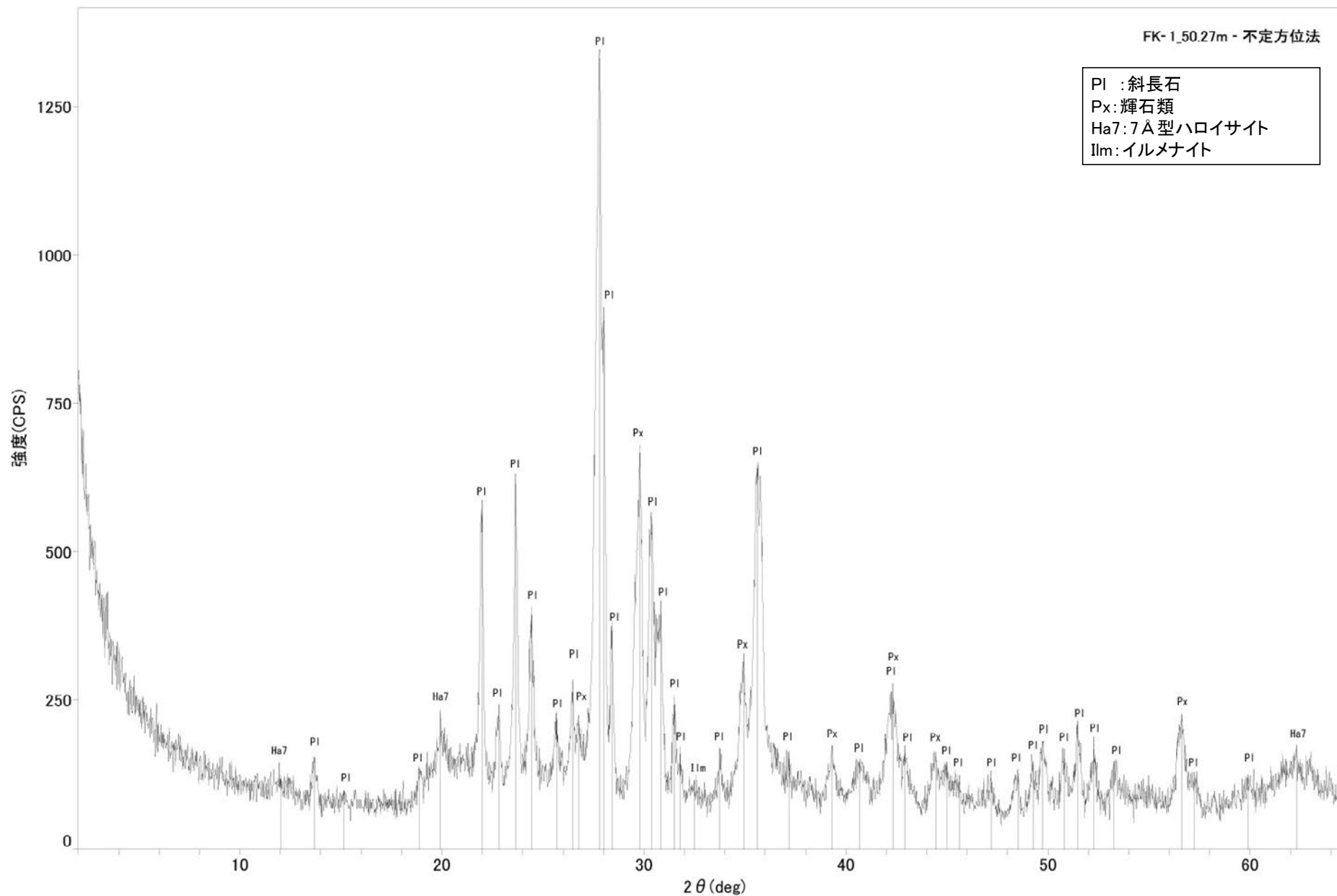
FK-1孔 50.20m -X線回折チャート 不定方位-



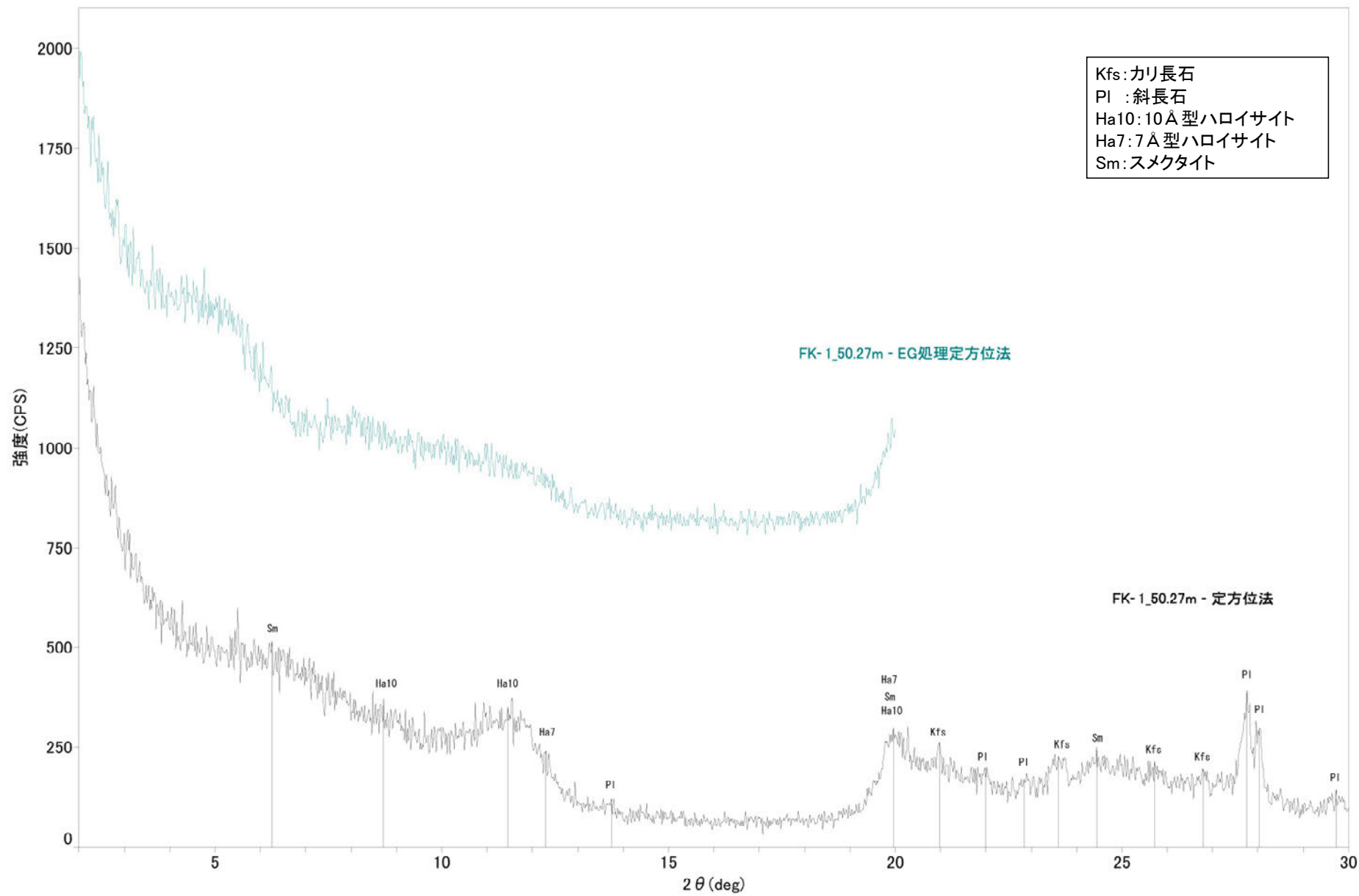
FK-1孔 50.20m -X線回折チャート 定方位-



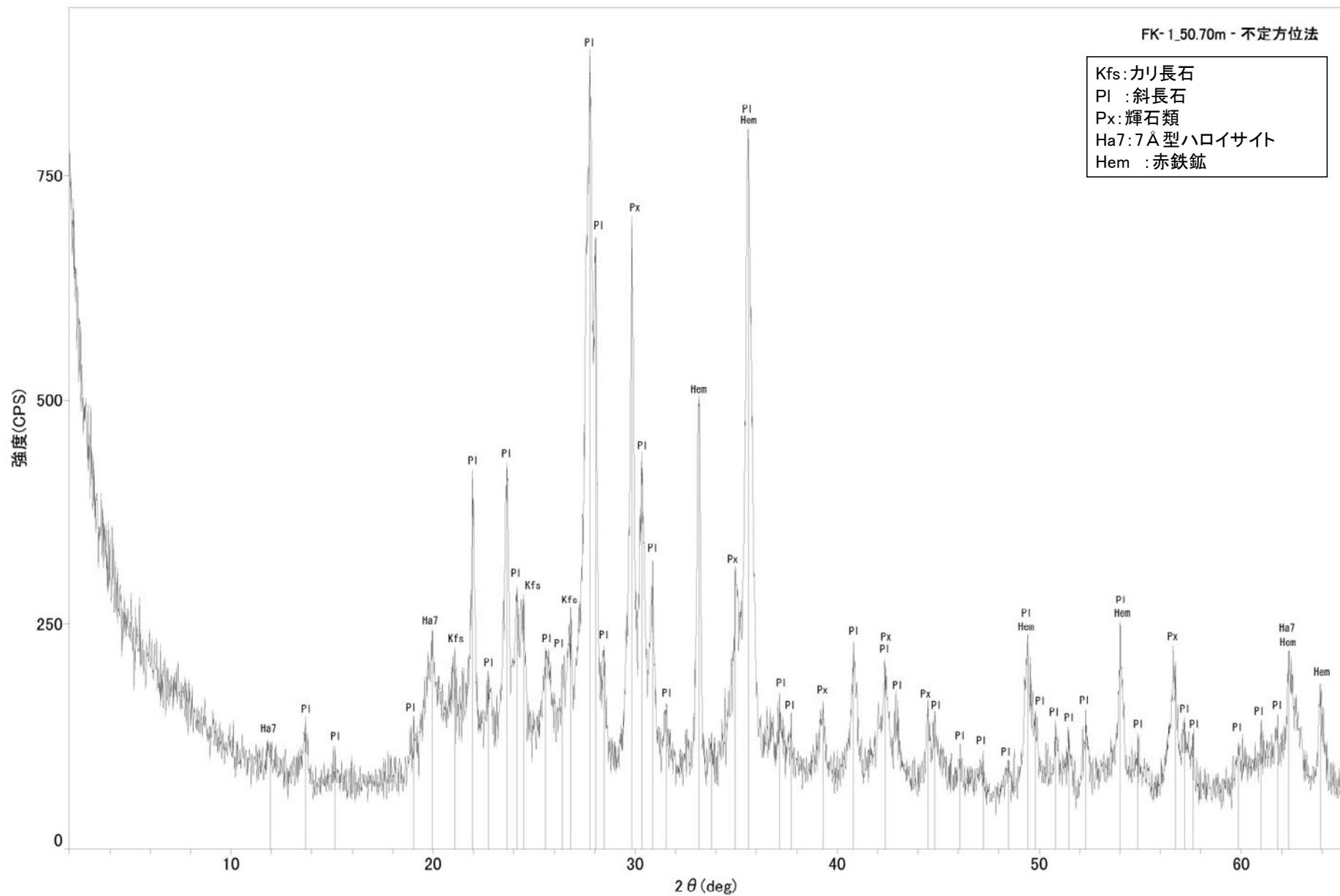
FK-1孔 50.27m -X線回折チャート 不定方位-



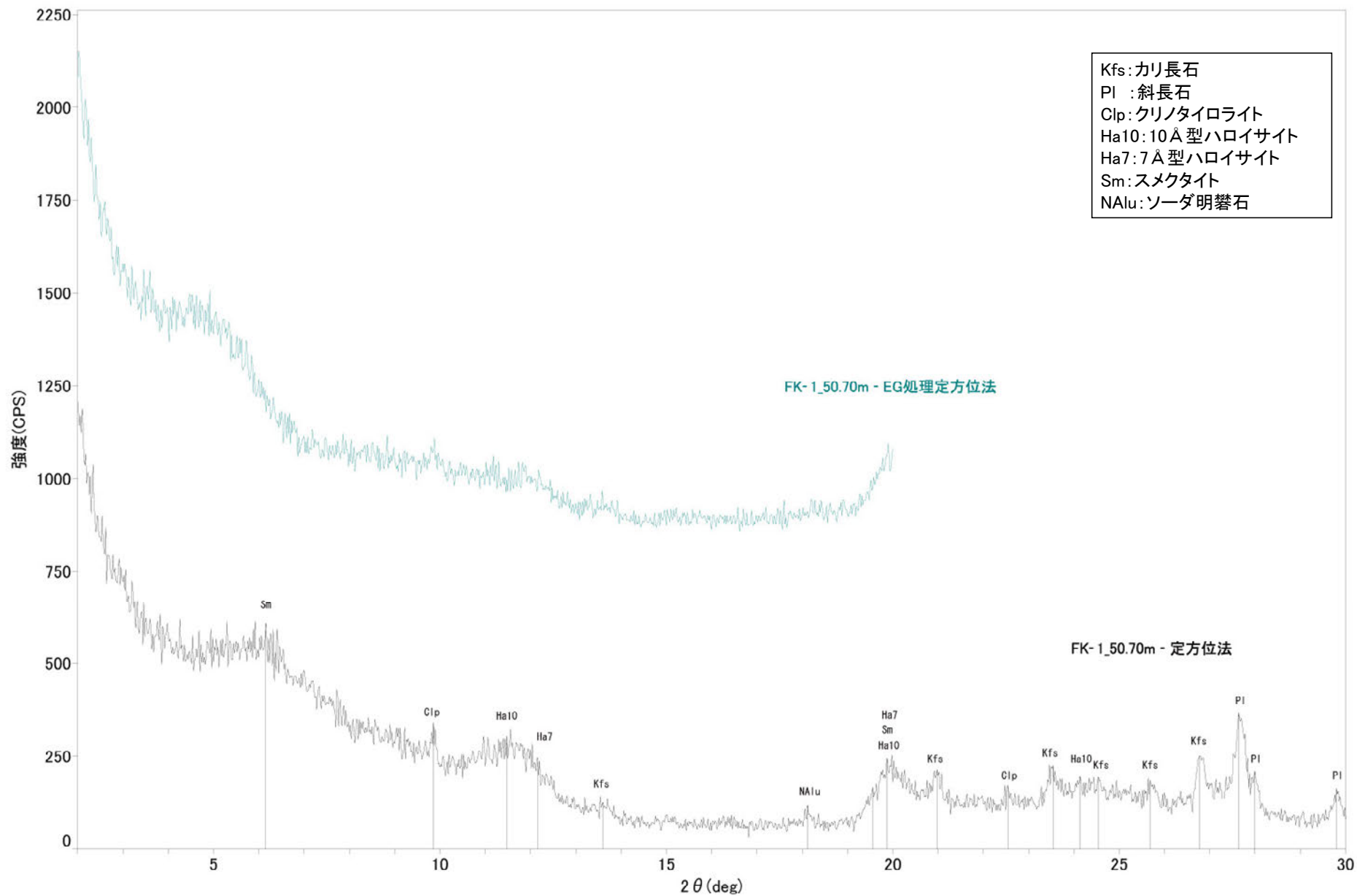
FK-1孔 50.27m -X線回折チャート 定方位-



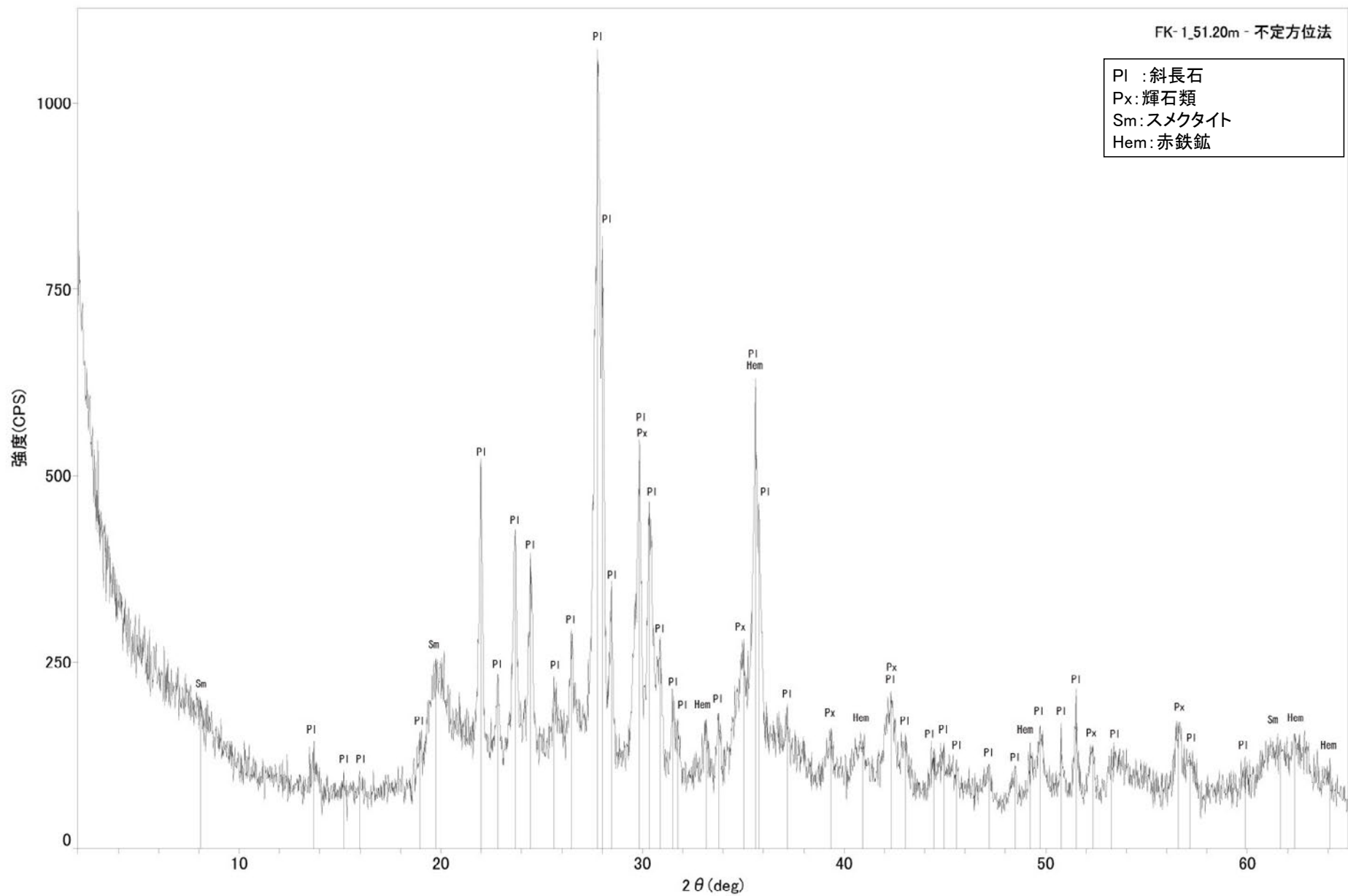
FK-1孔 50.70m -X線回折チャート 不定方位-



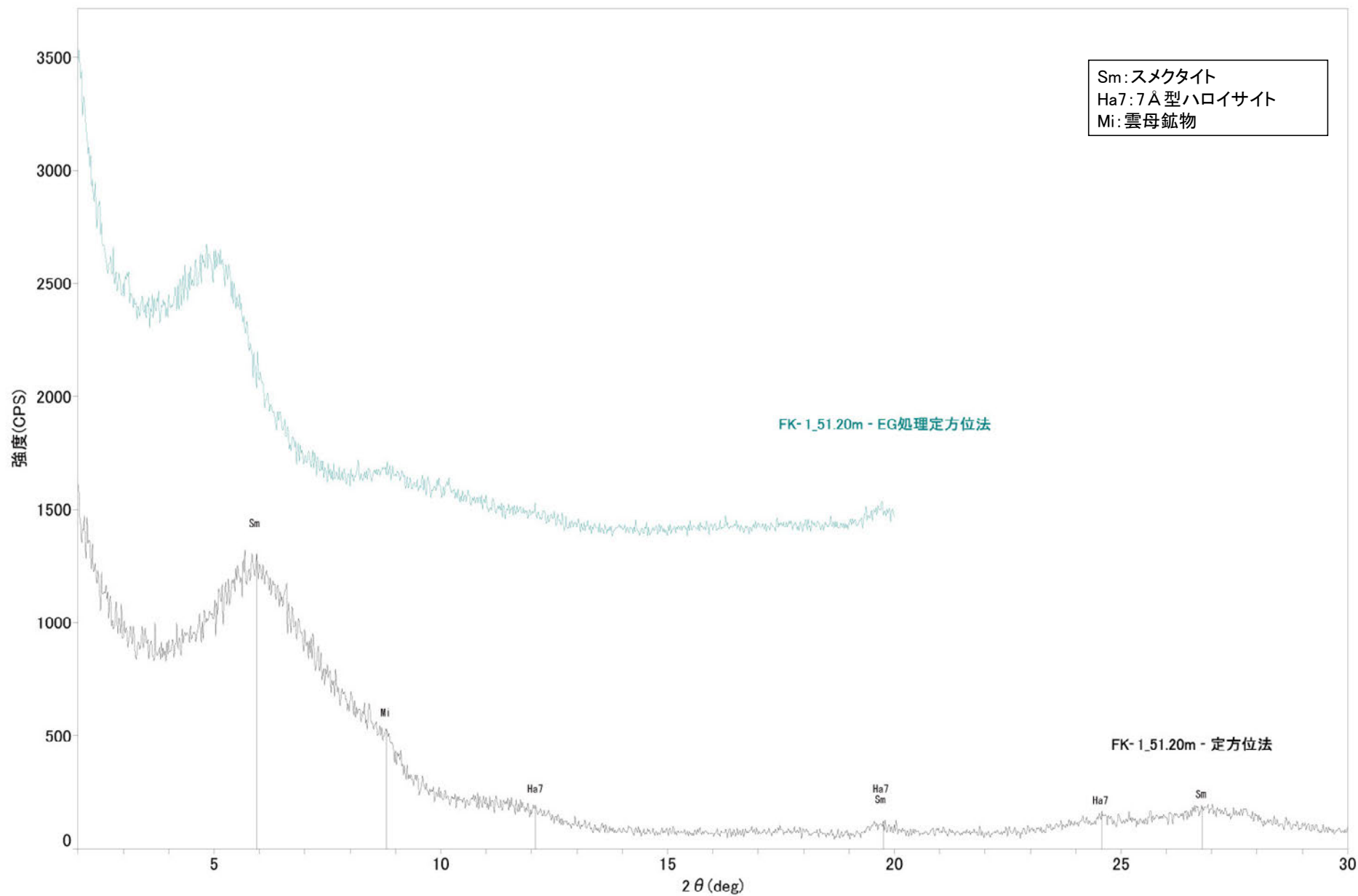
FK-1孔 50.70m -X線回折チャート 定方位-



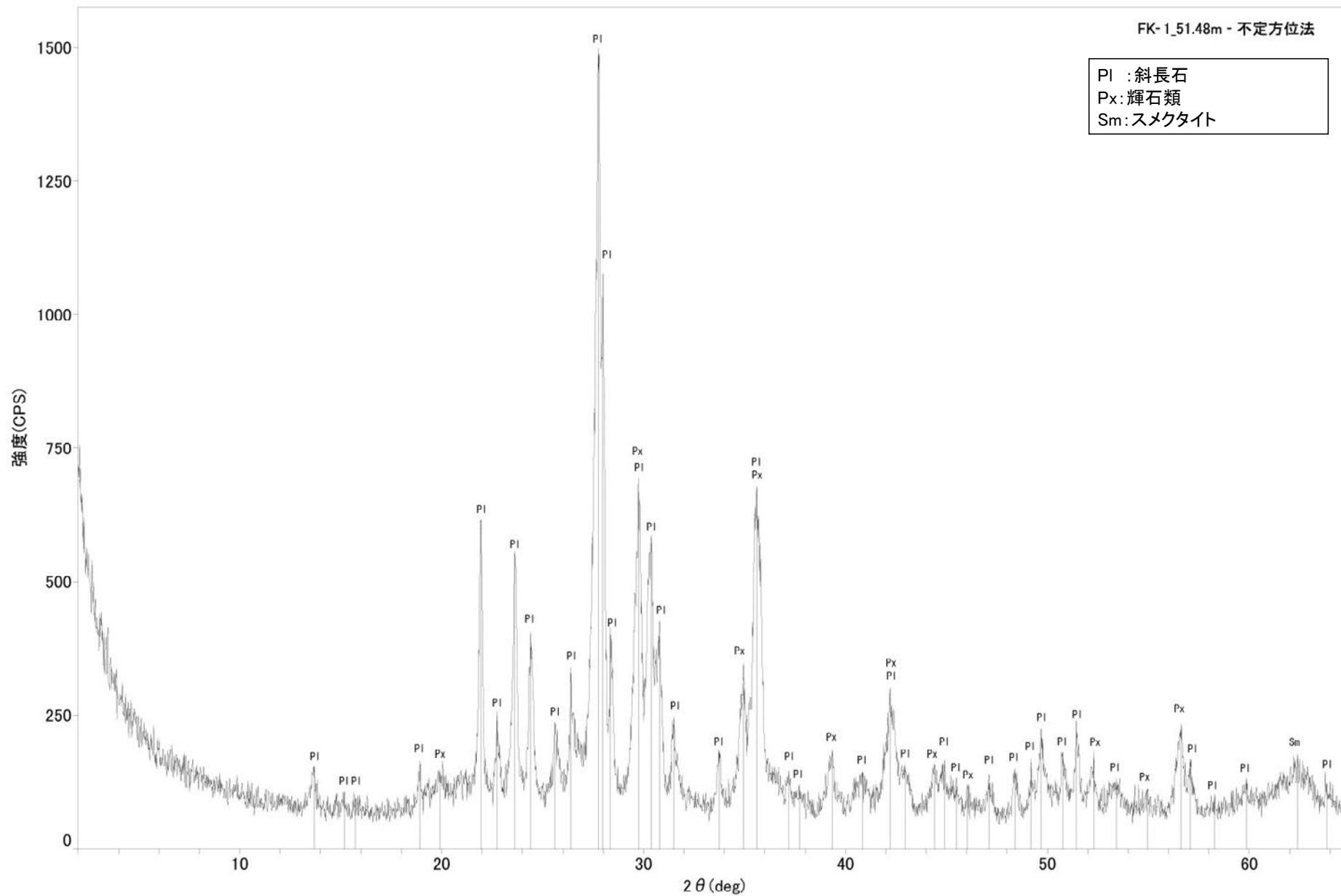
FK-1孔 51.20m -X線回折チャート 不定方位-



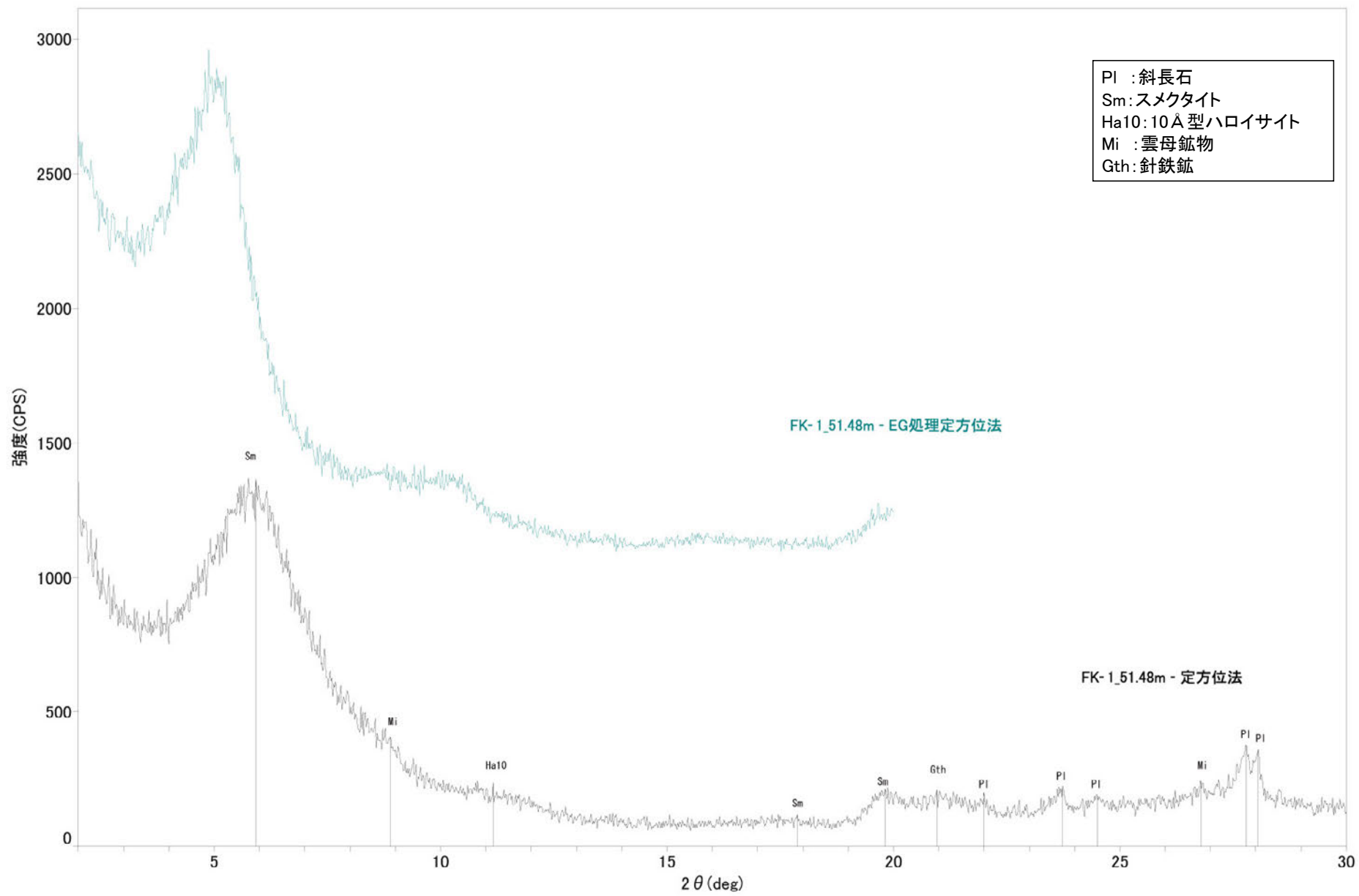
FK-1孔 51.20m -X線回折チャート 定方位-



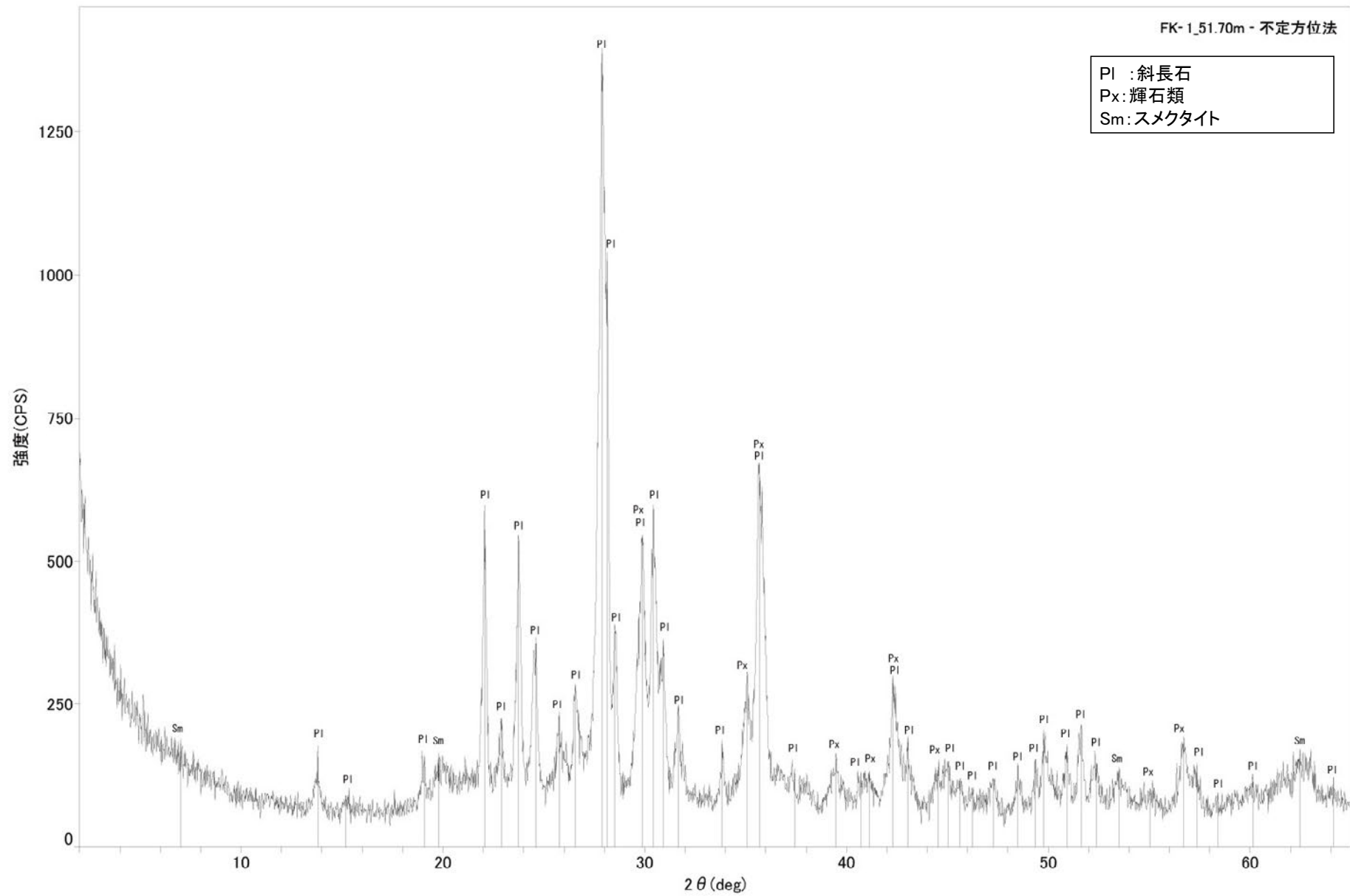
FK-1孔 51.48m -X線回折チャート 不定方位-



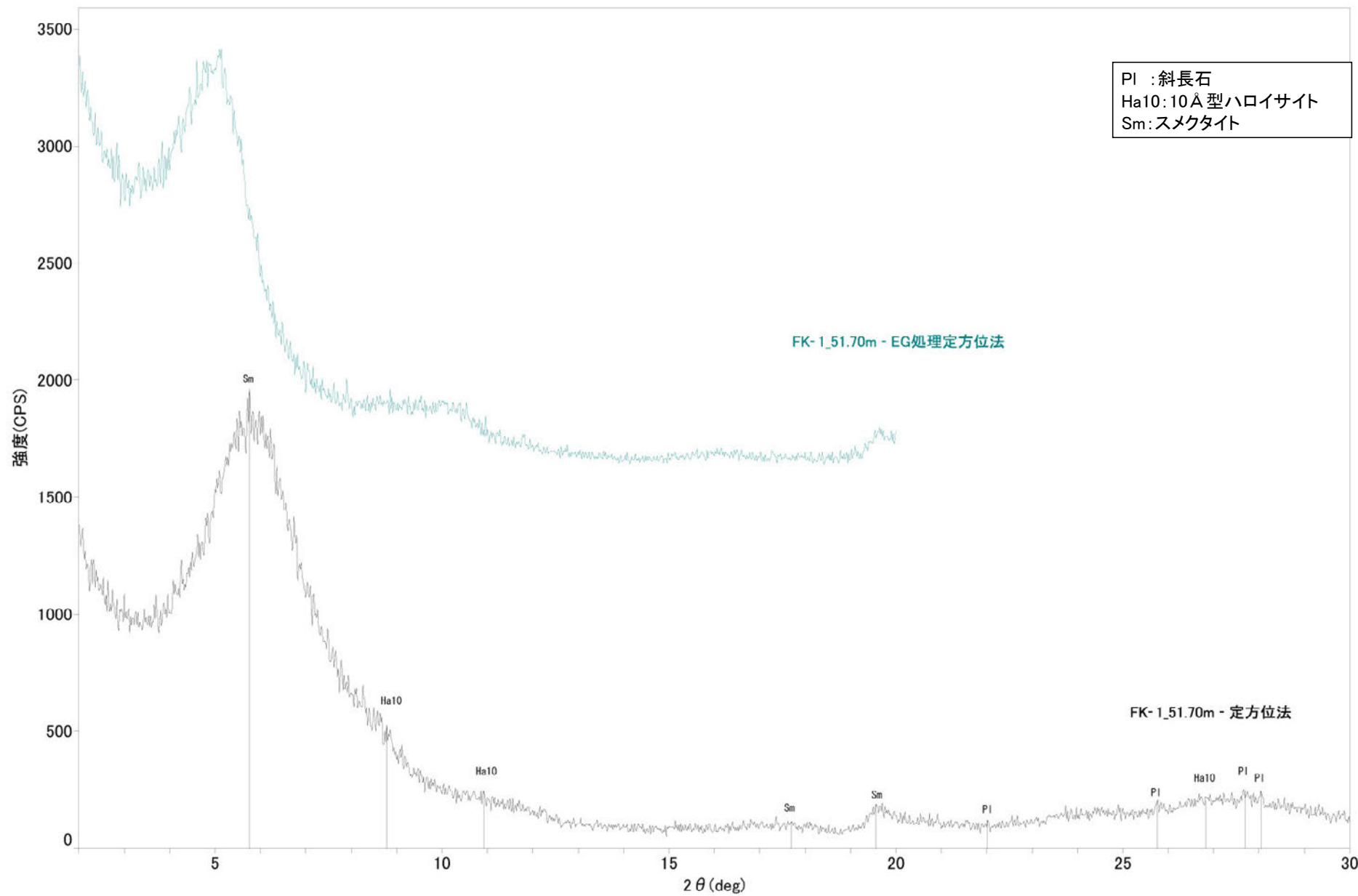
FK-1孔 51.48m -X線回折チャート 定方位-



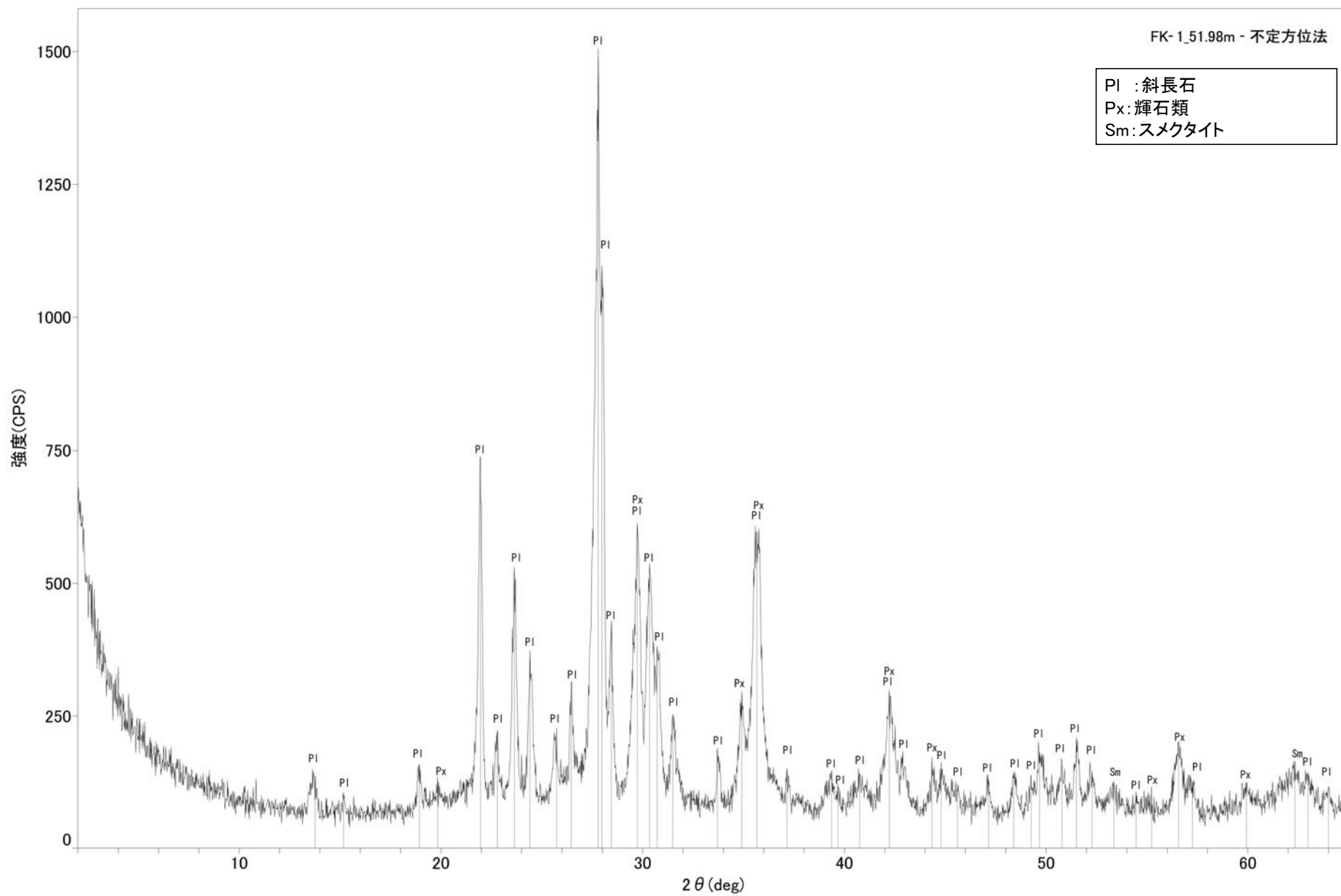
FK-1孔 51.70m -X線回折チャート 不定方位-



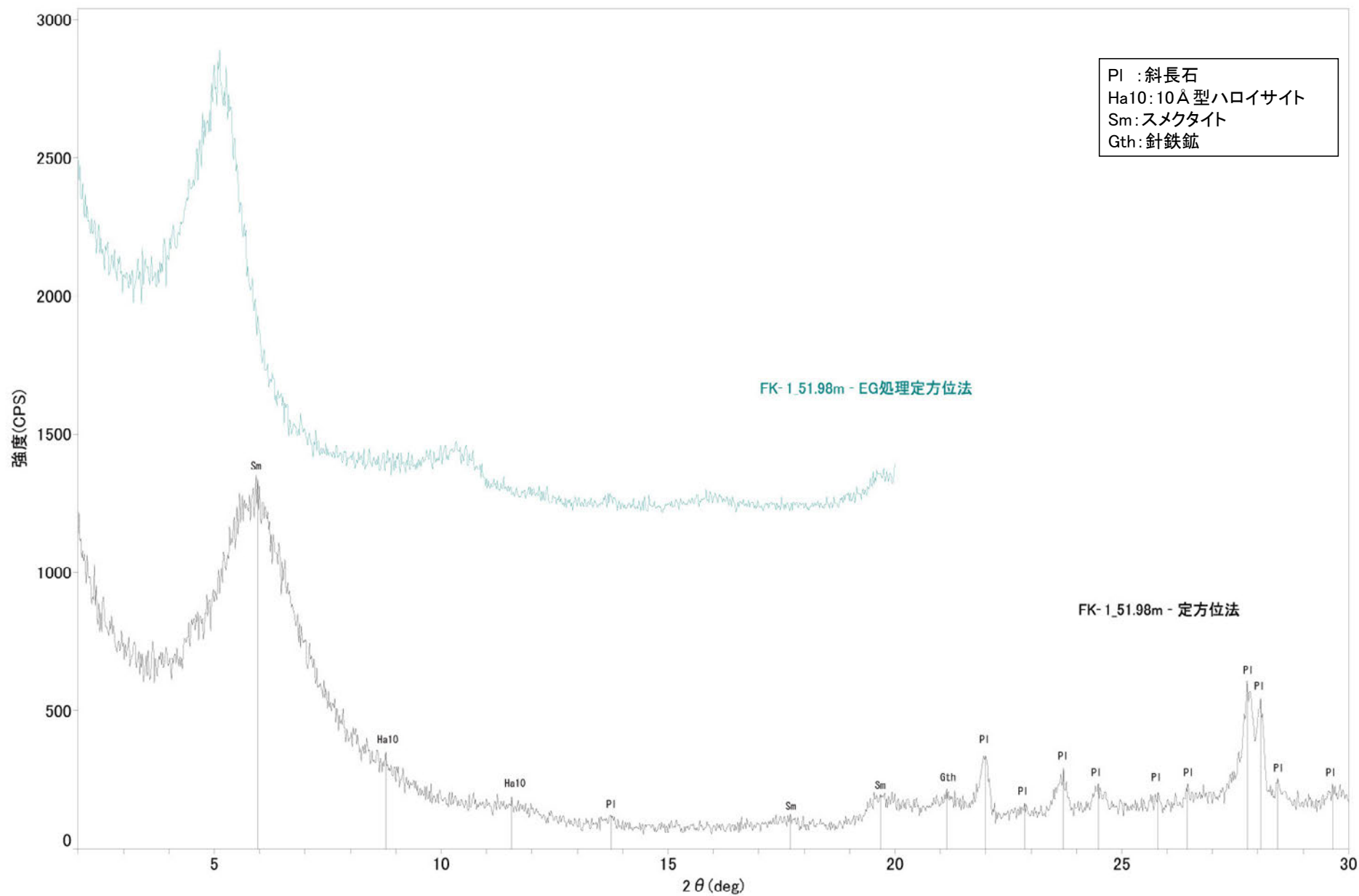
FK-1孔 51.70m -X線回折チャート 定方位-



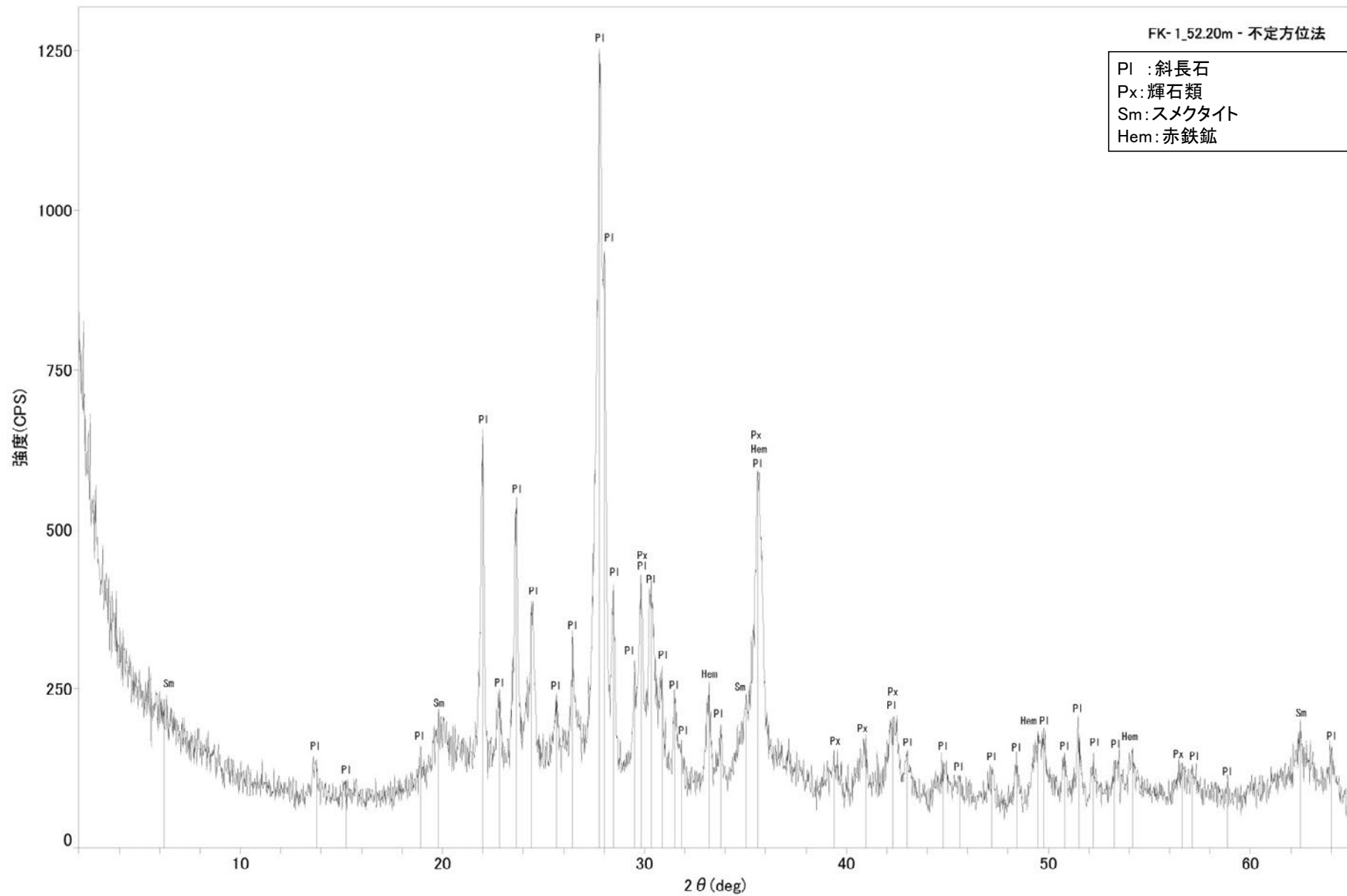
FK-1孔 51.98m -X線回折チャート 不定方位-



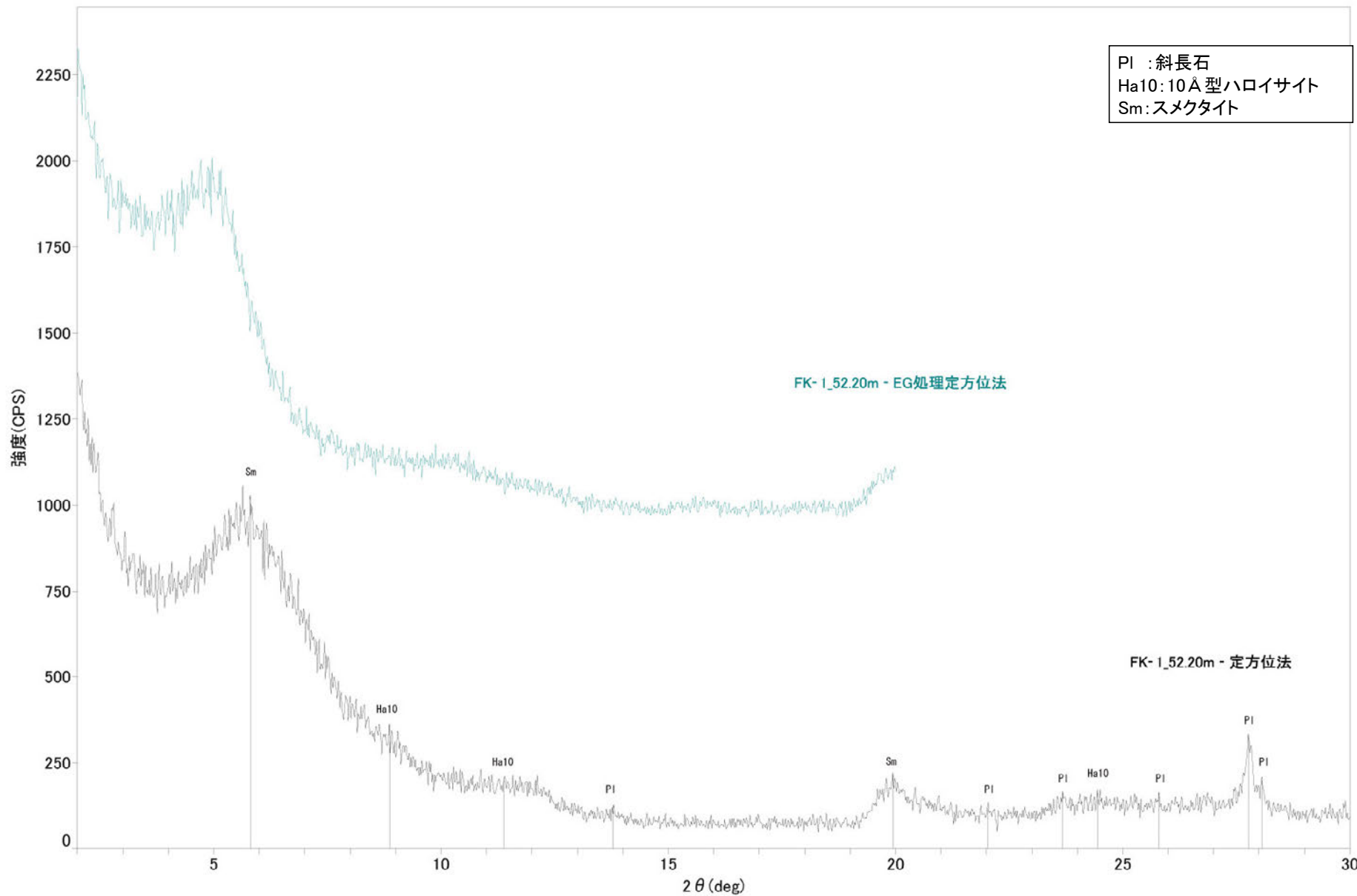
FK-1孔 51.98m -X線回折チャート 定方位-



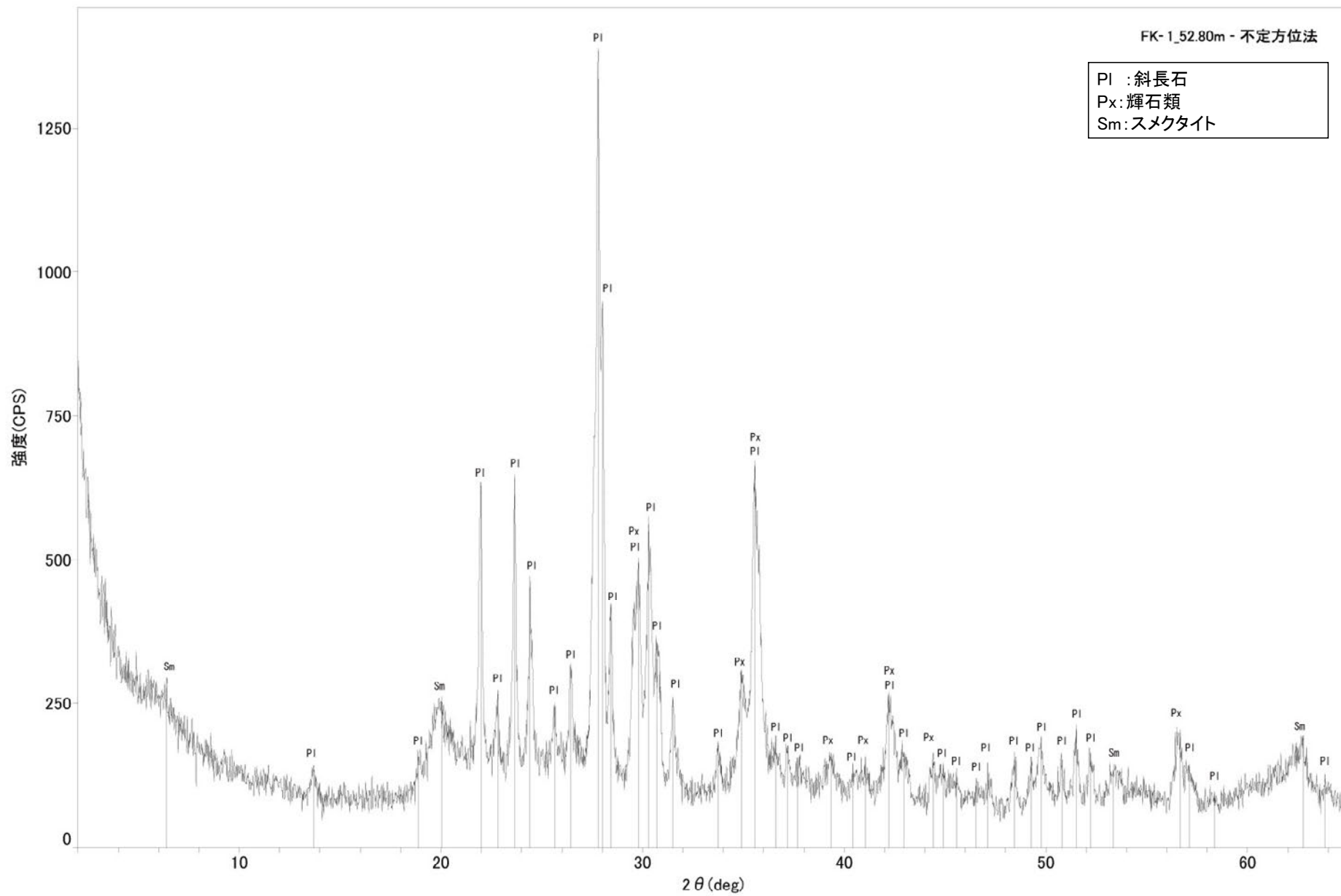
FK-1孔 52.20m -X線回折チャート 不定方位-



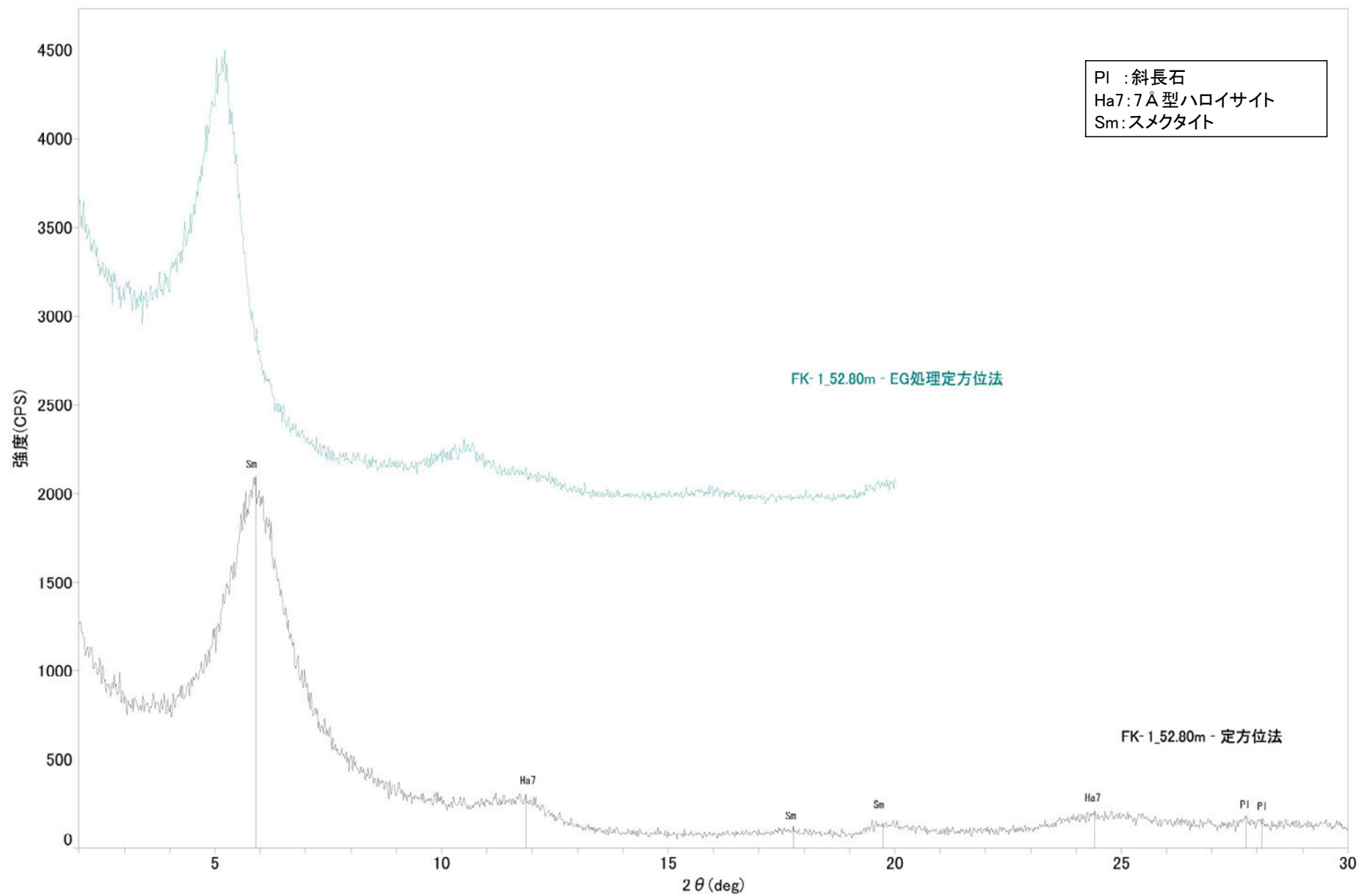
FK-1孔 52.20m -X線回折チャート 定方位-



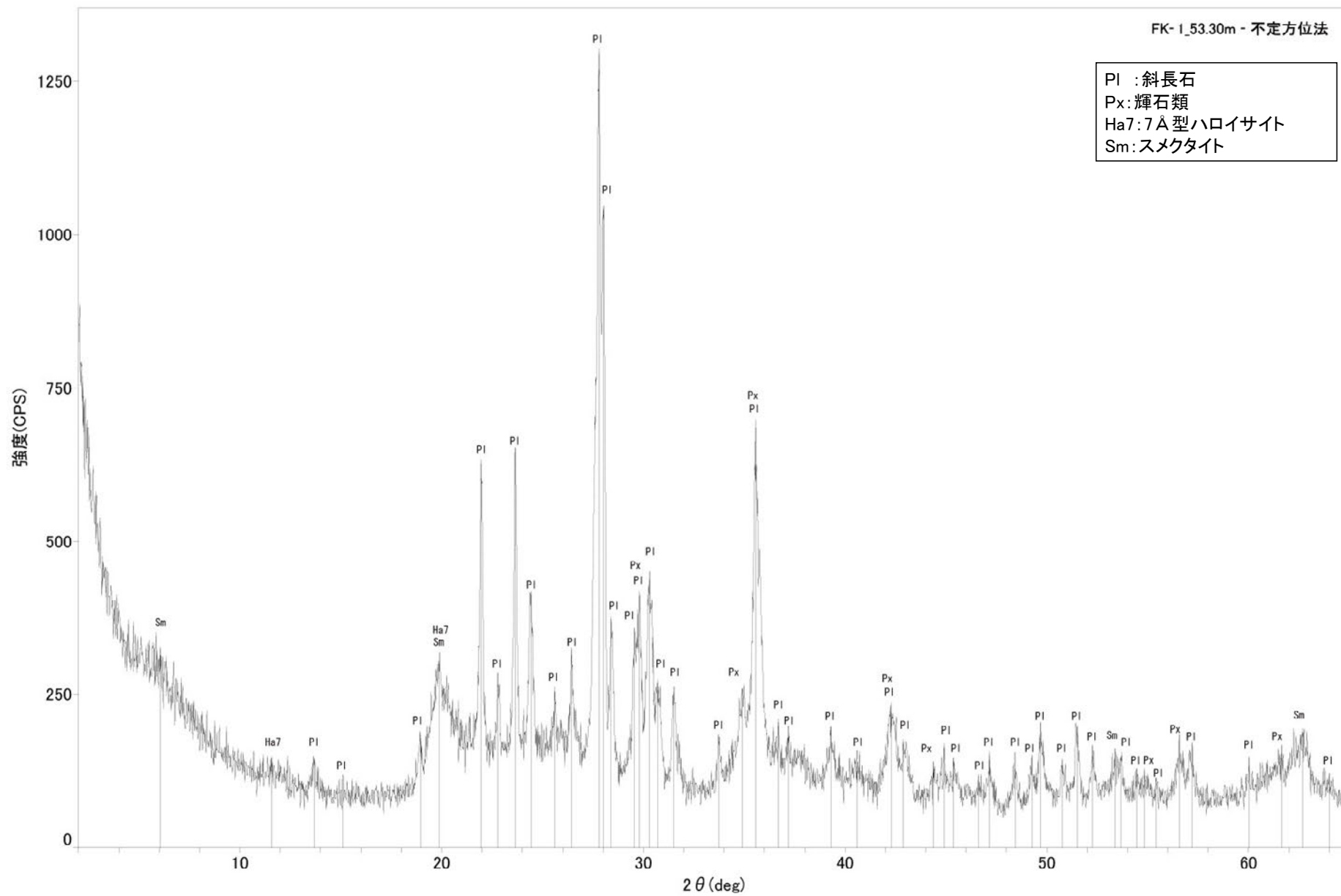
FK-1孔 52.80m -X線回折チャート 不定方位-



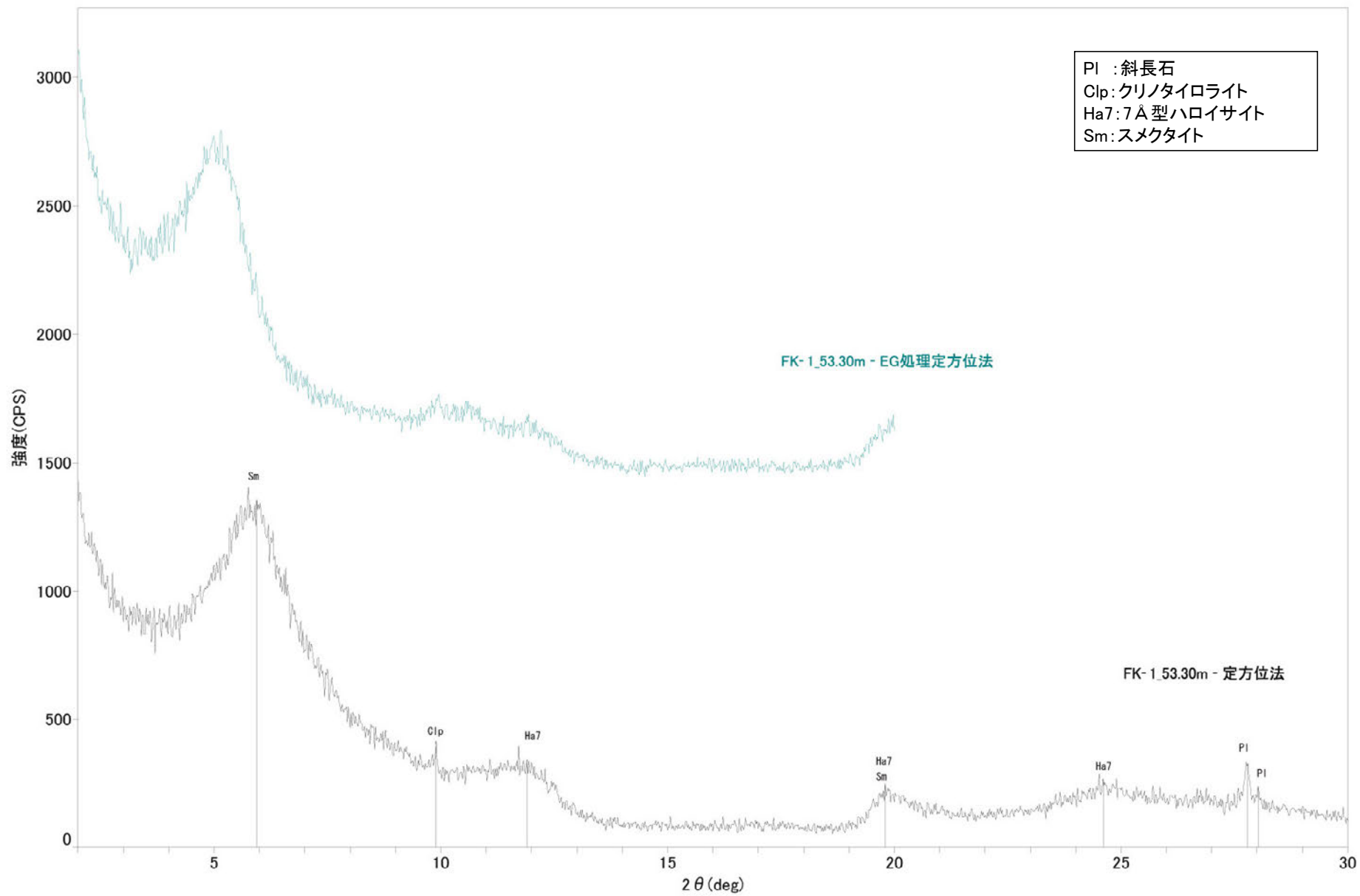
FK-1孔 52.80m -X線回折チャート 定方位-



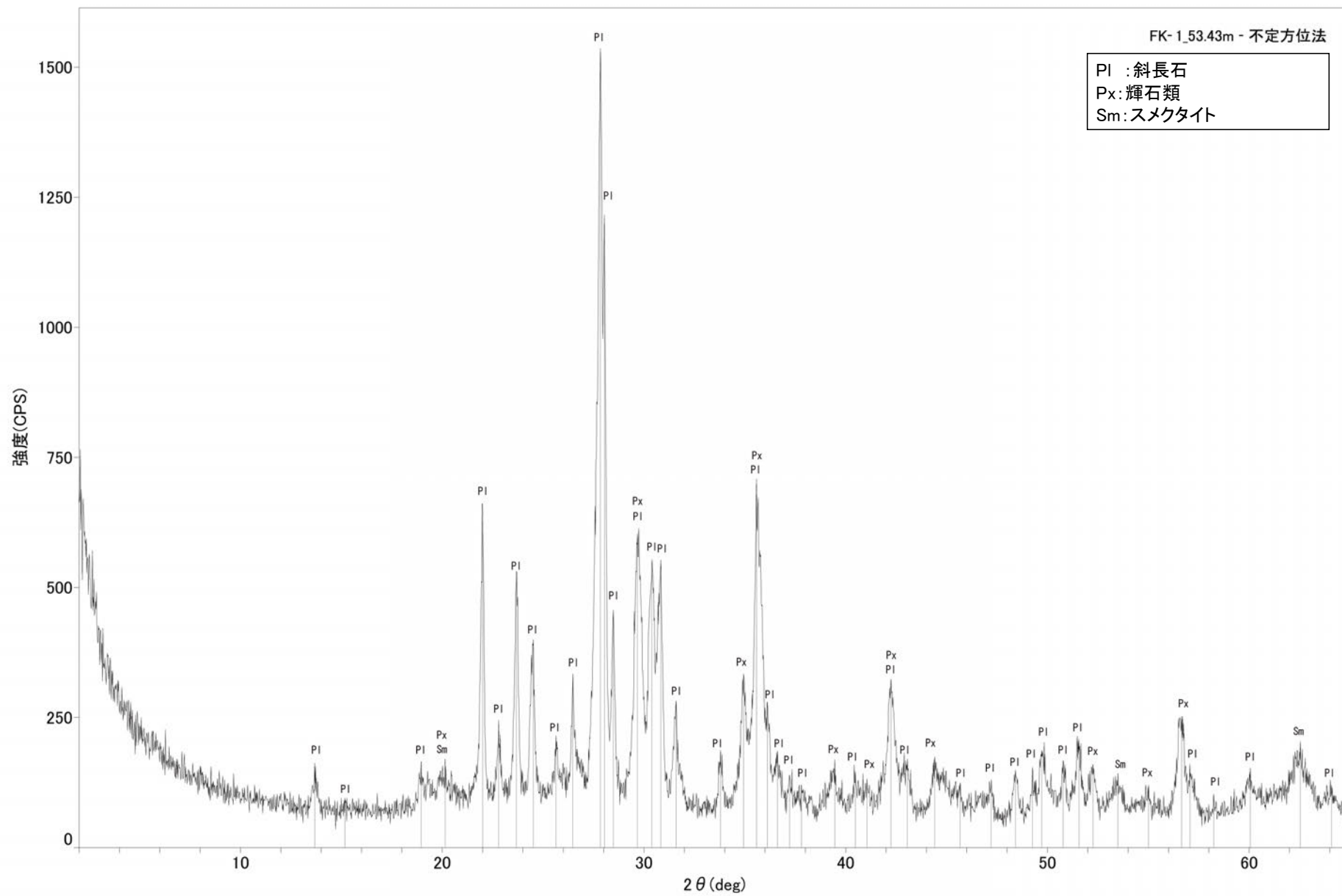
FK-1孔 53.30m -X線回折チャート 不定方位-



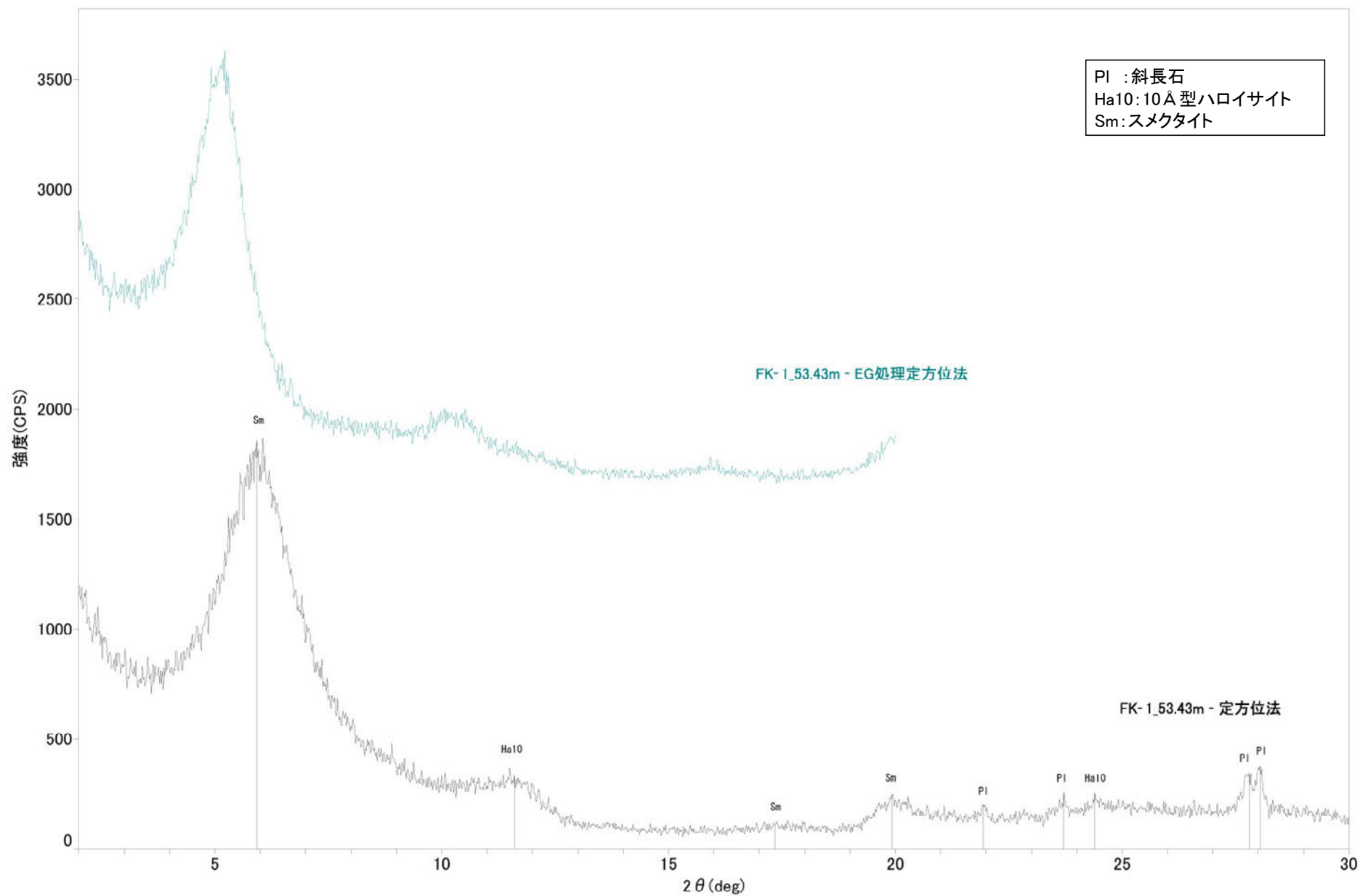
FK-1孔 53.30m -X線回折チャート 定方位-



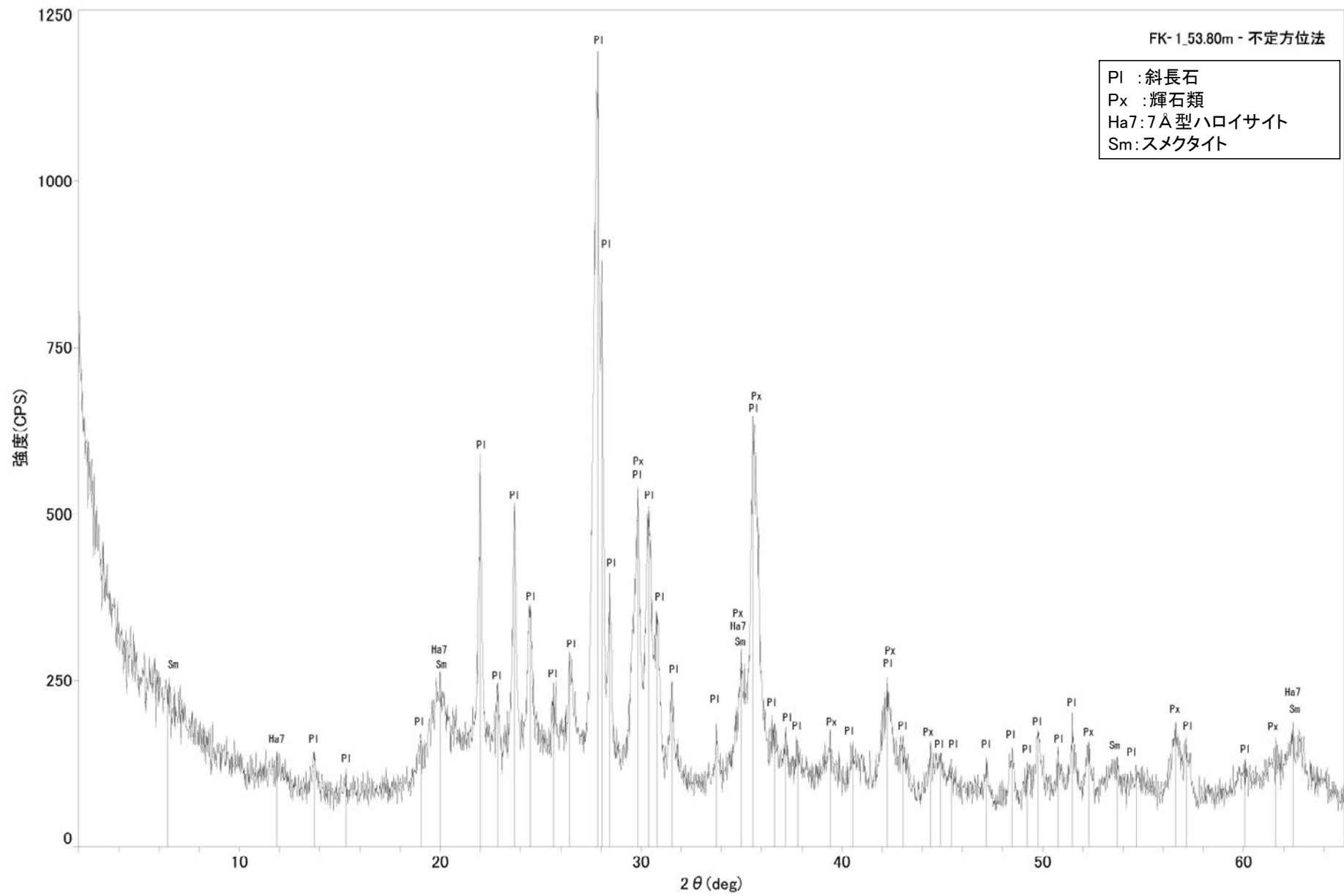
FK-1孔 53.43m -X線回折チャート 不定方位-



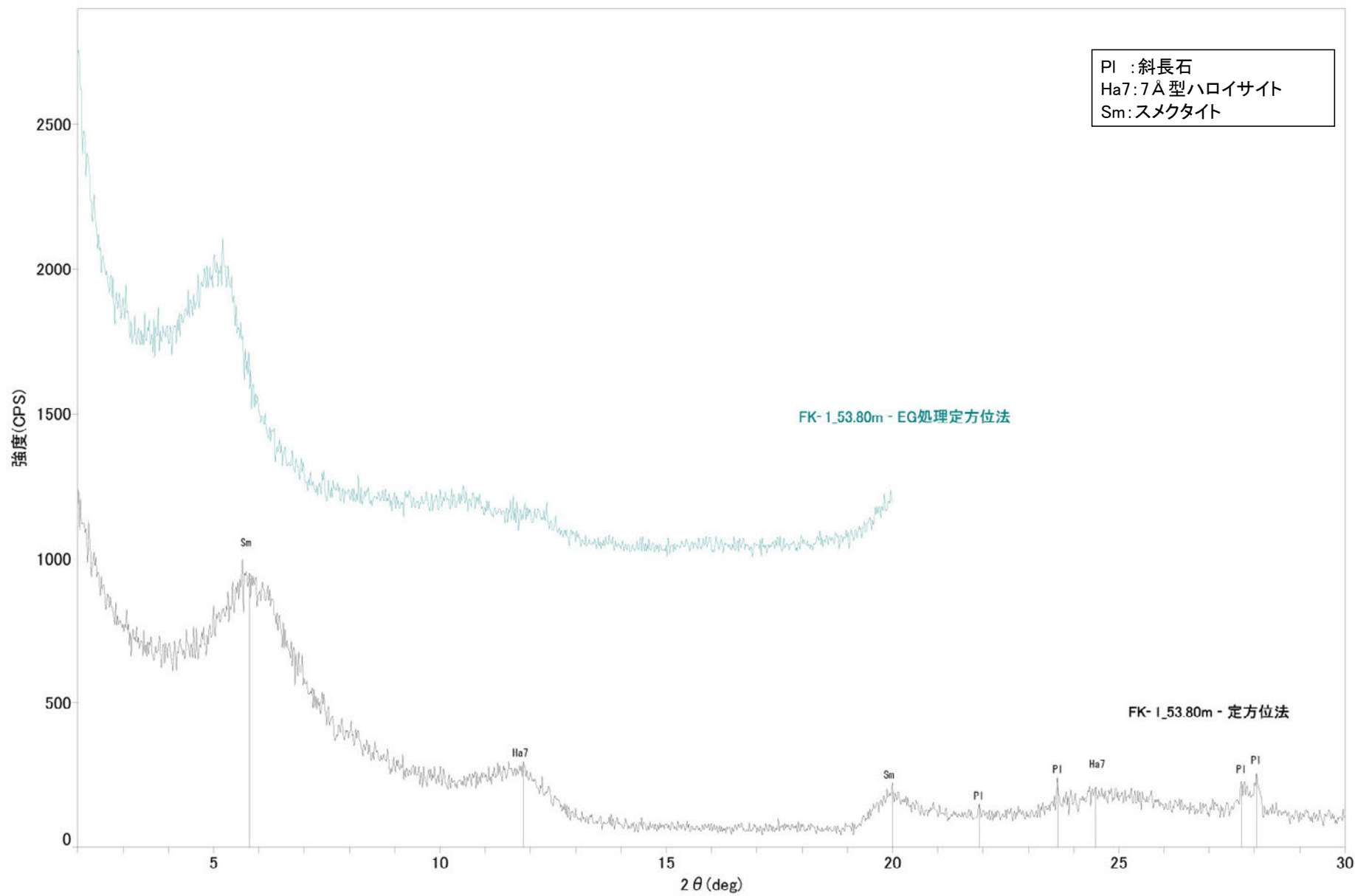
FK-1孔 53.43m -X線回折チャート 定方位-



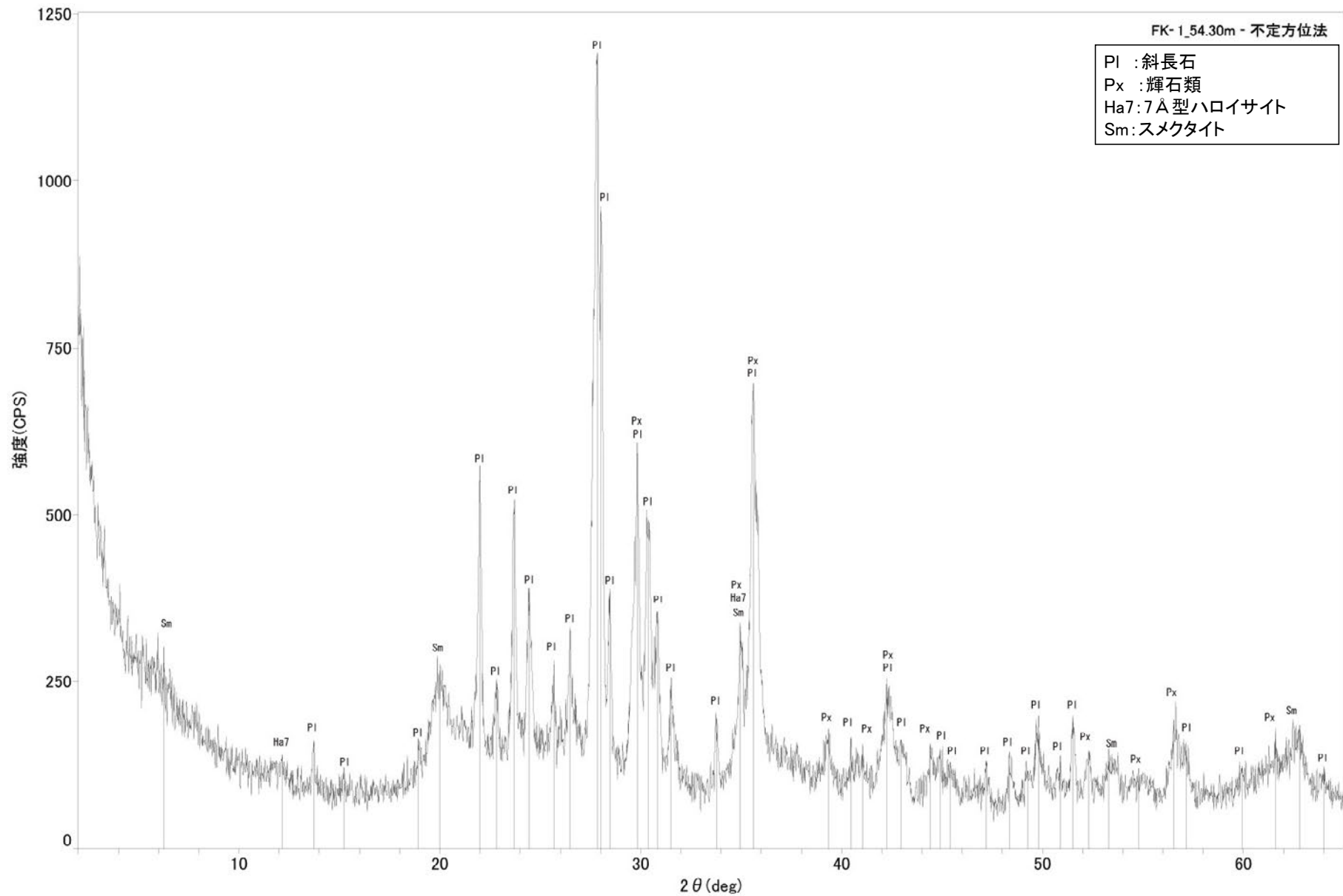
FK-1孔 53.80m -X線回折チャート 不定方位-



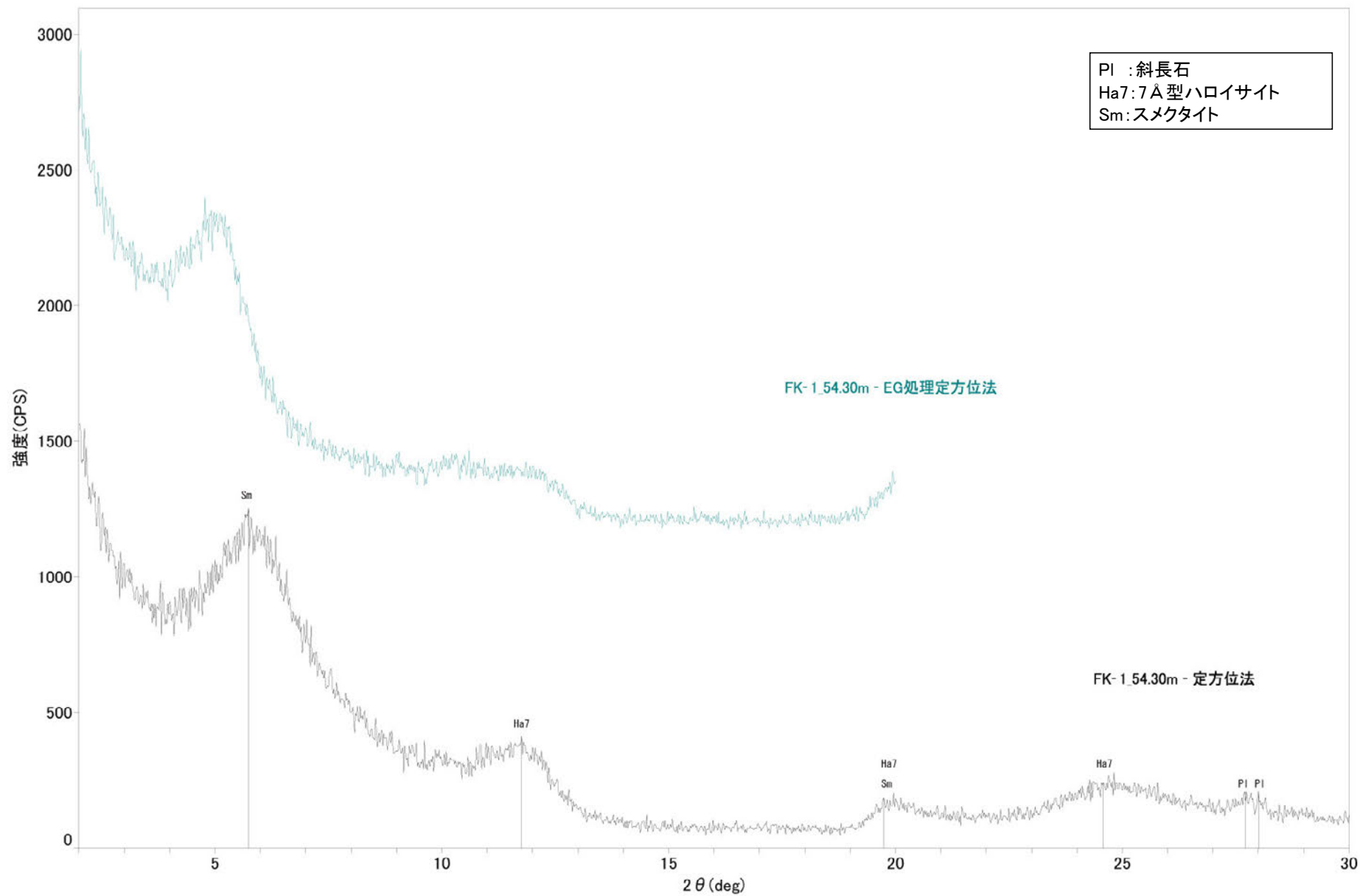
FK-1孔 53.80m -X線回折チャート 定方位-



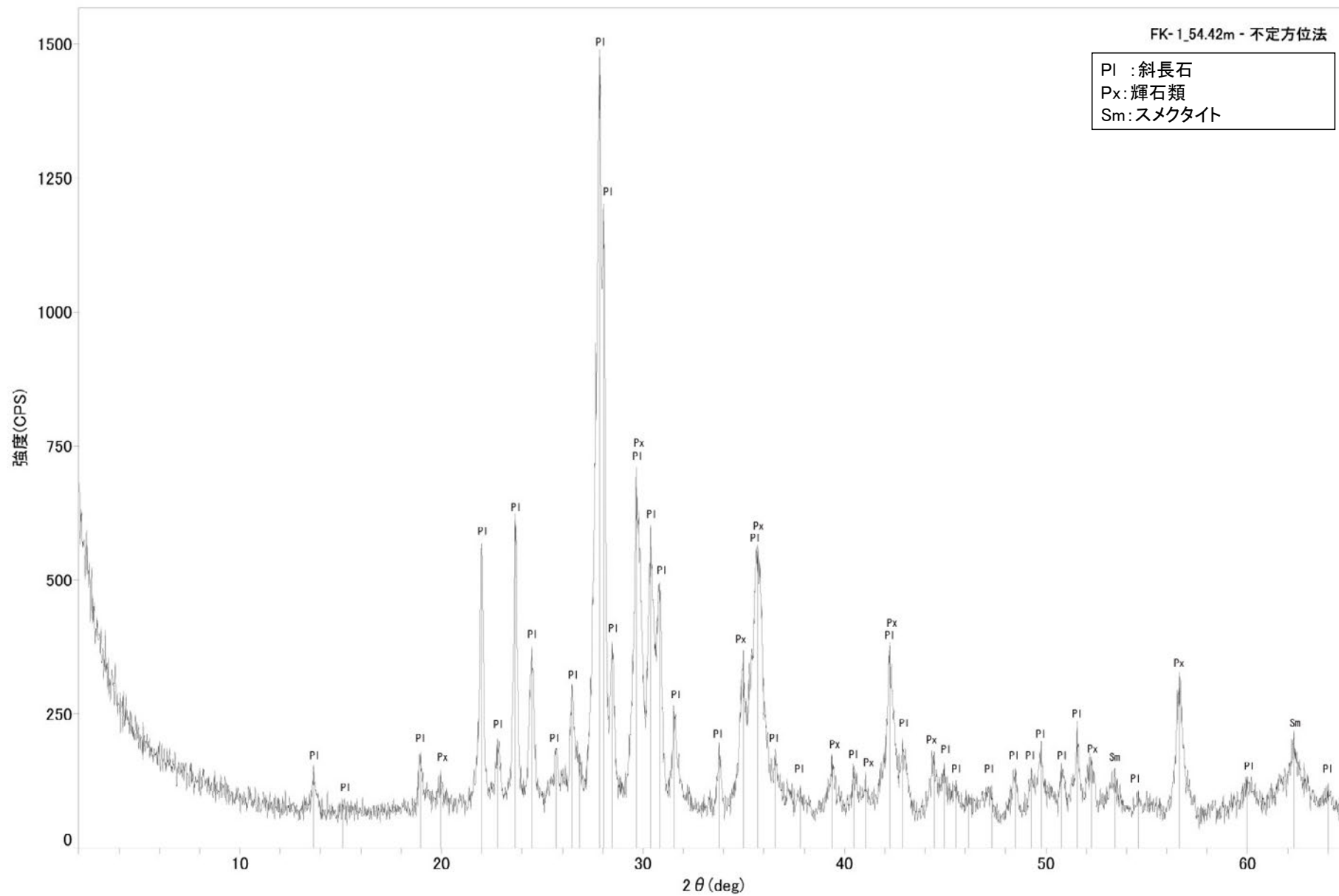
FK-1孔 54.30m -X線回折チャート 不定方位-



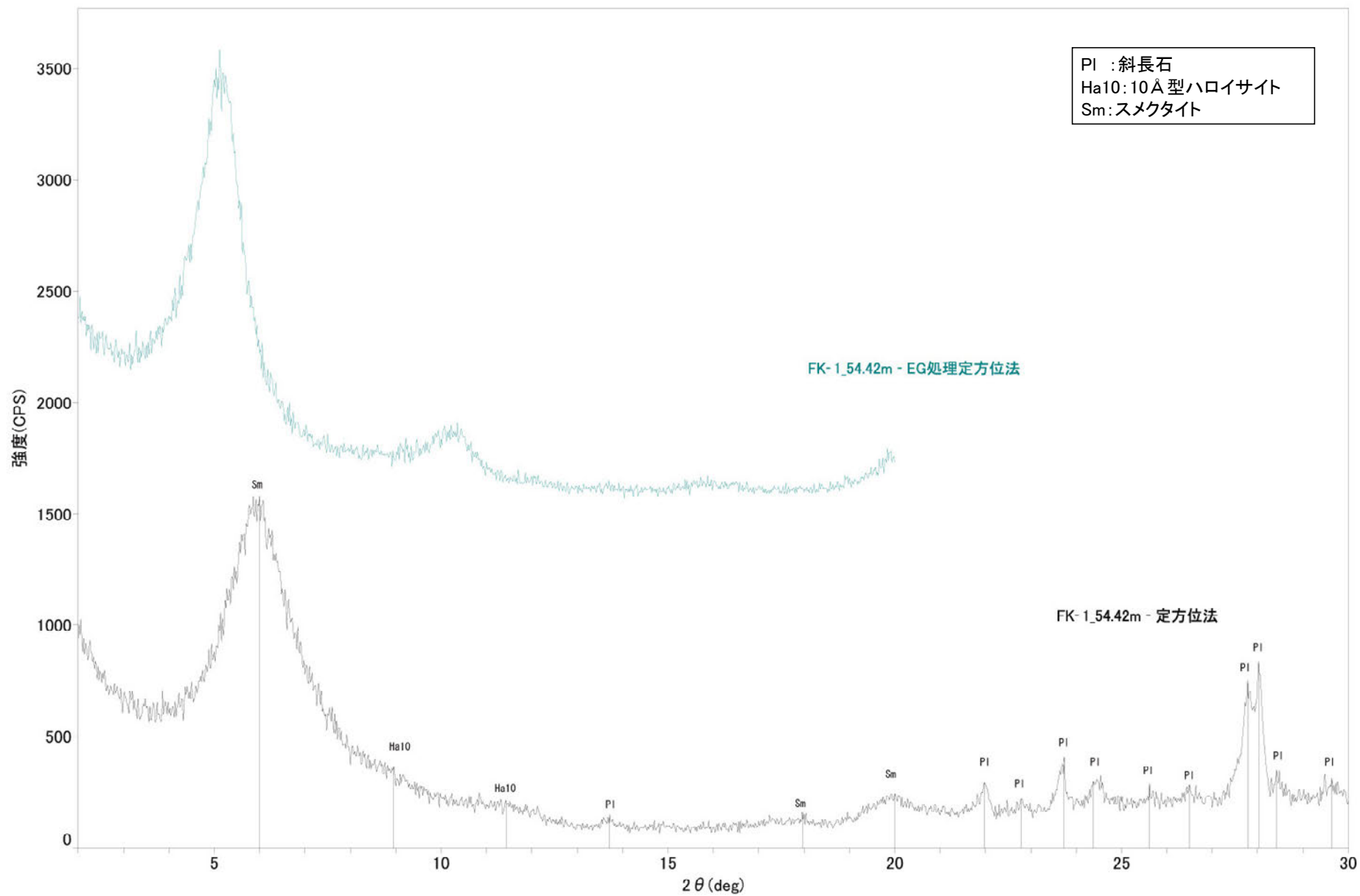
FK-1孔 54.30m -X線回折チャート 定方位-



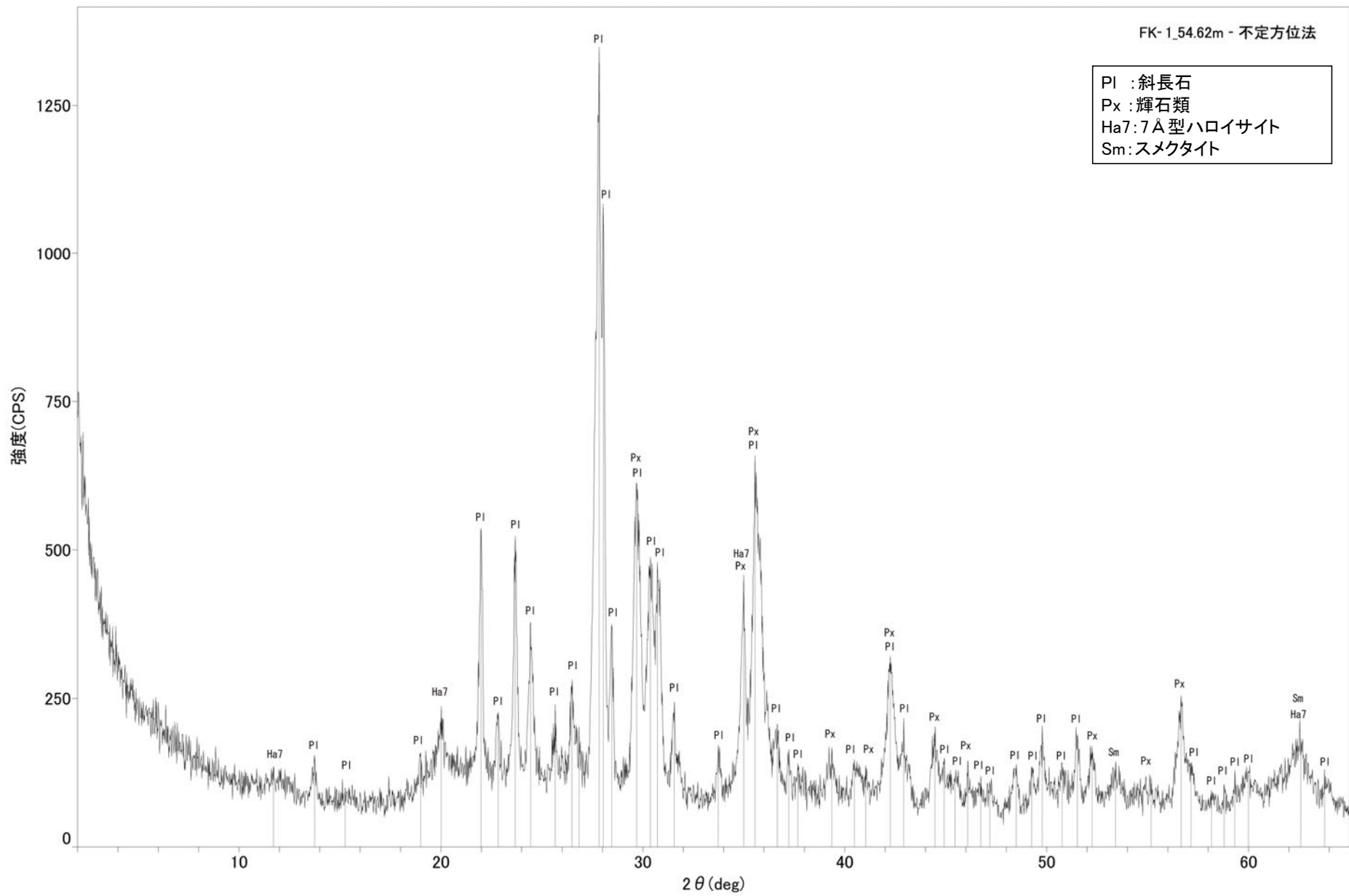
FK-1孔 54.42m -X線回折チャート 不定方位-



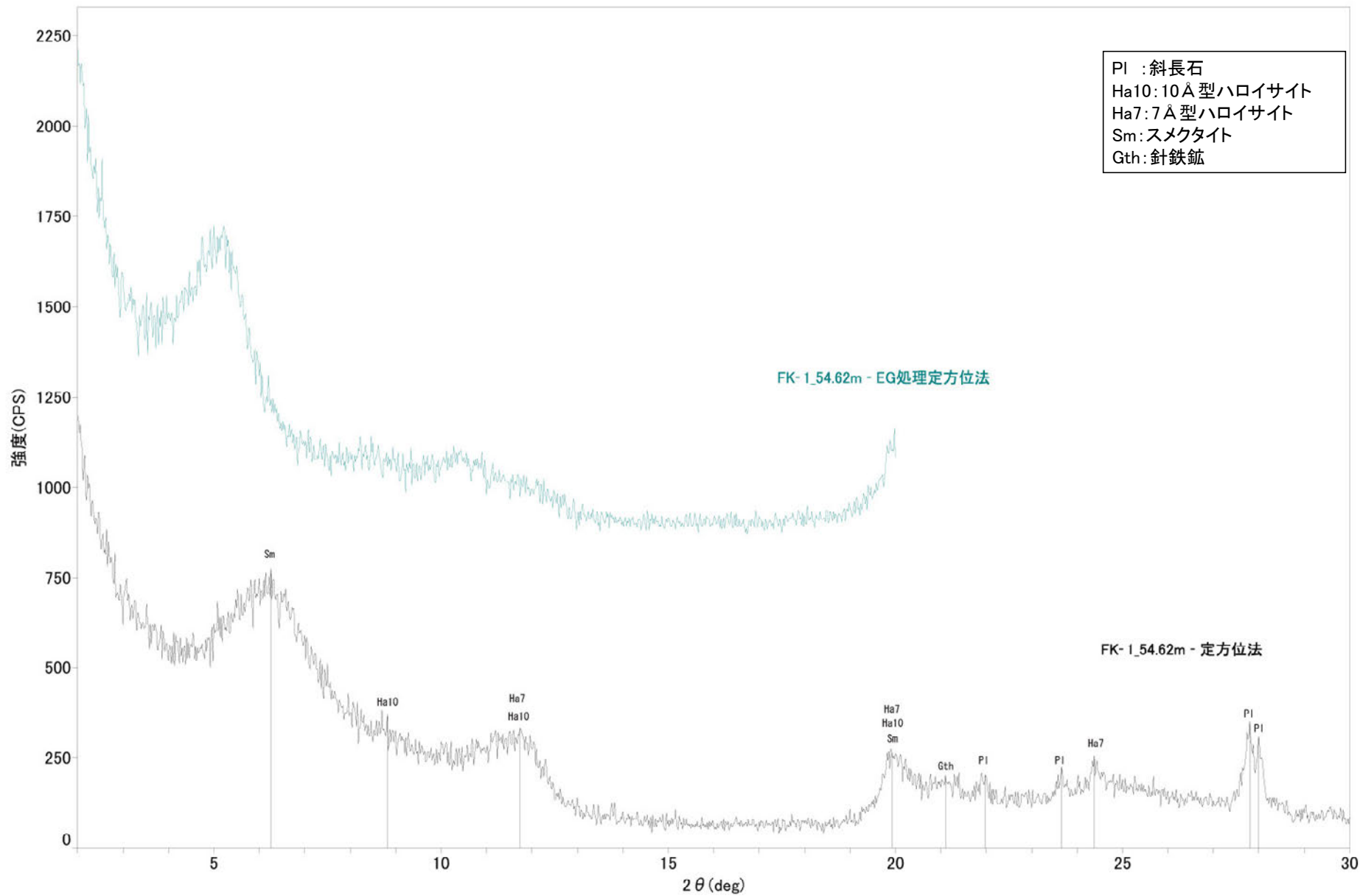
FK-1孔 54.42m -X線回折チャート 定方位-



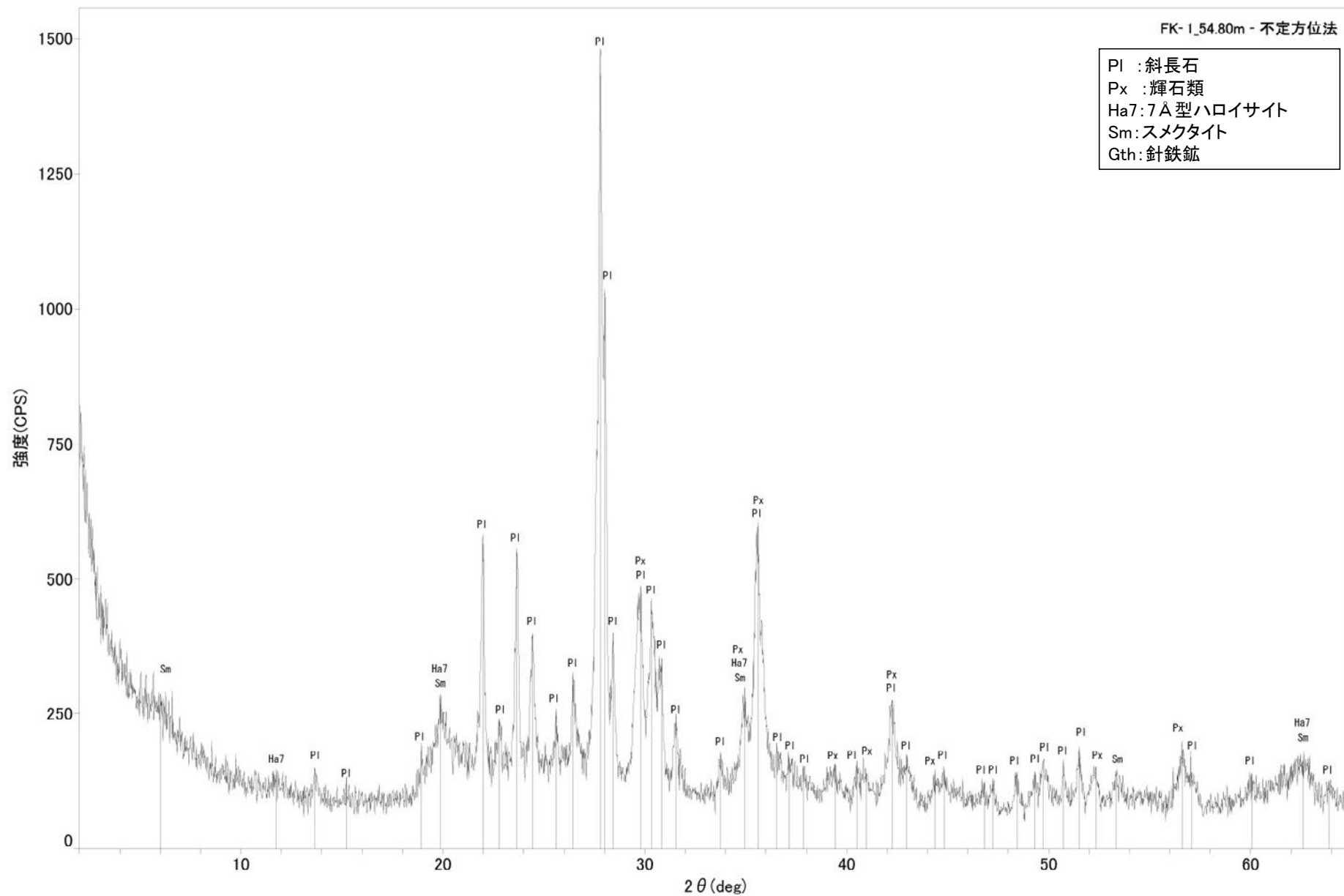
FK-1孔 54.62m -X線回折チャート 不定方位-



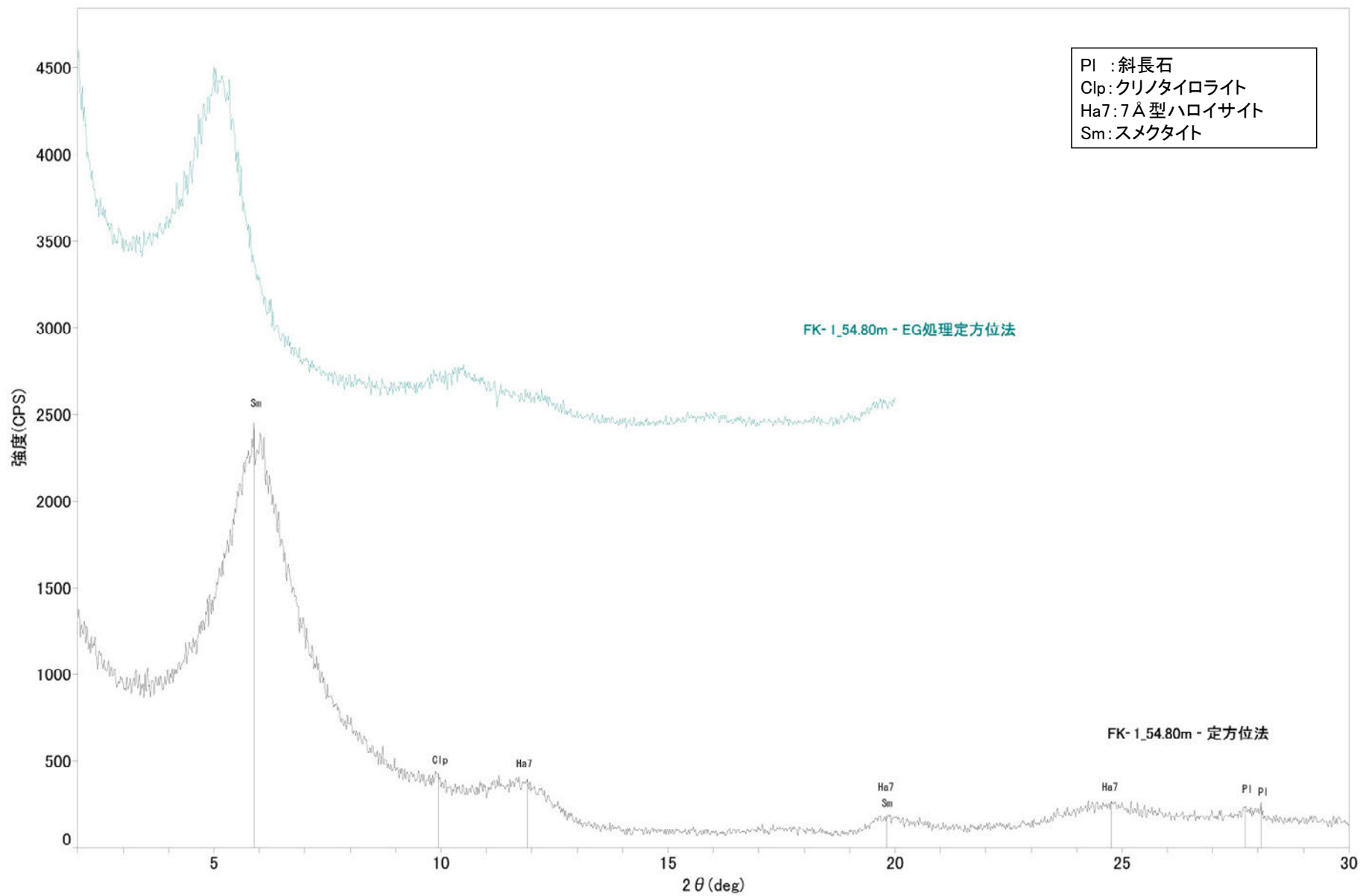
FK-1孔 54.62m -X線回折チャート 定方位-



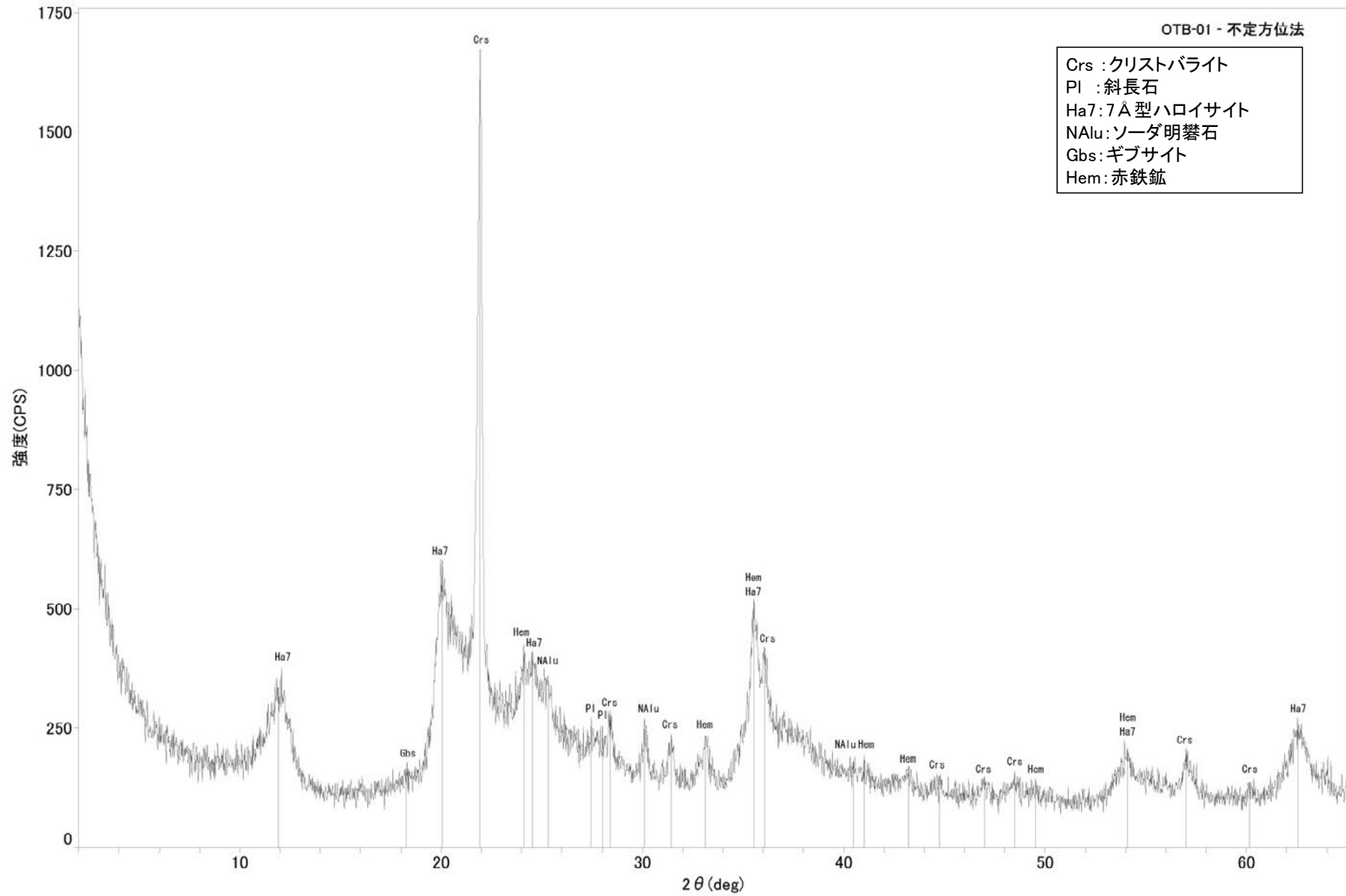
FK-1孔 54.80m -X線回折チャート 不定方位-



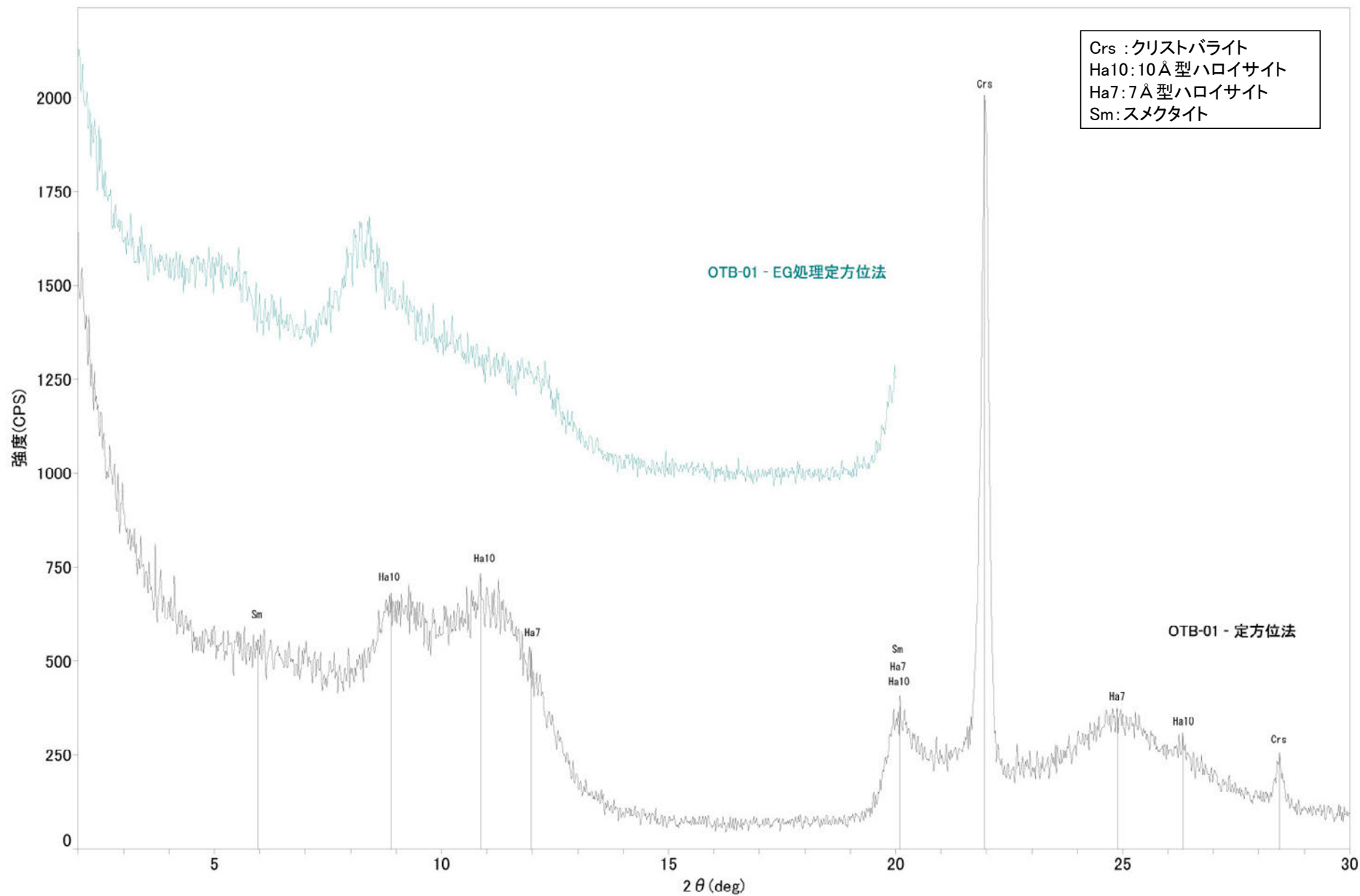
FK-1孔 54.80m -X線回折チャート 不定方位-



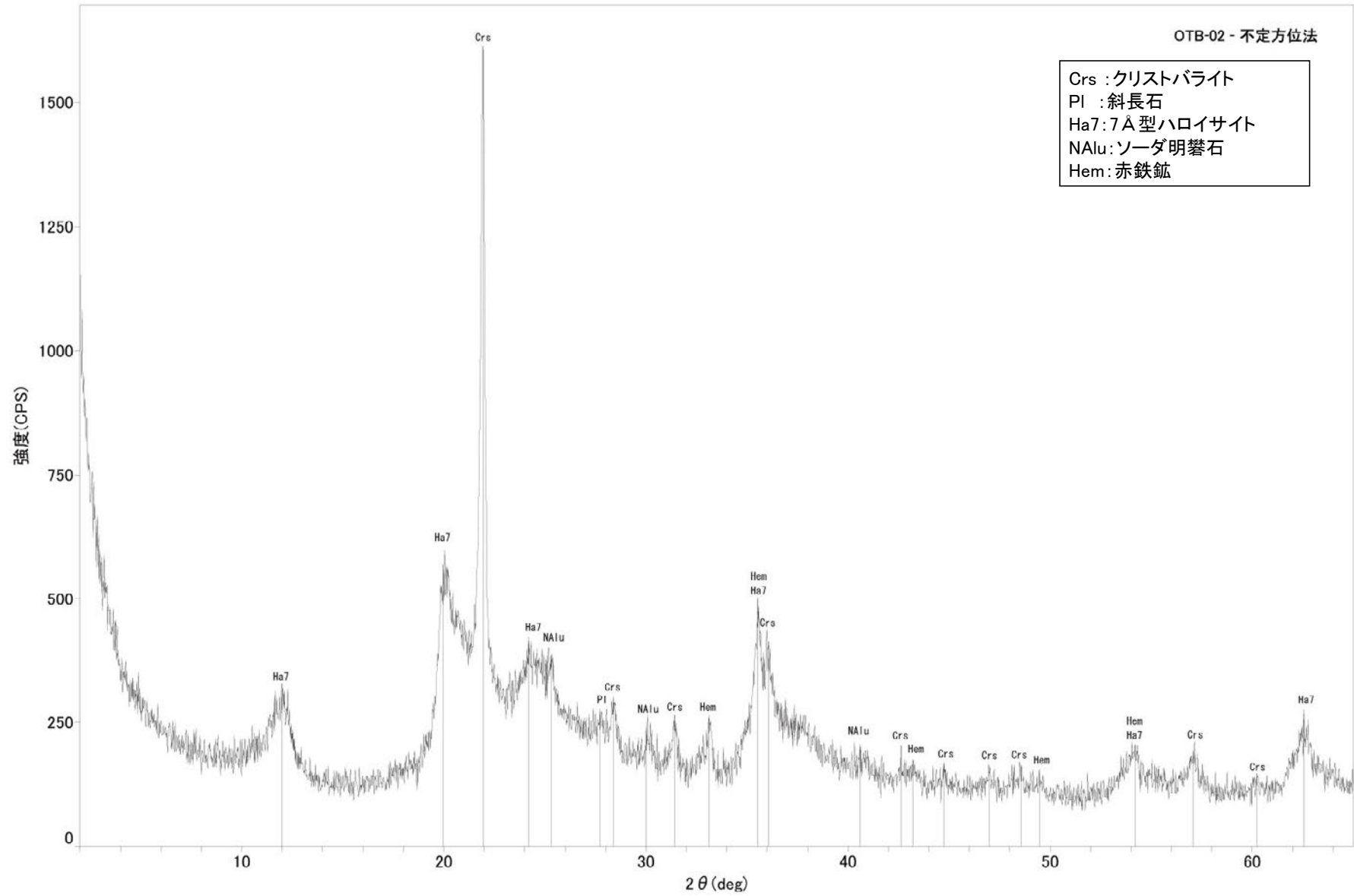
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-01 -X線回折チャート 不定方位-



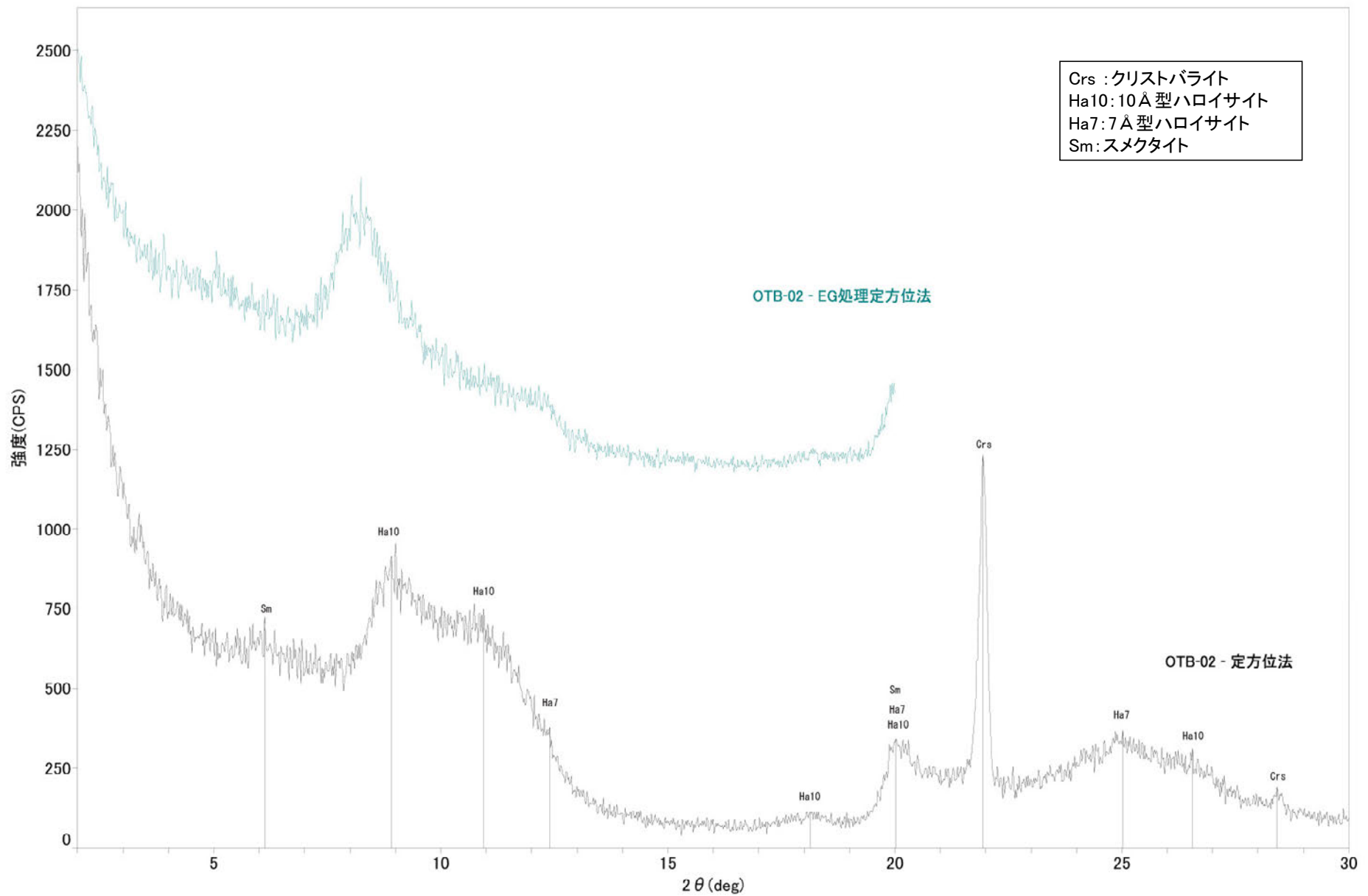
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-01 -X線回折チャート 定方位-



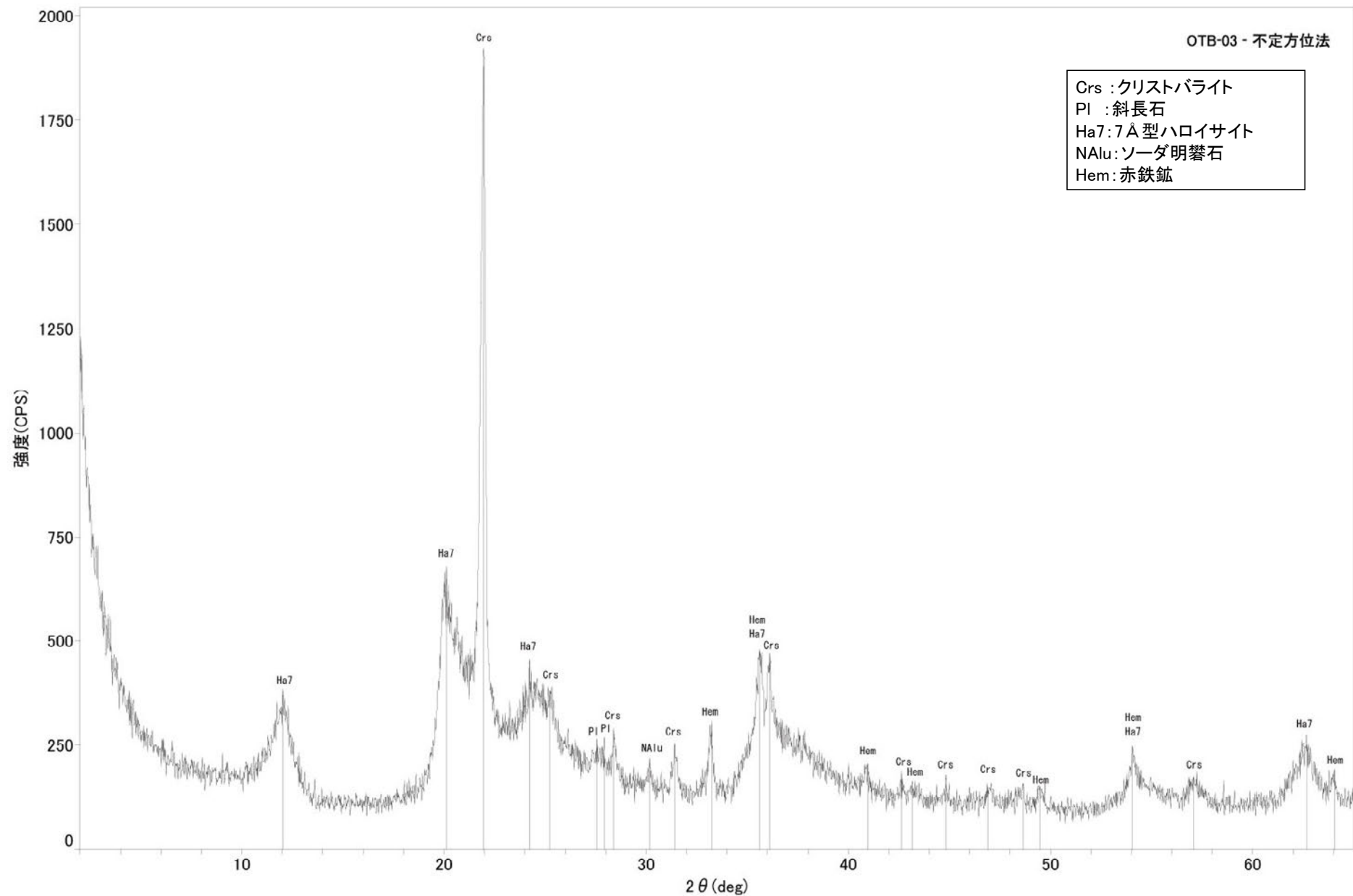
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-02 -X線回折チャート 不定方位-



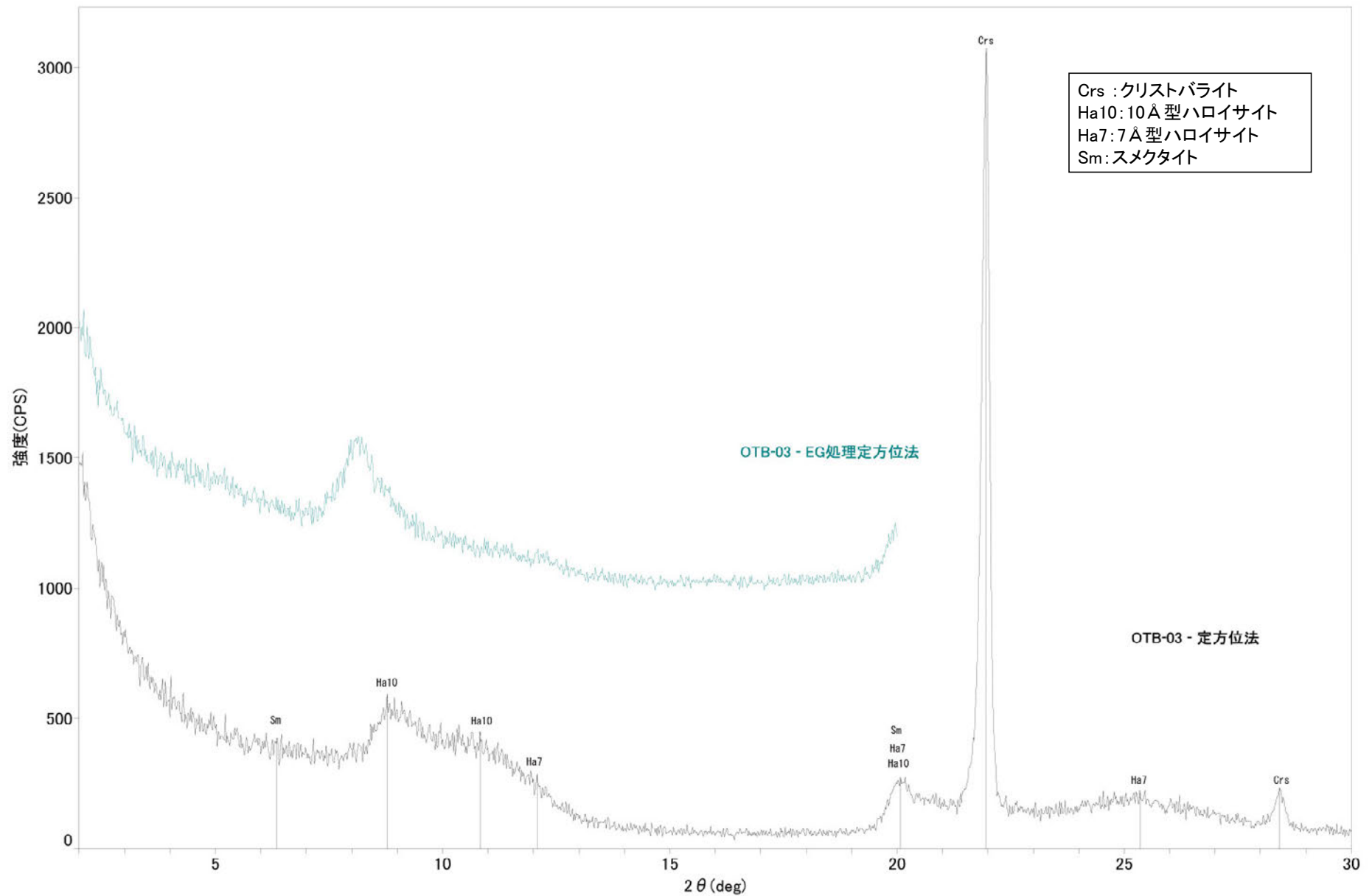
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-02 -X線回折チャート 定方位-



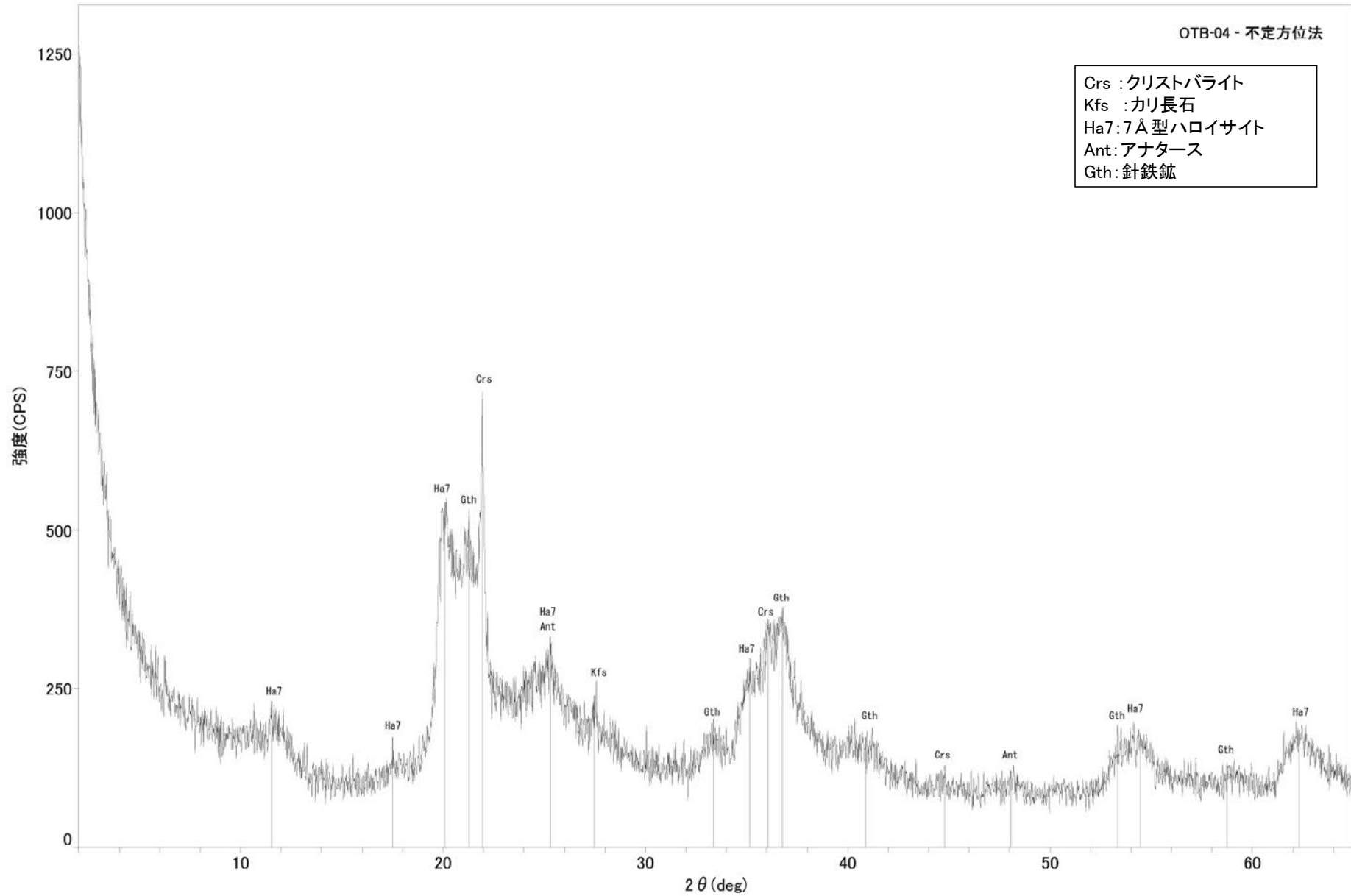
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-03 -X線回折チャート 不定方位-



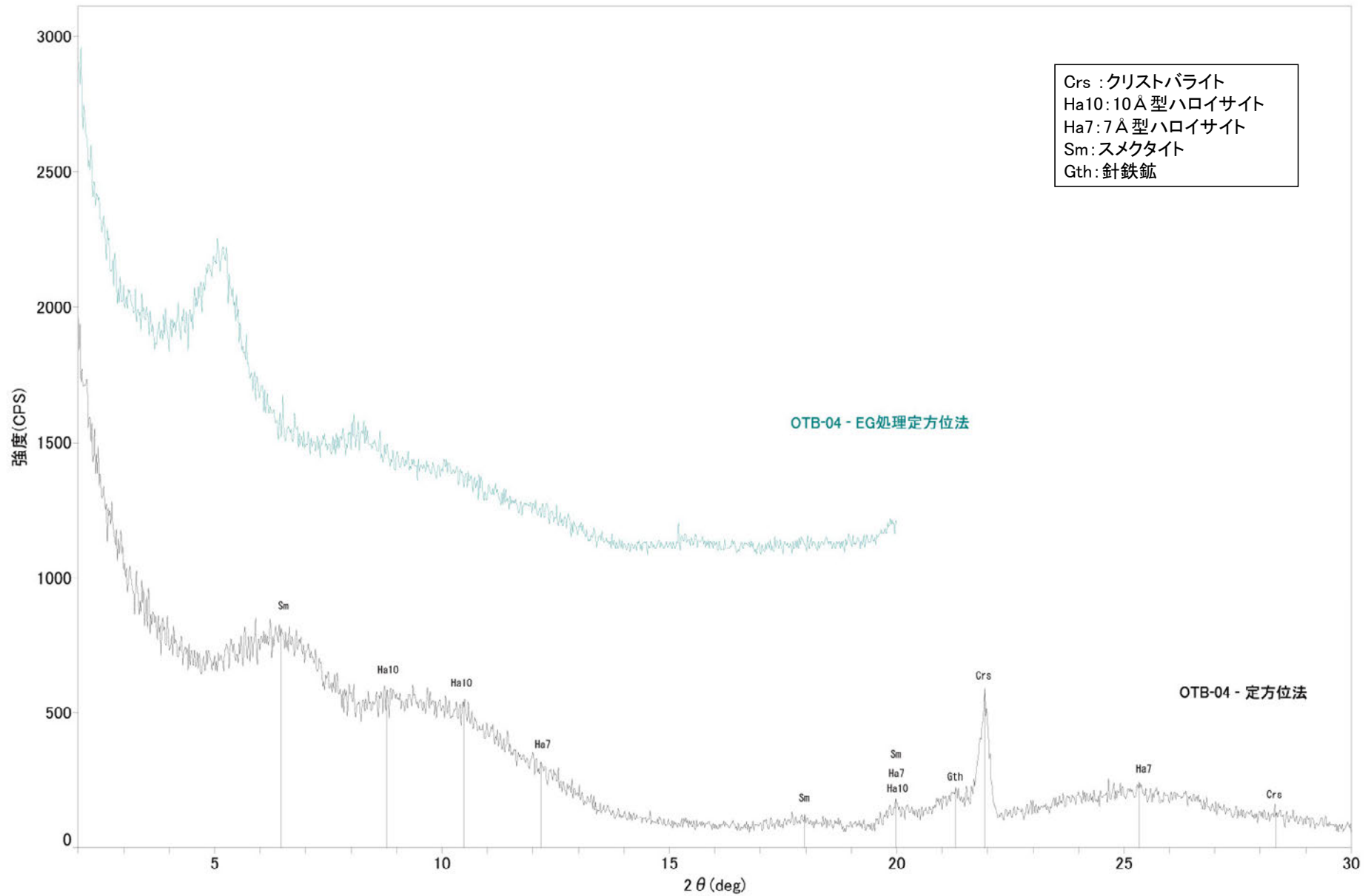
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-03 -X線回折チャート 定方位-



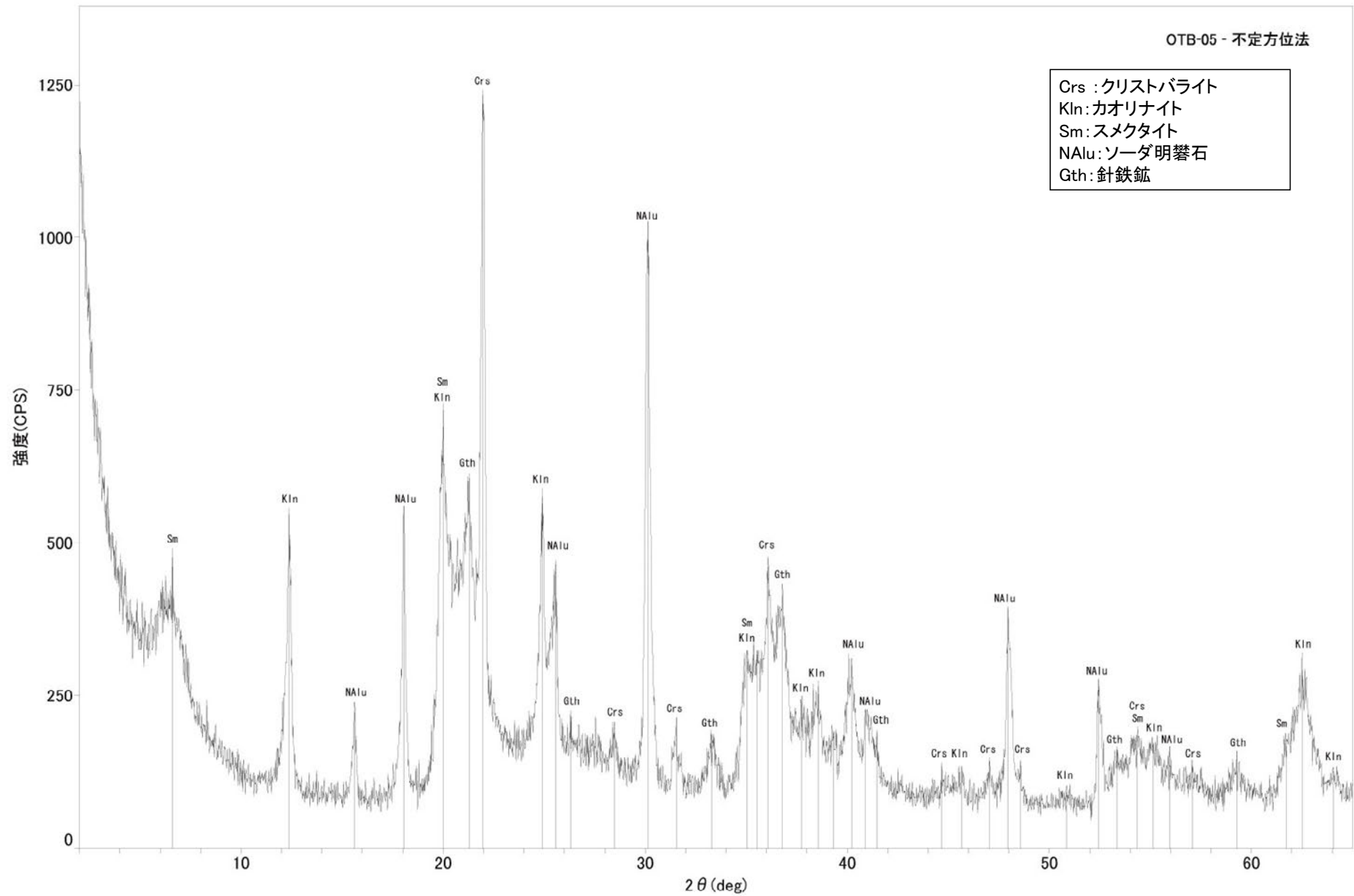
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-04 -X線回折チャート 不定方位-



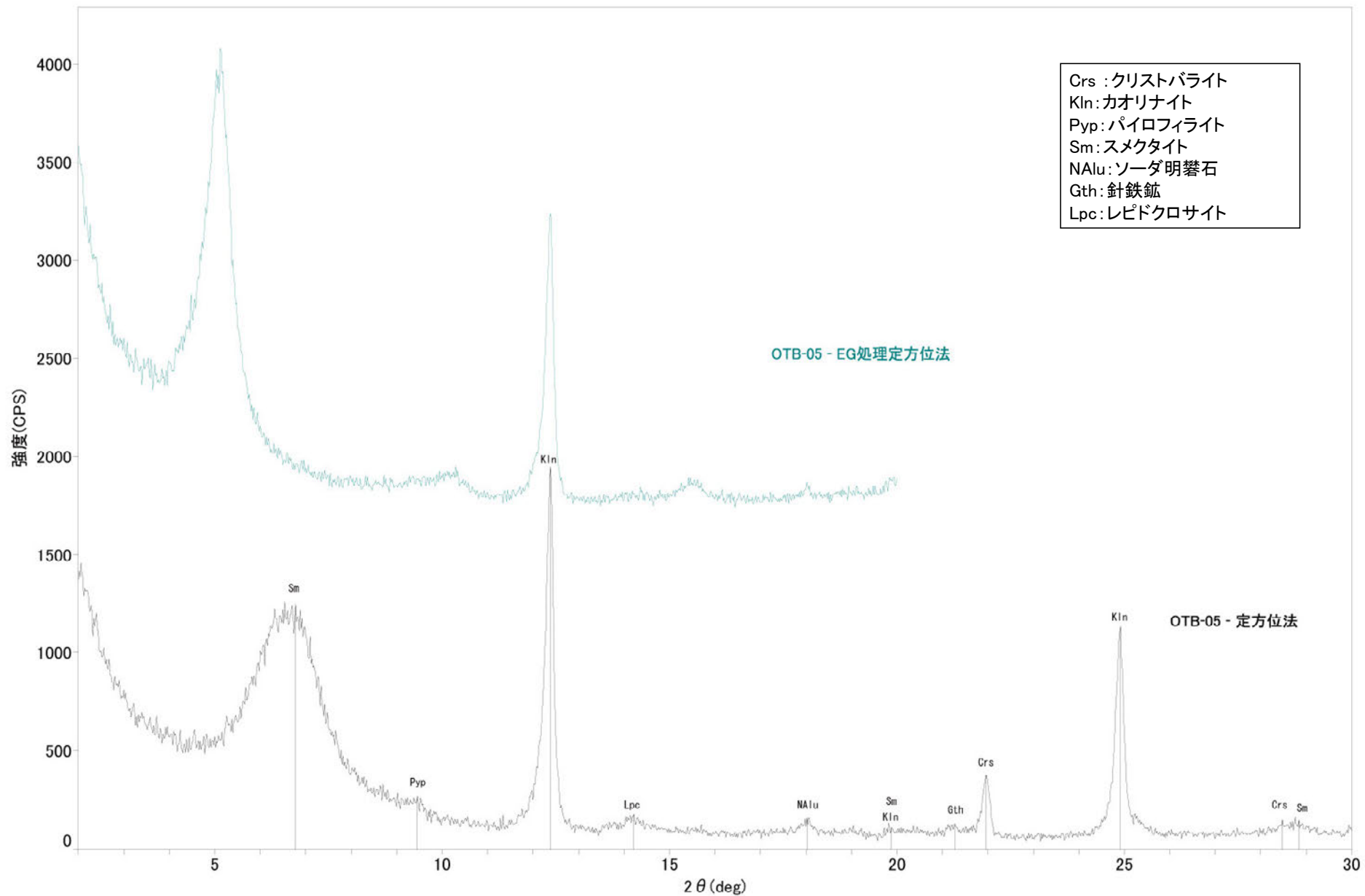
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-04 -X線回折チャート 定方位-



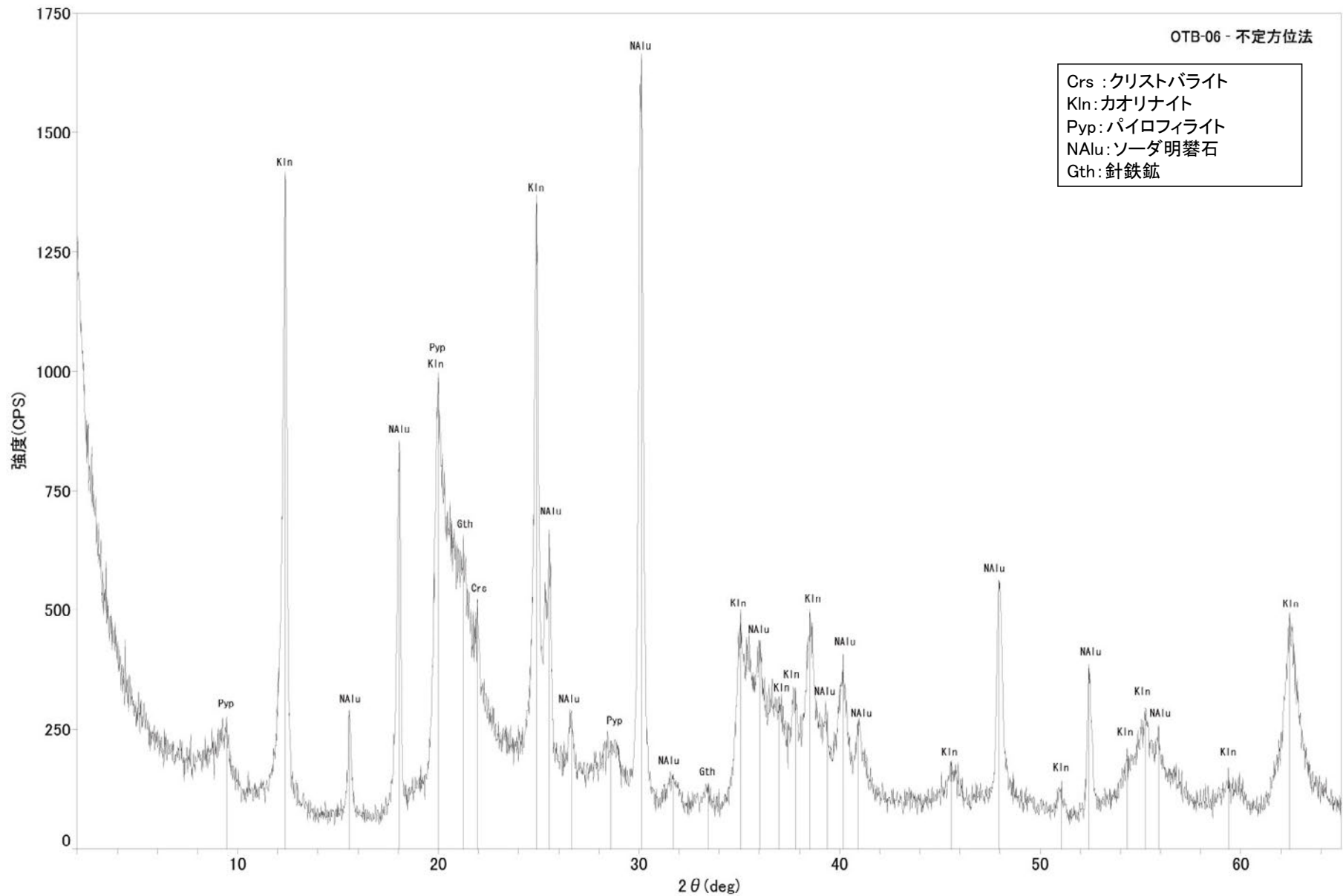
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-05 -X線回折チャート 不定方位-



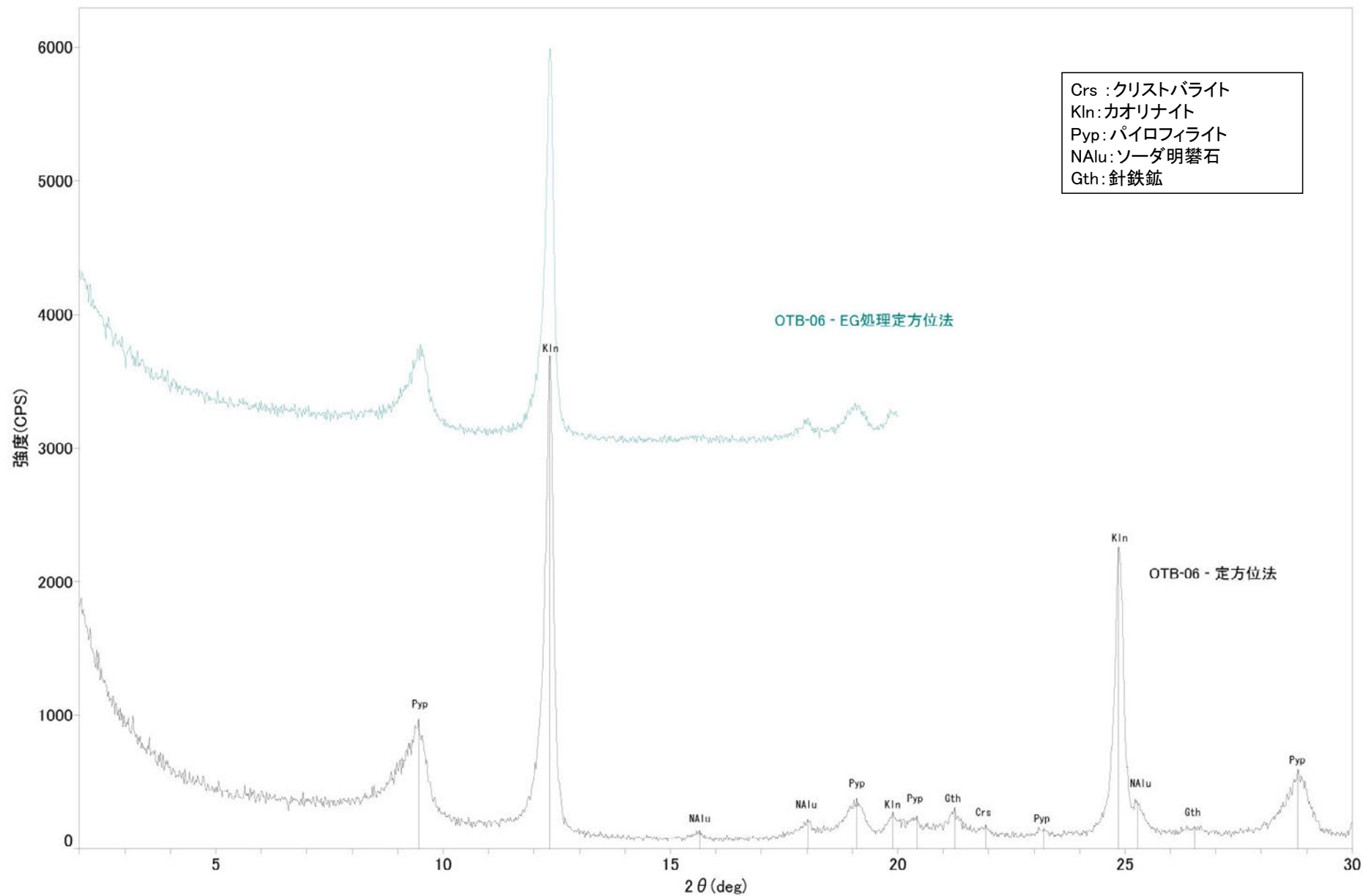
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-05 -X線回折チャート 定方位-



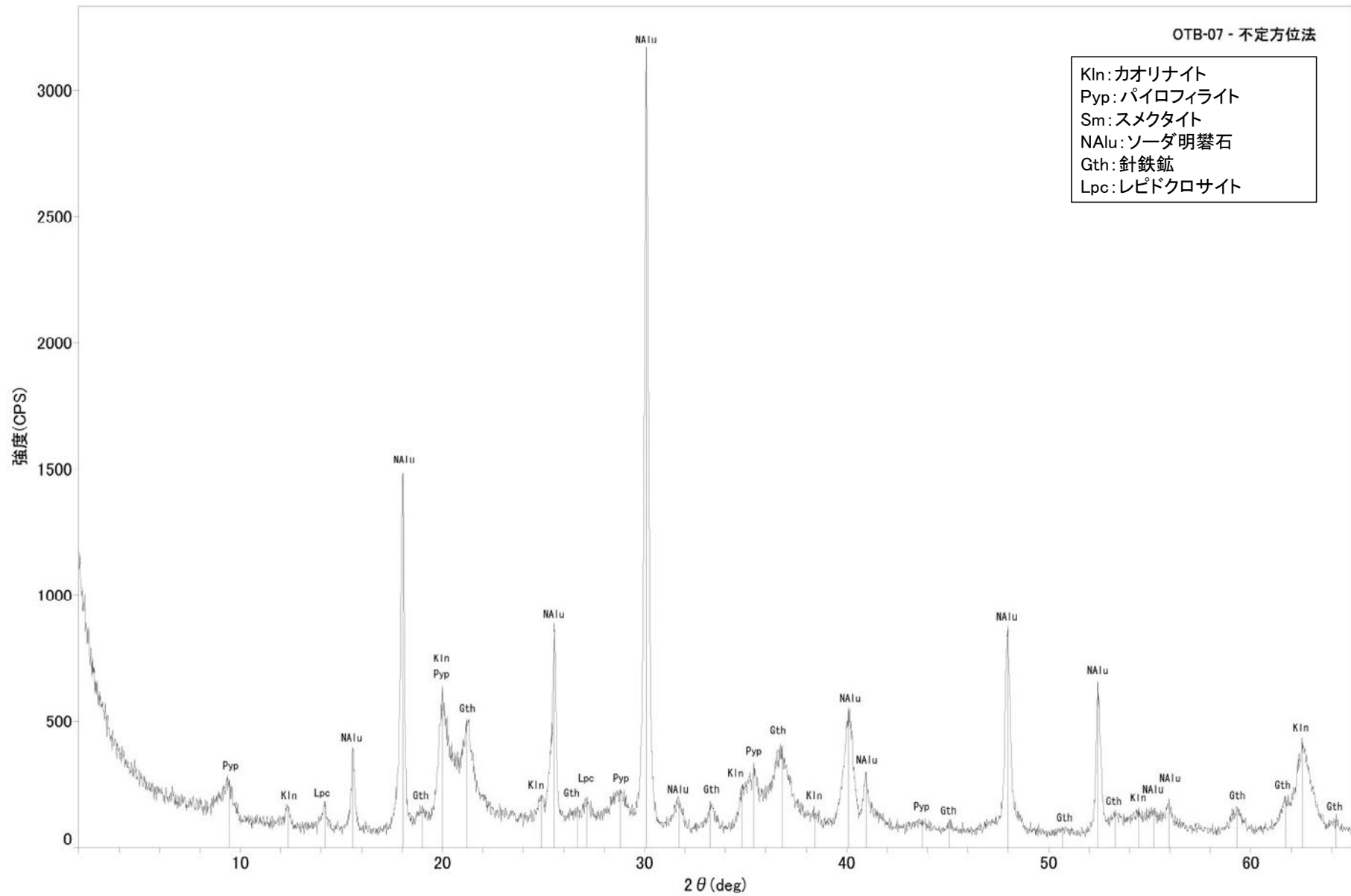
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-06 -X線回折チャート 不定方位-



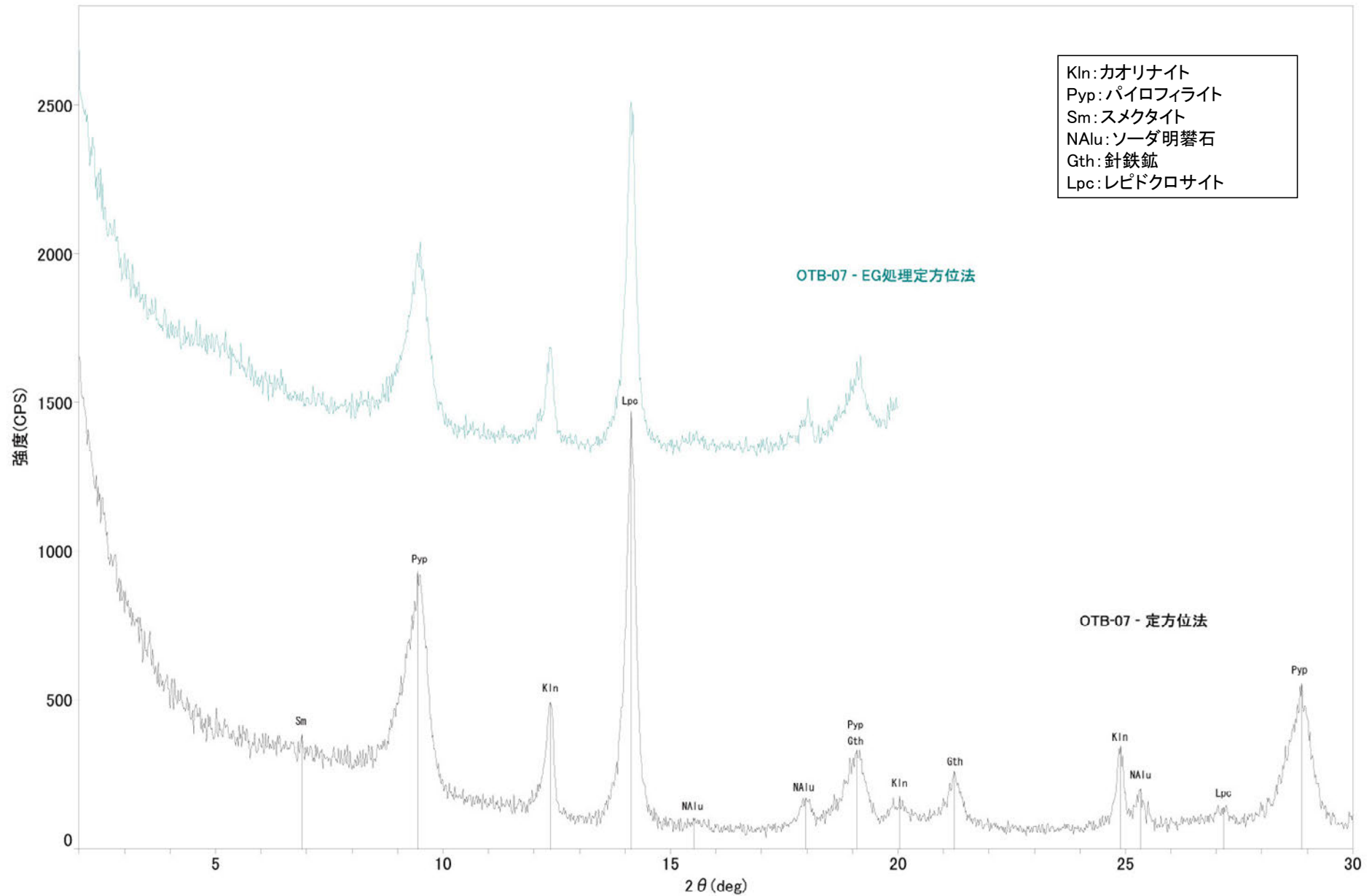
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-06 -X線回折チャート 定方位-



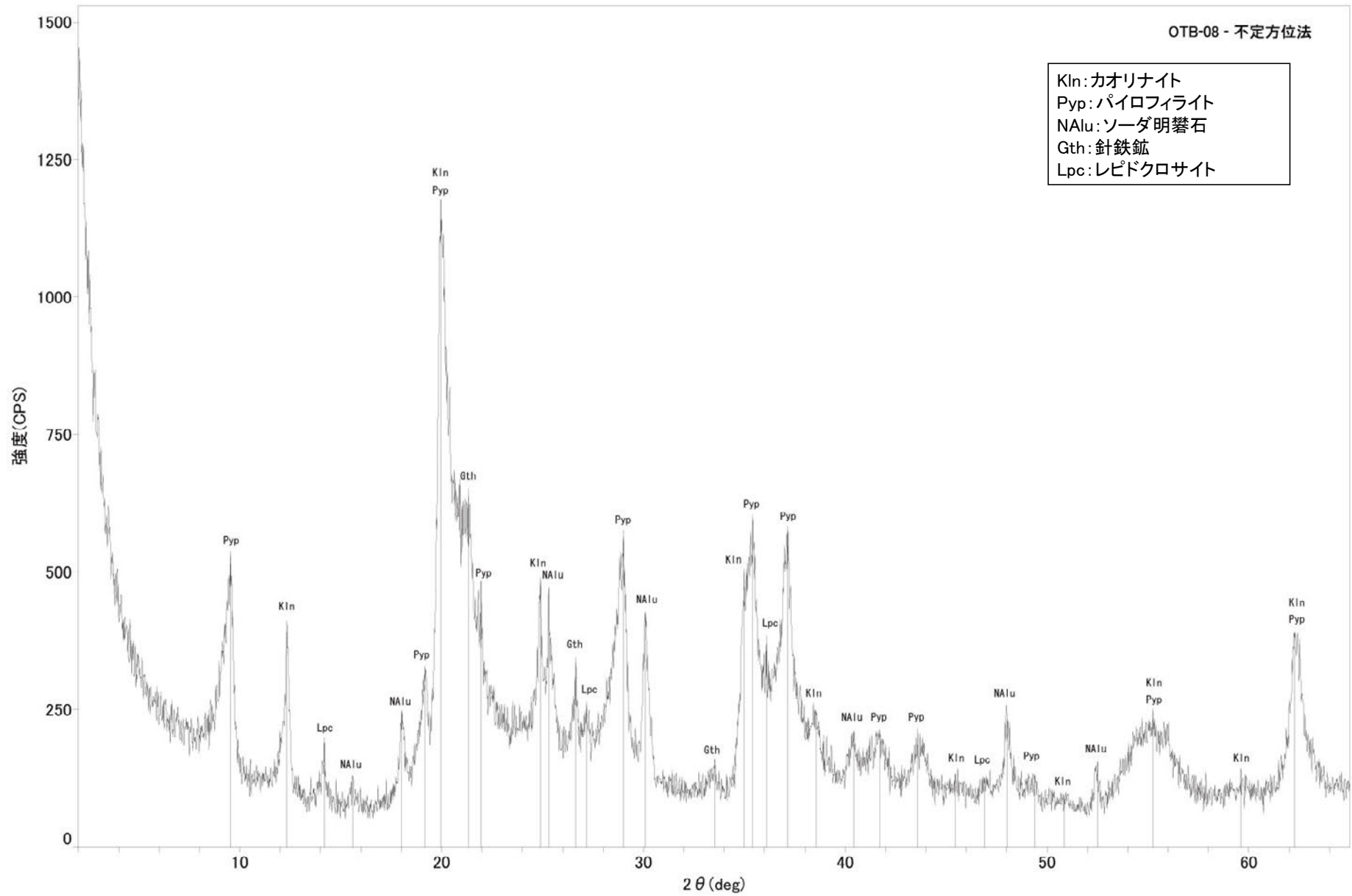
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-07 -X線回折チャート 不定方位-



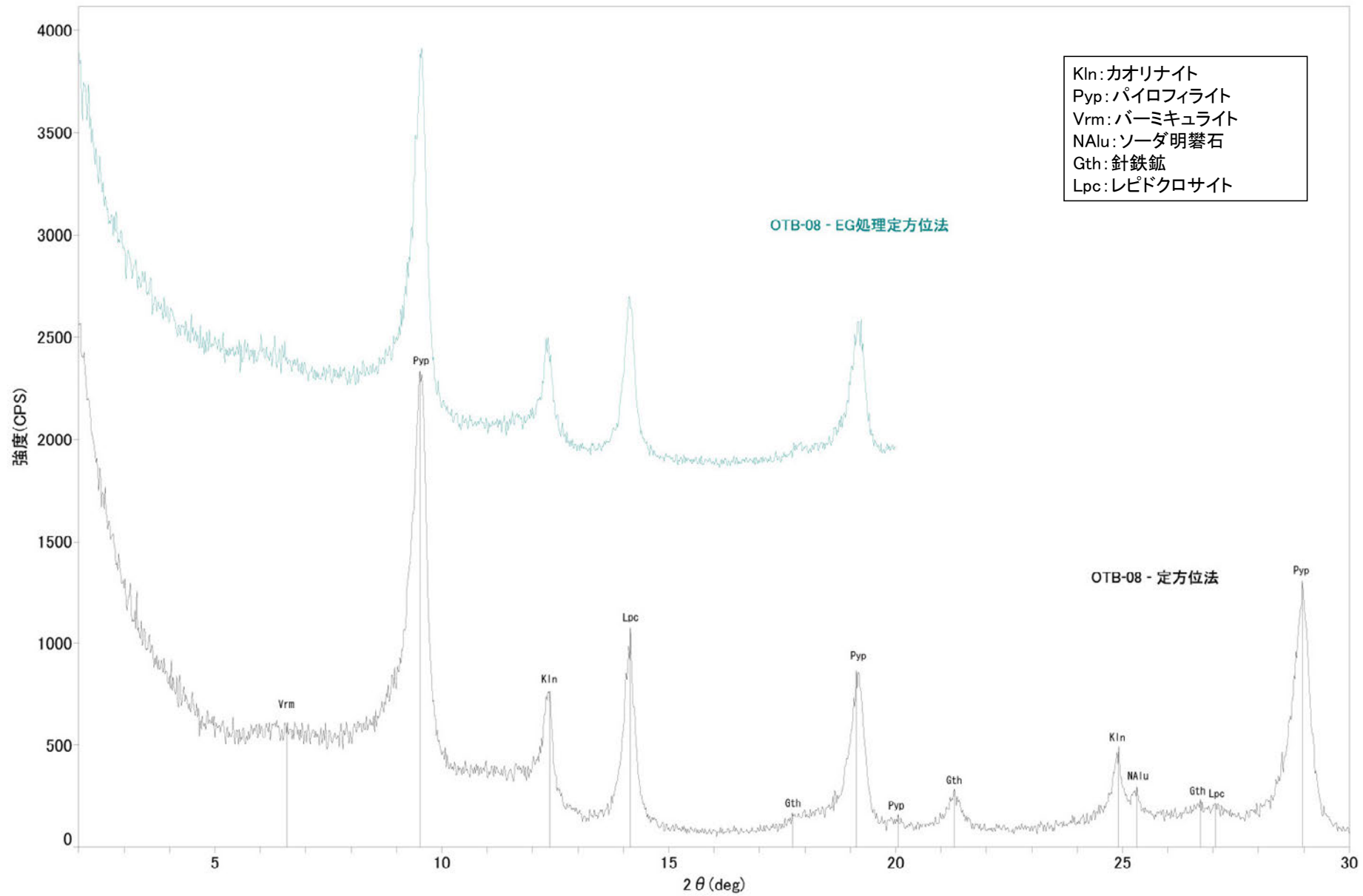
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-07 -X線回折チャート 定方位-



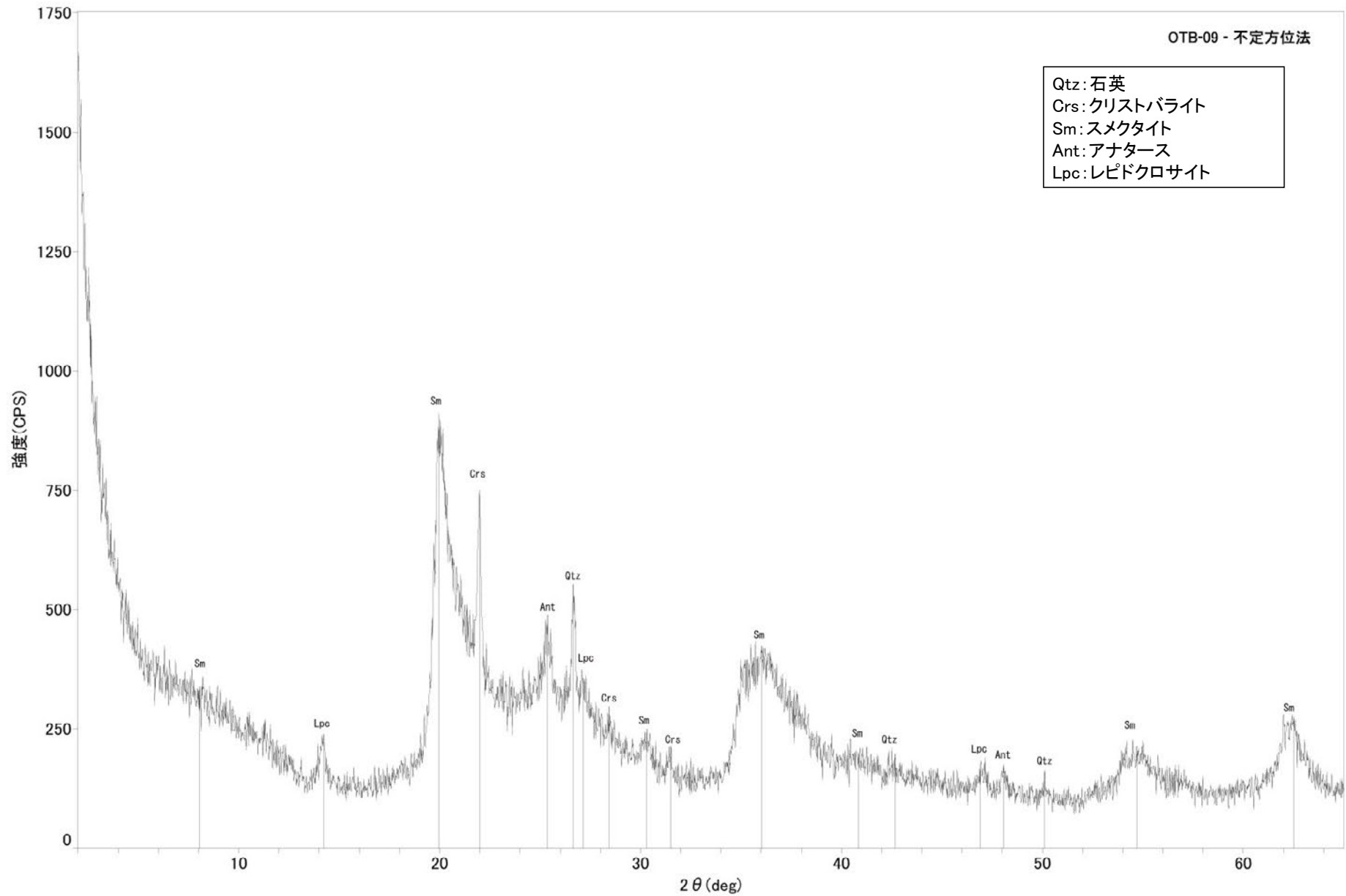
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-08 -X線回折チャート 不定方位-



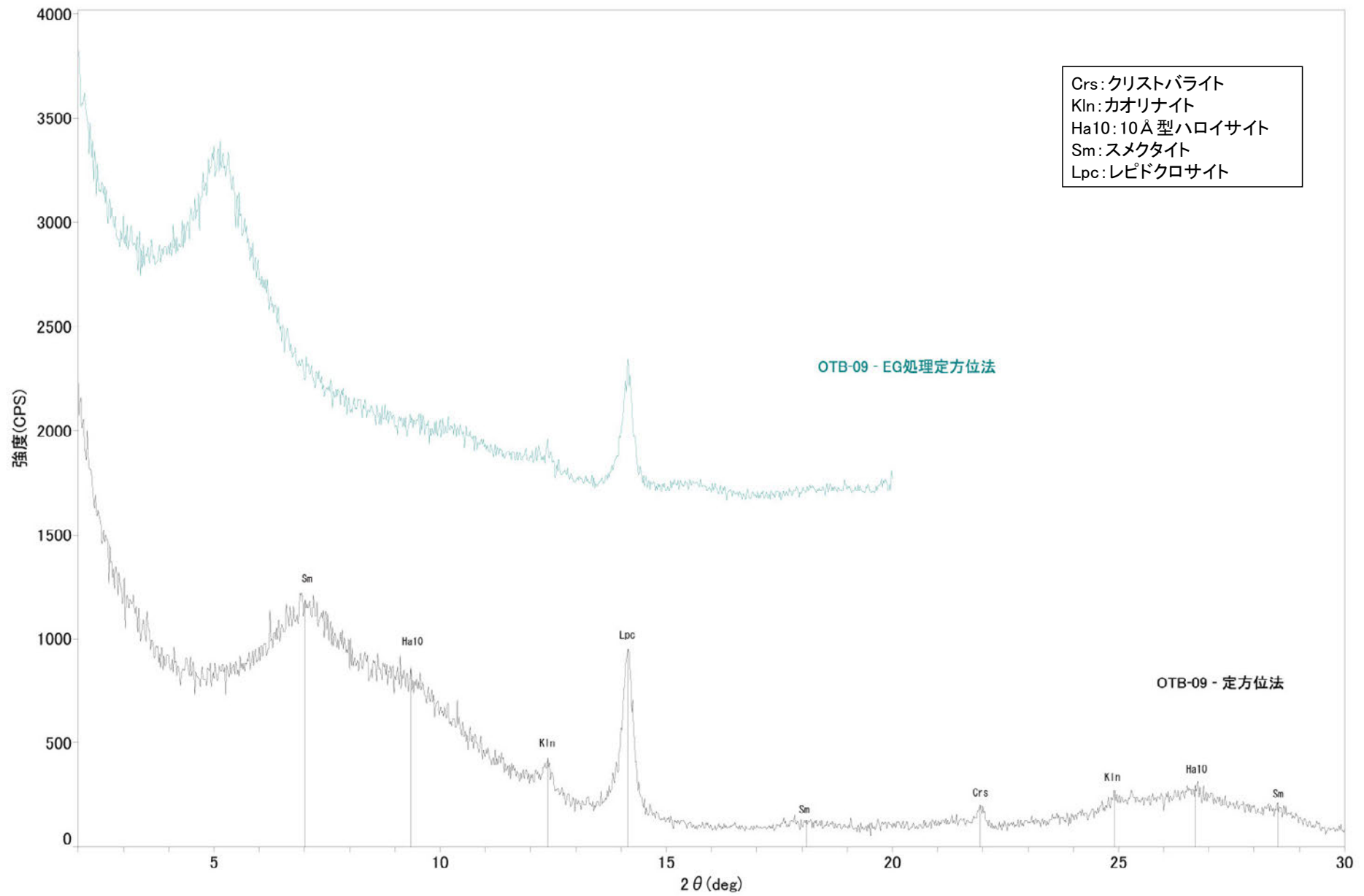
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-08 -X線回折チャート 定方位-



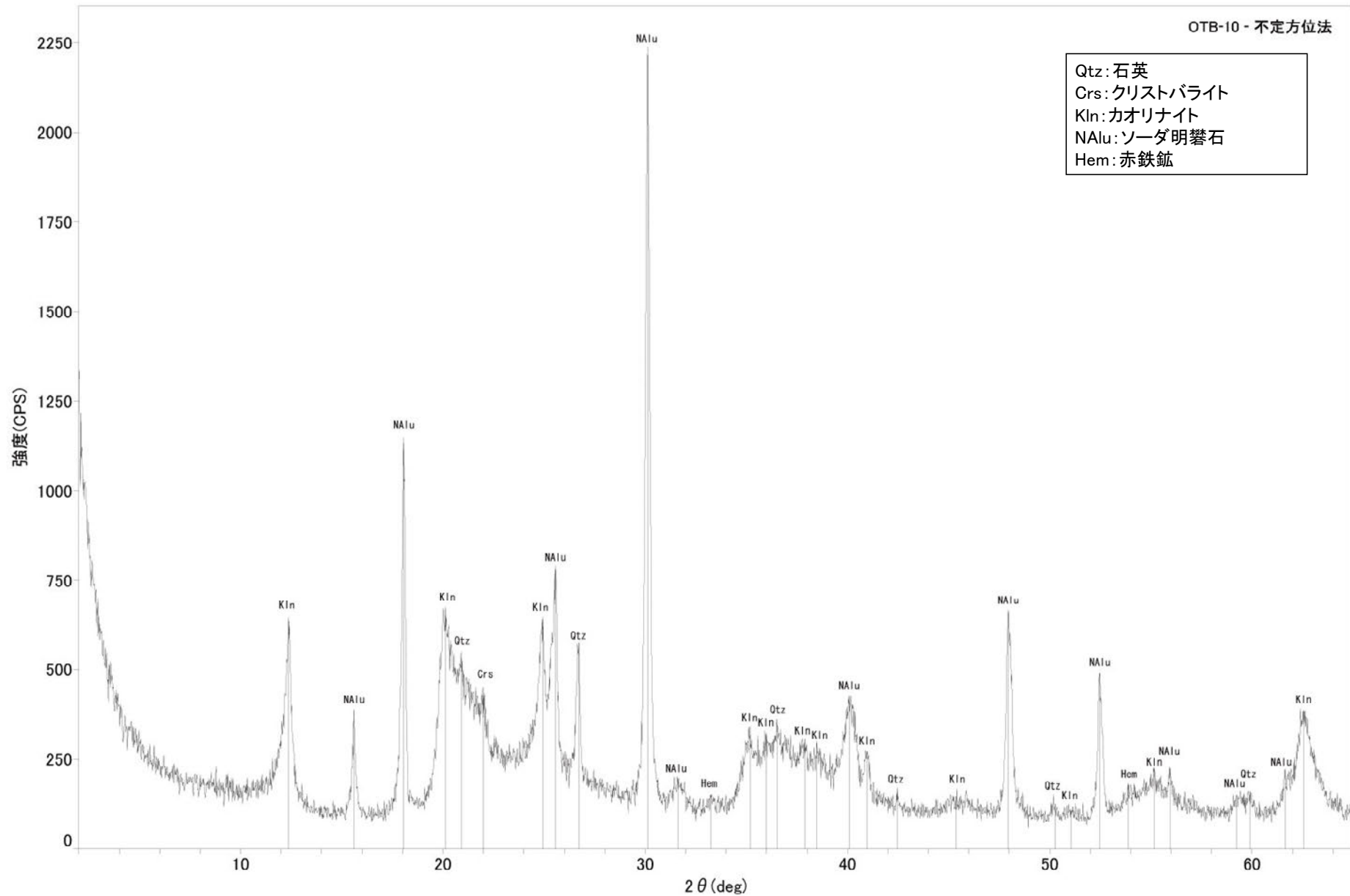
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-09 -X線回折チャート 不定方位-



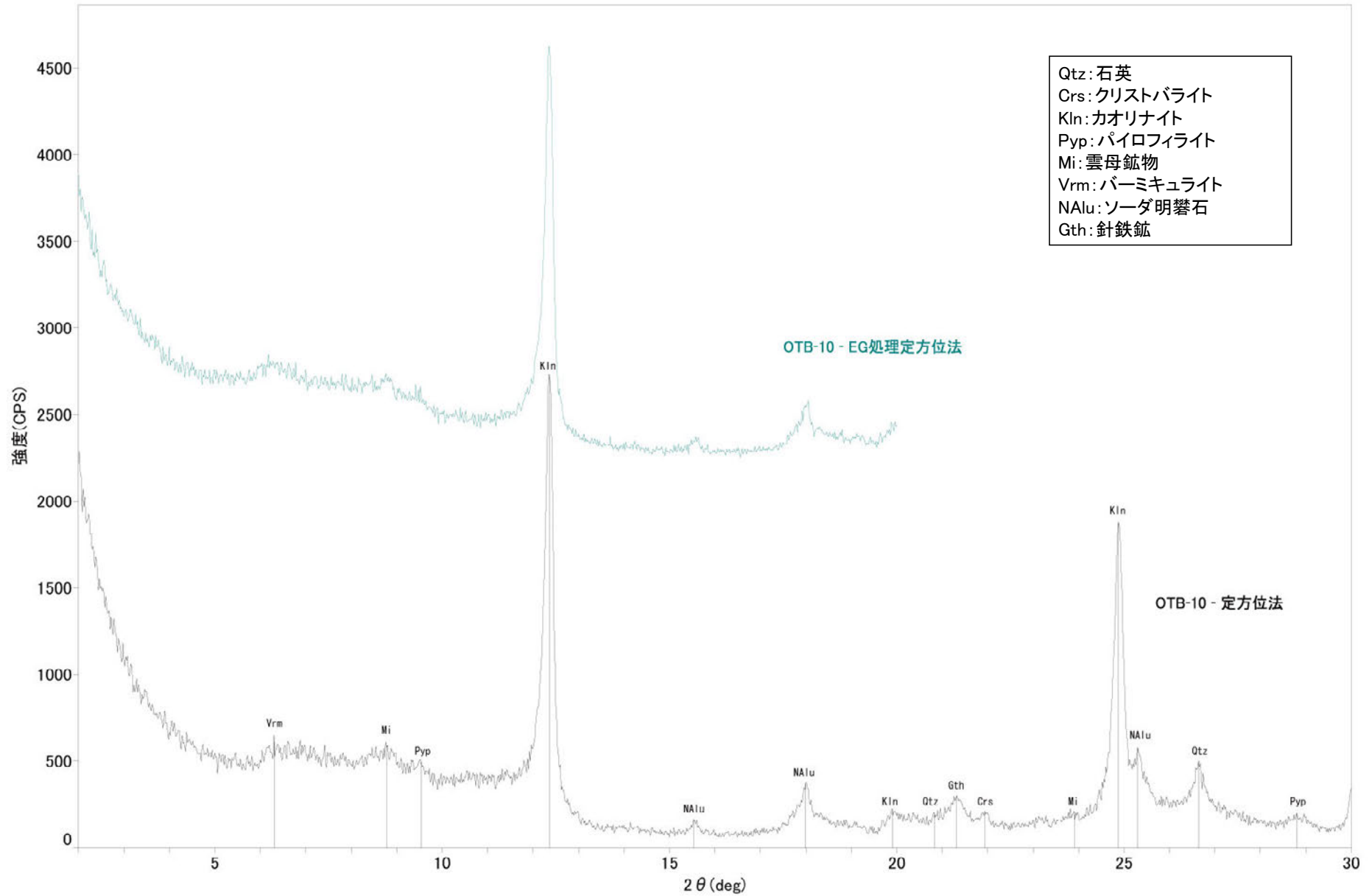
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-09 -X線回折チャート 定方位-



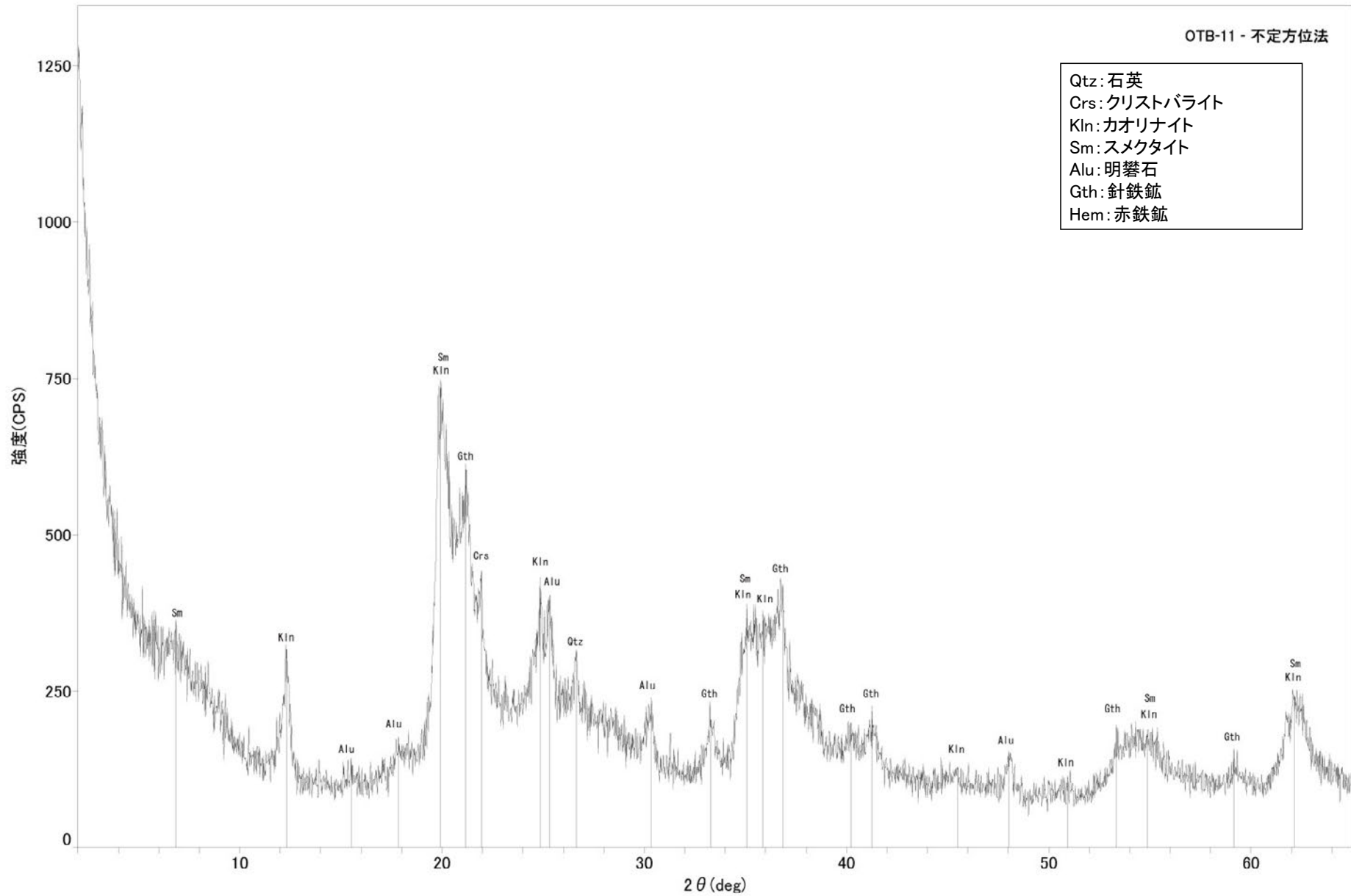
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-10 -X線回折チャート 不定方位-



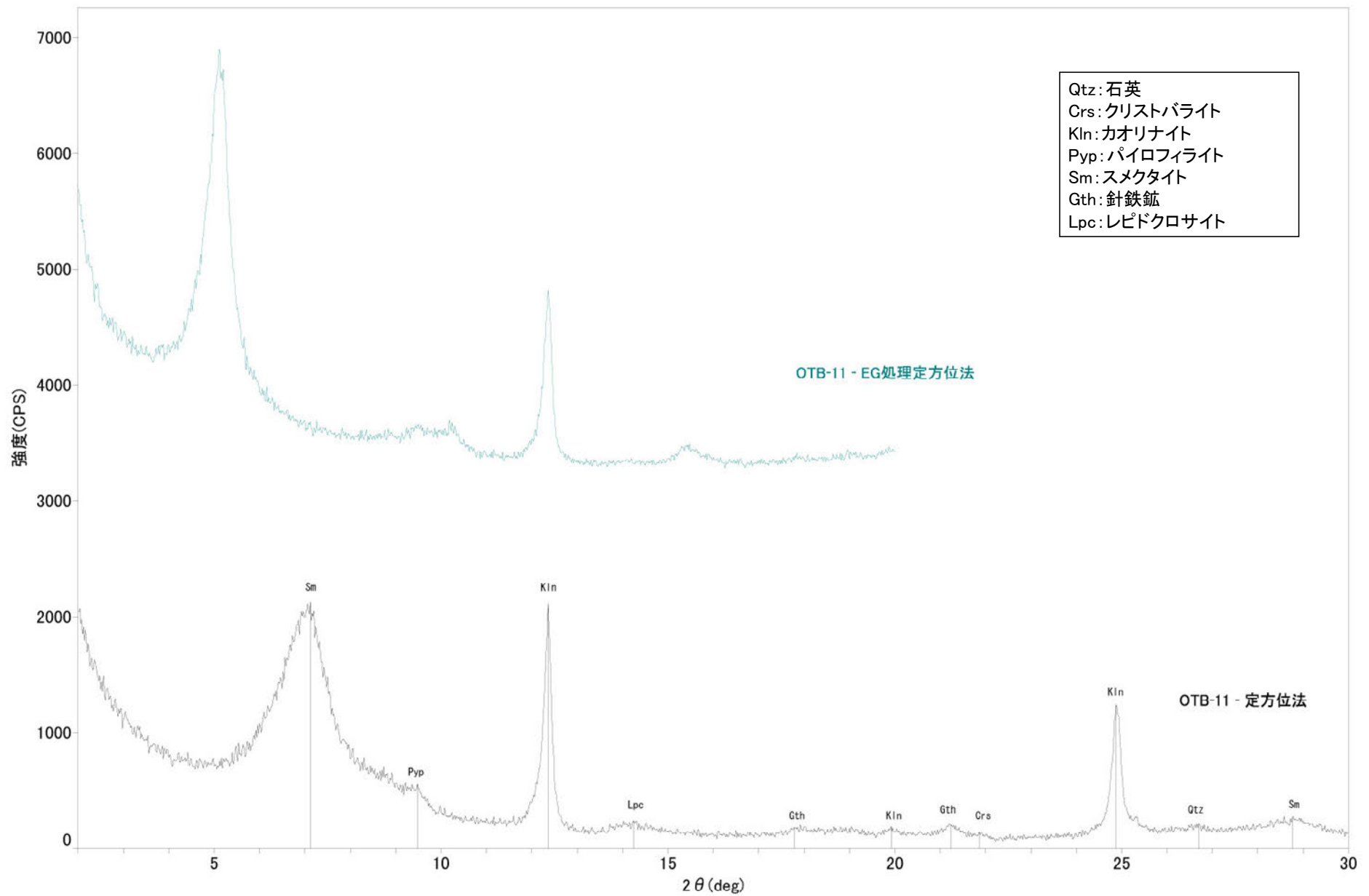
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-10 -X線回折チャート 定方位-



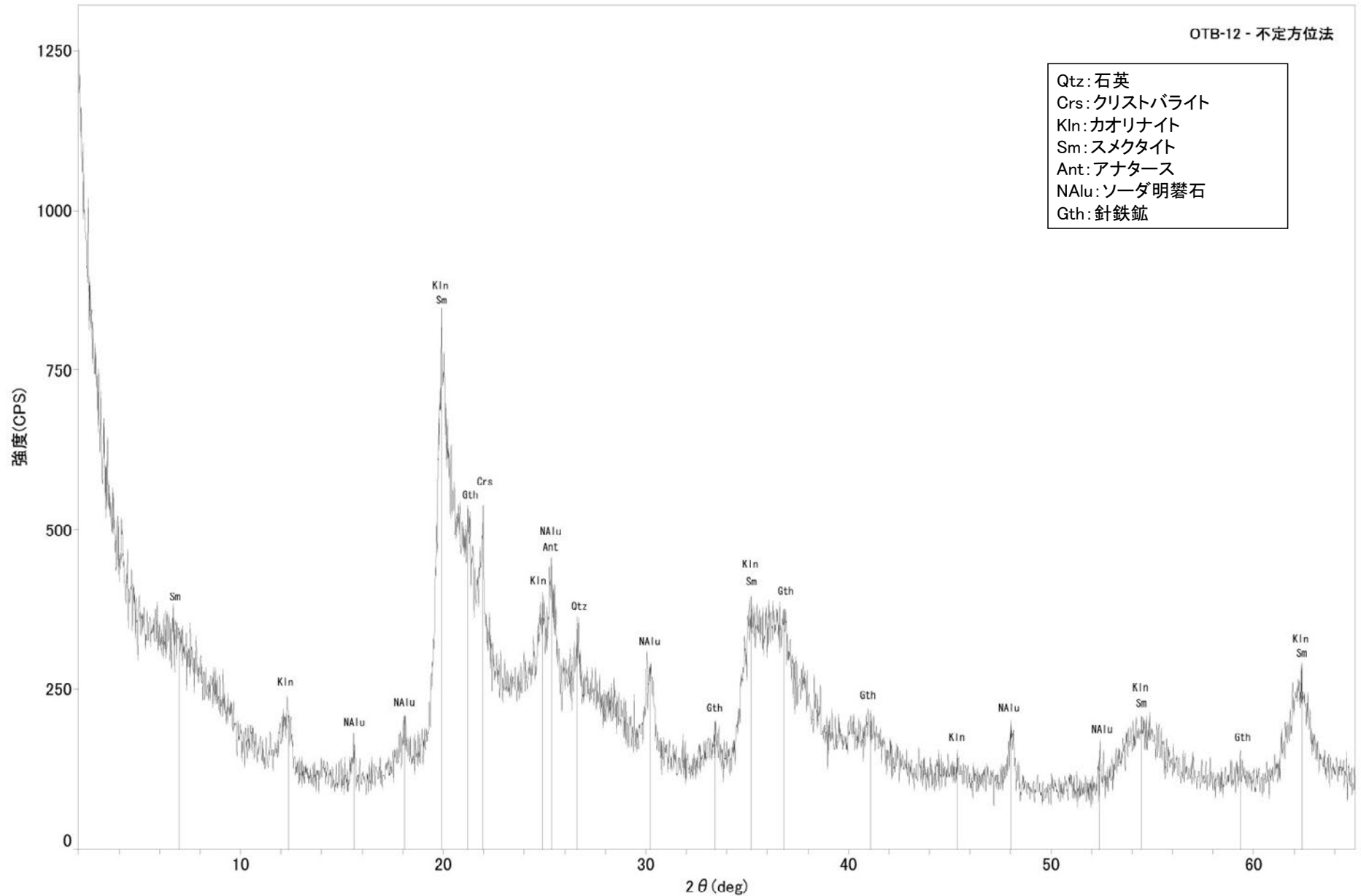
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-11 -X線回折チャート 不定方位-



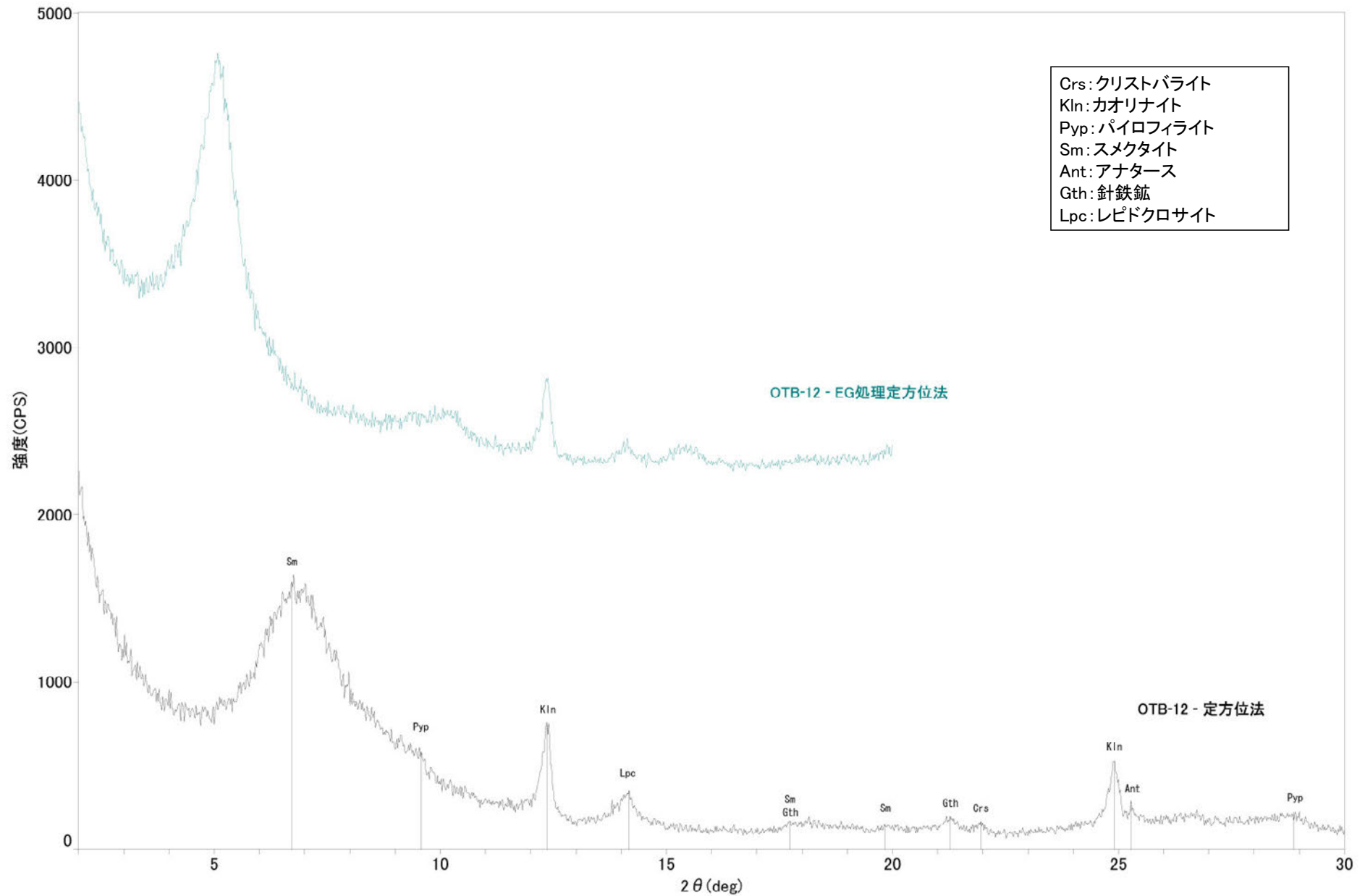
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-11 -X線回折チャート 定方位-



大坪川ダム右岸トレンチ OTB-12 -X線回折チャート 不定方位-



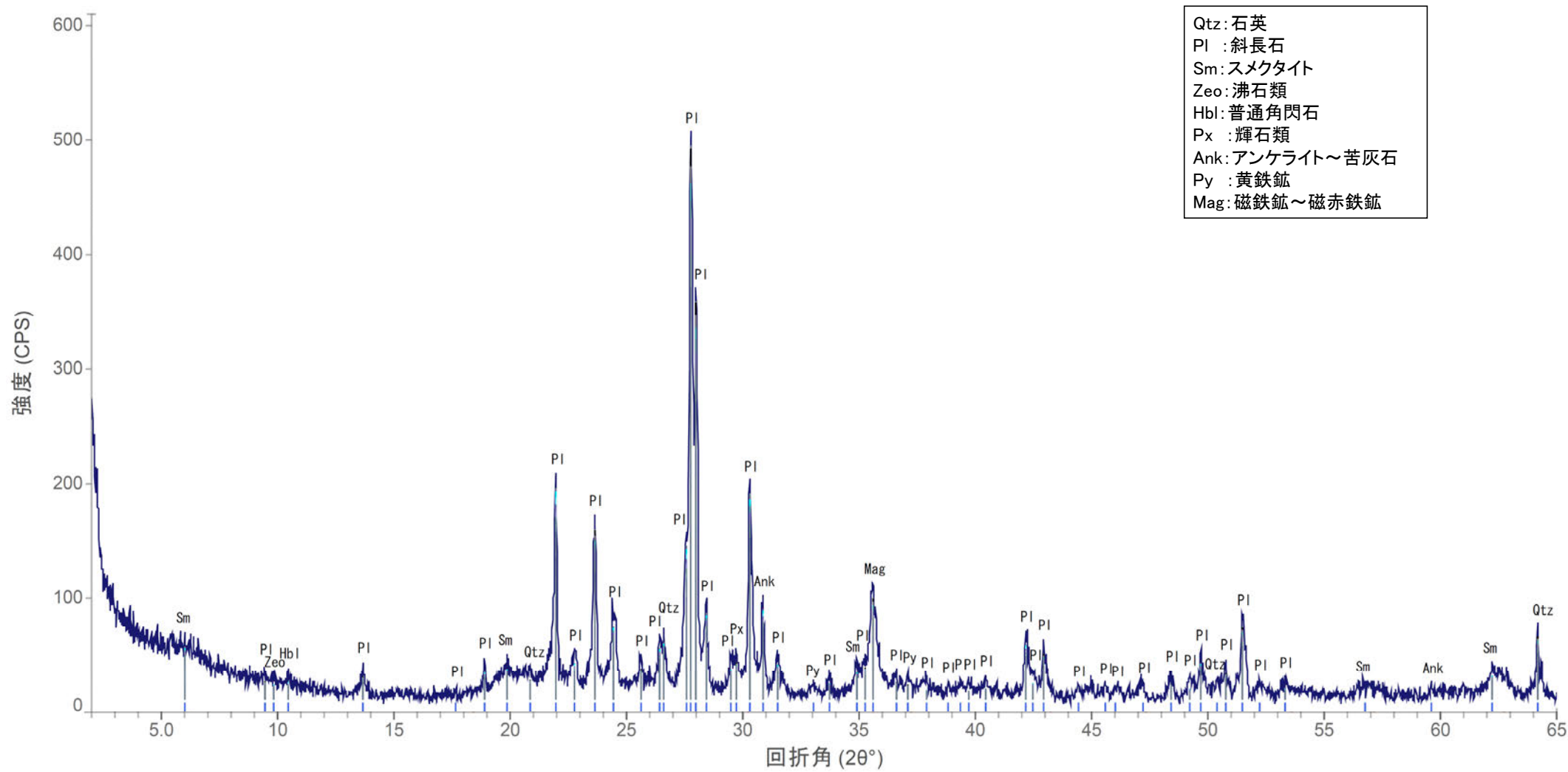
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-12 -X線回折チャート 定方位-



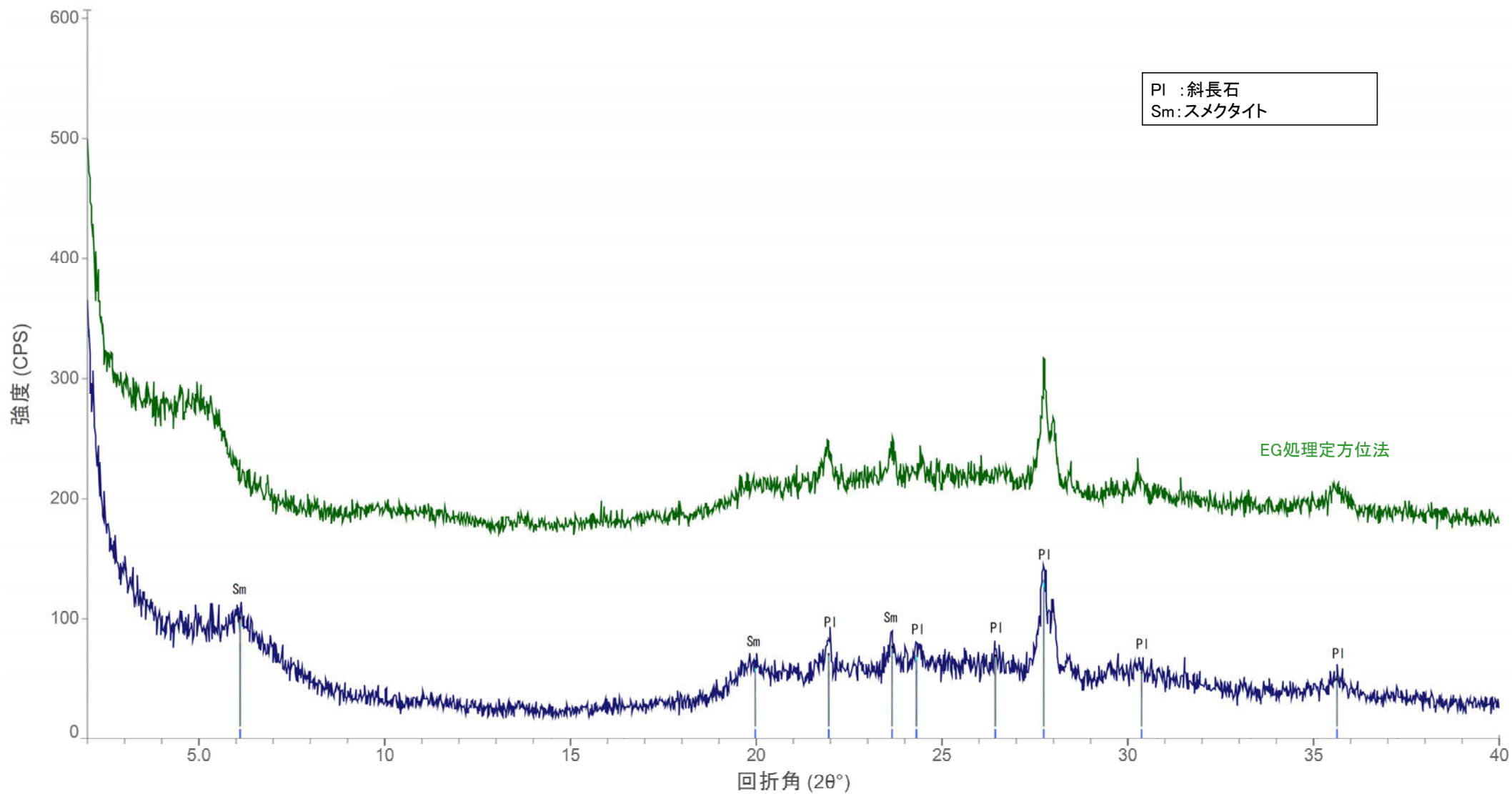
余白

(9) 福浦断層北端付近 XRD分析

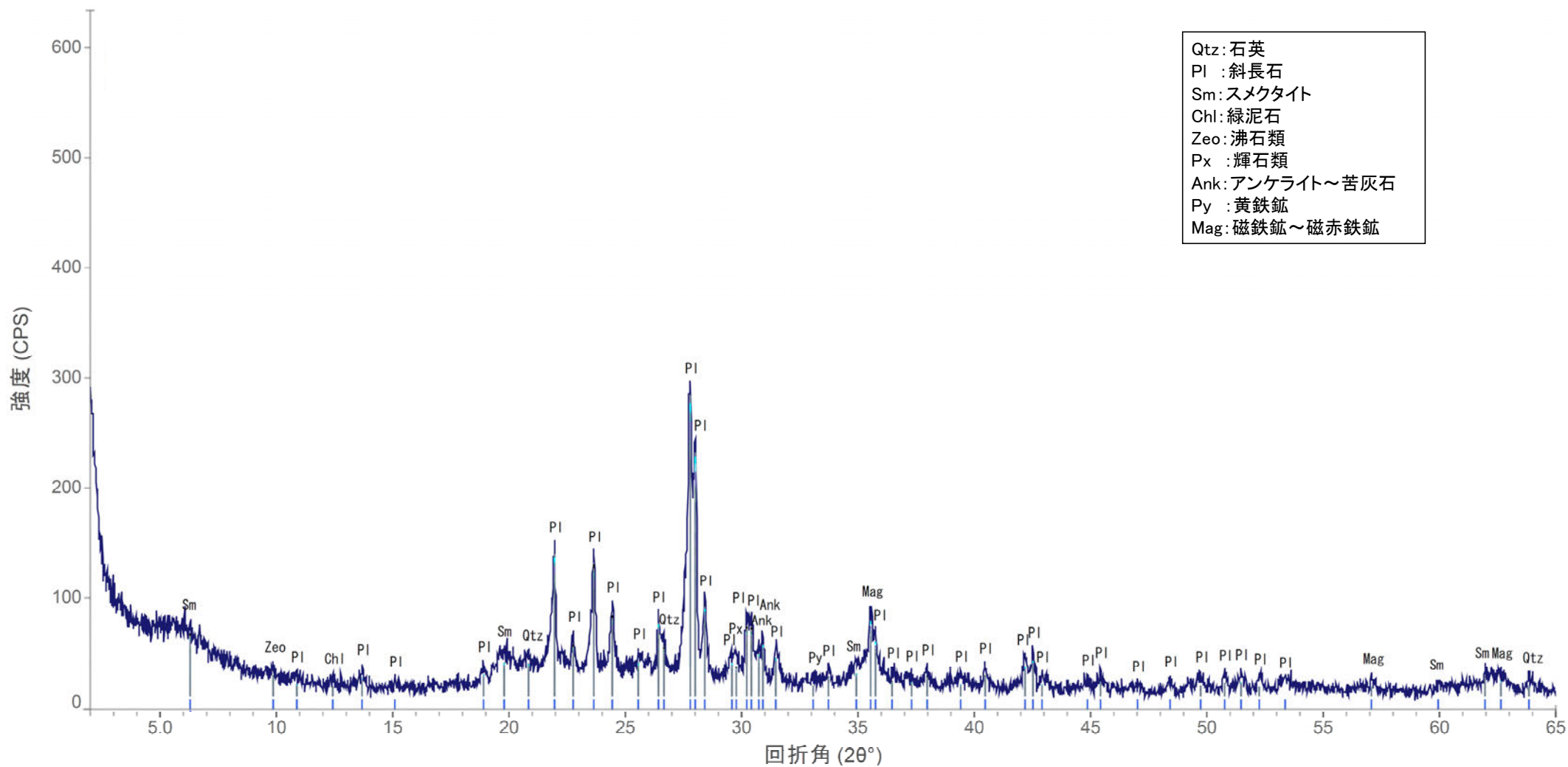
DE_E X線回折チャート 不定方位



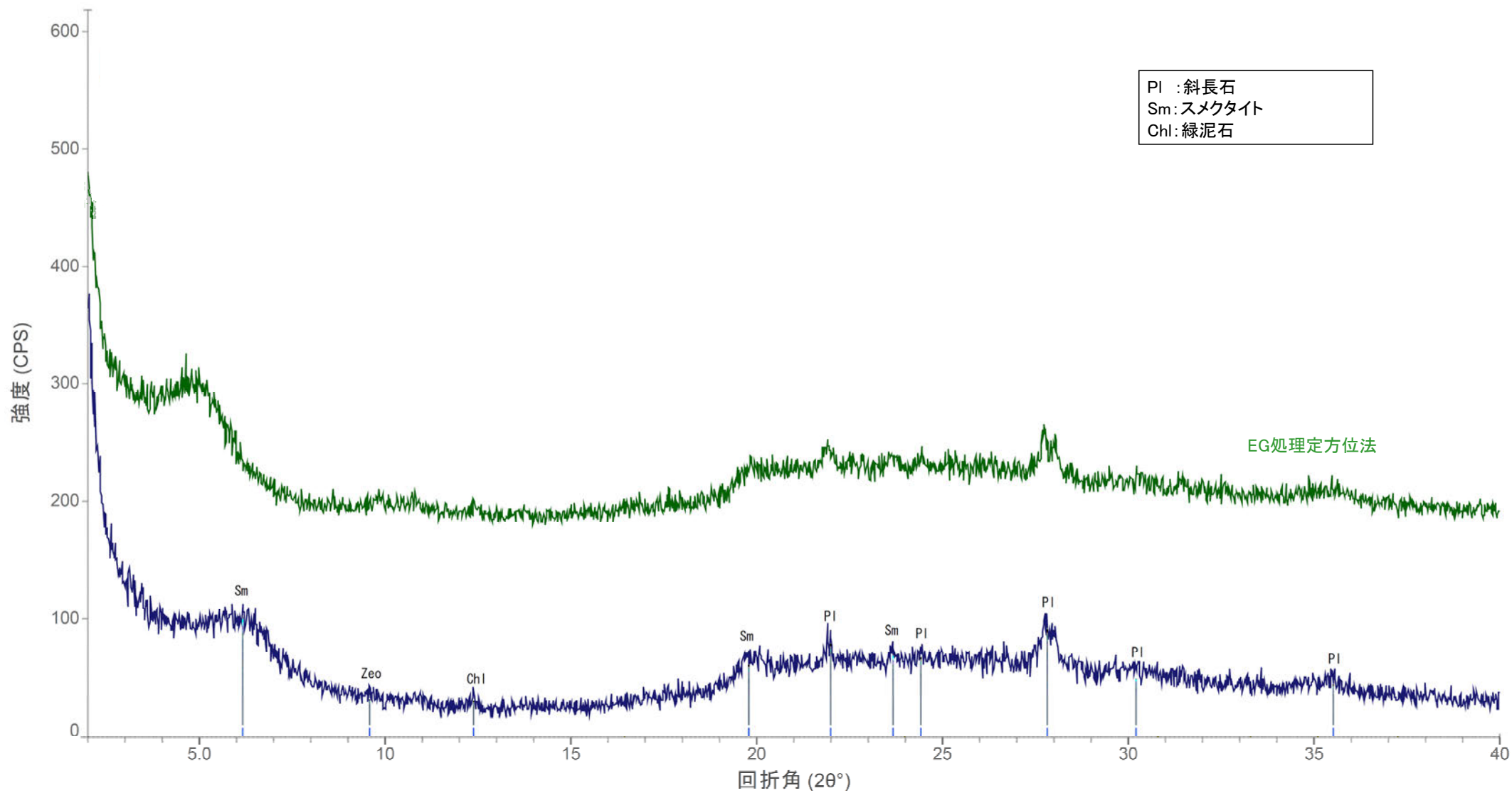
DE_E X線回折チャート 定方位, EG処理



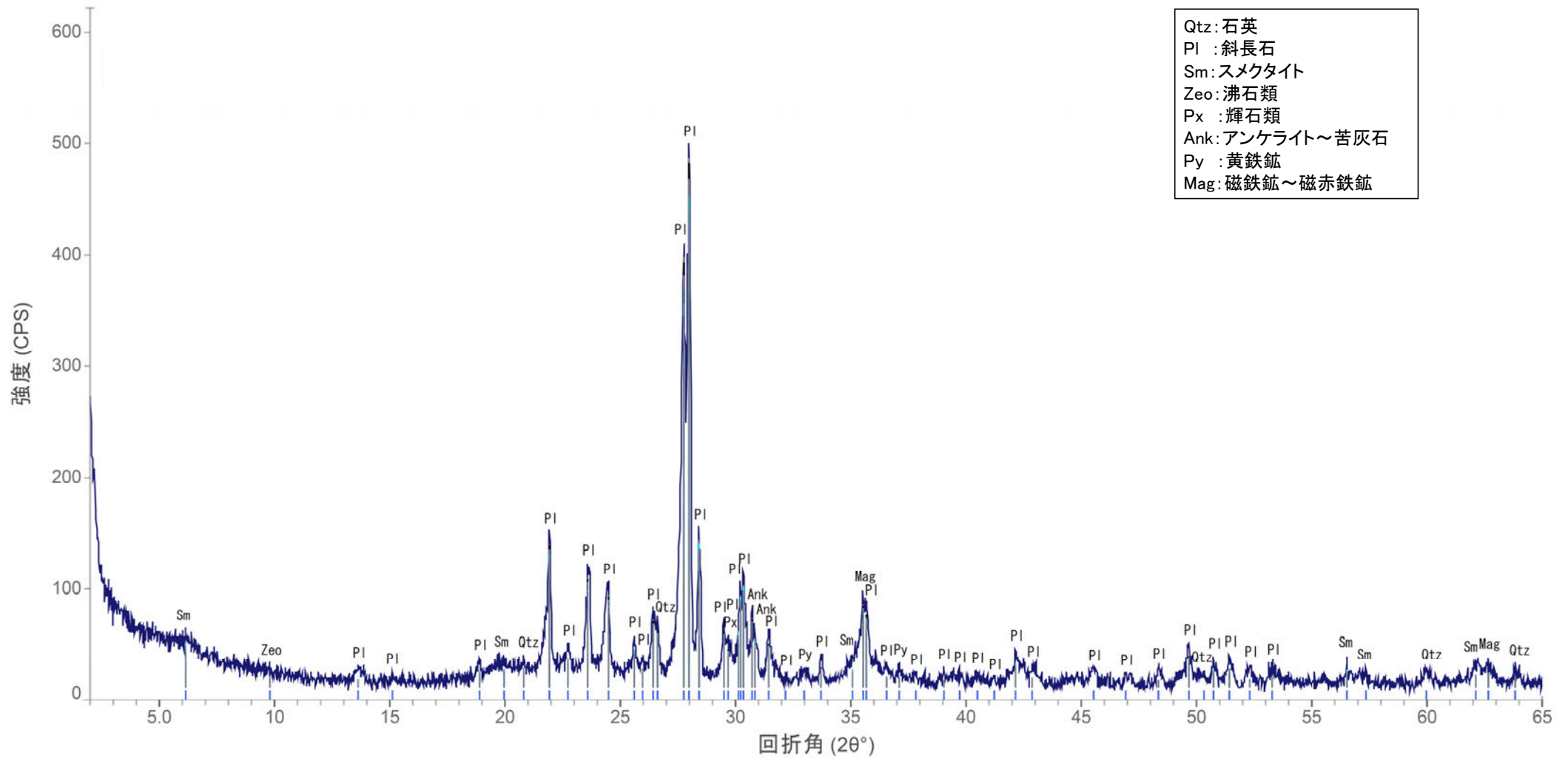
DE_M X線回折チャート 不定方位



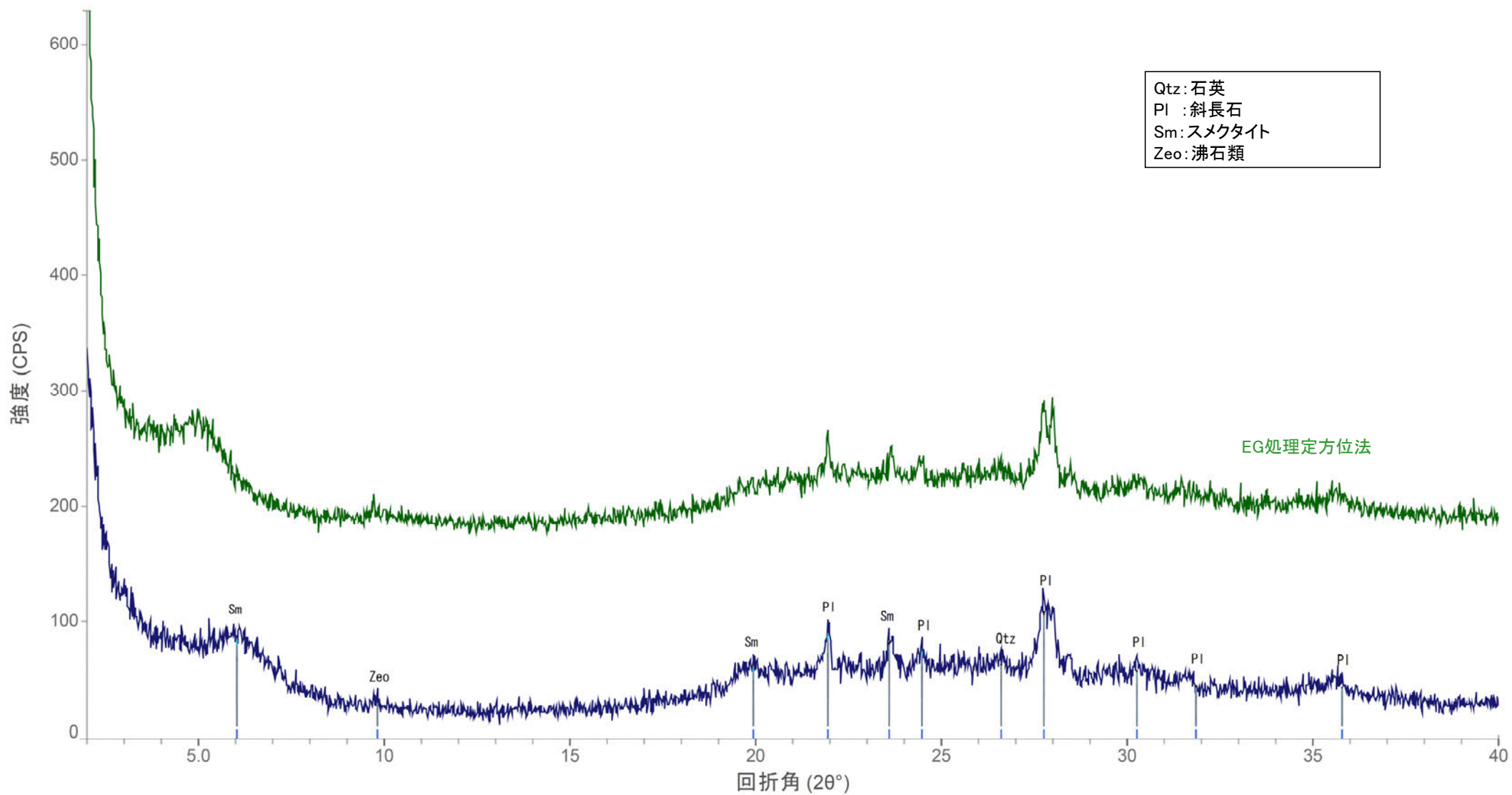
DE_M X線回折チャート 定方位, EG処理



DE_W X線回折チャート 不定方位



DE_W X線回折チャート 定方位, EG処理

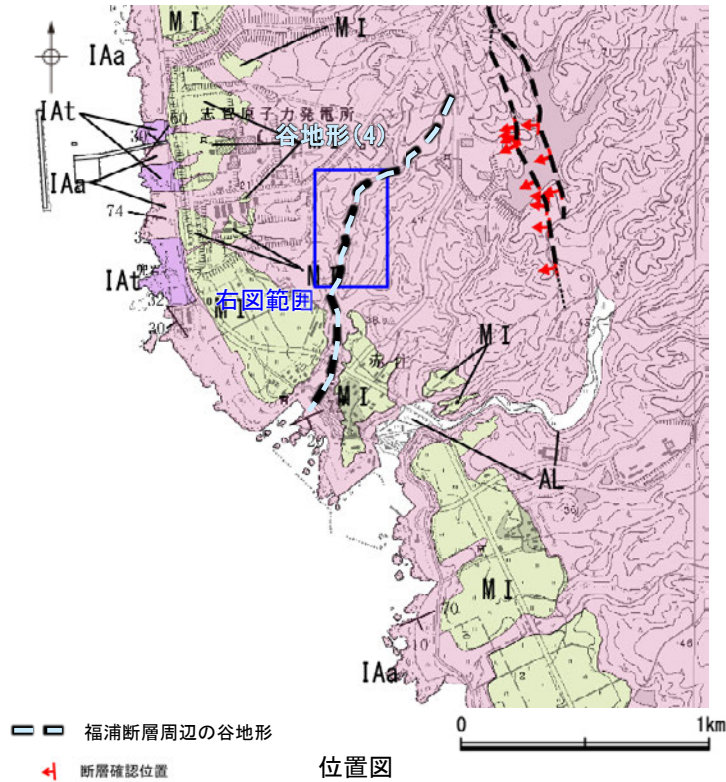


余白

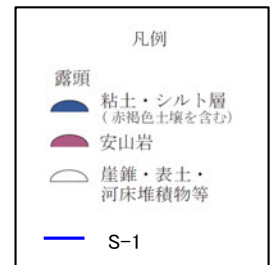
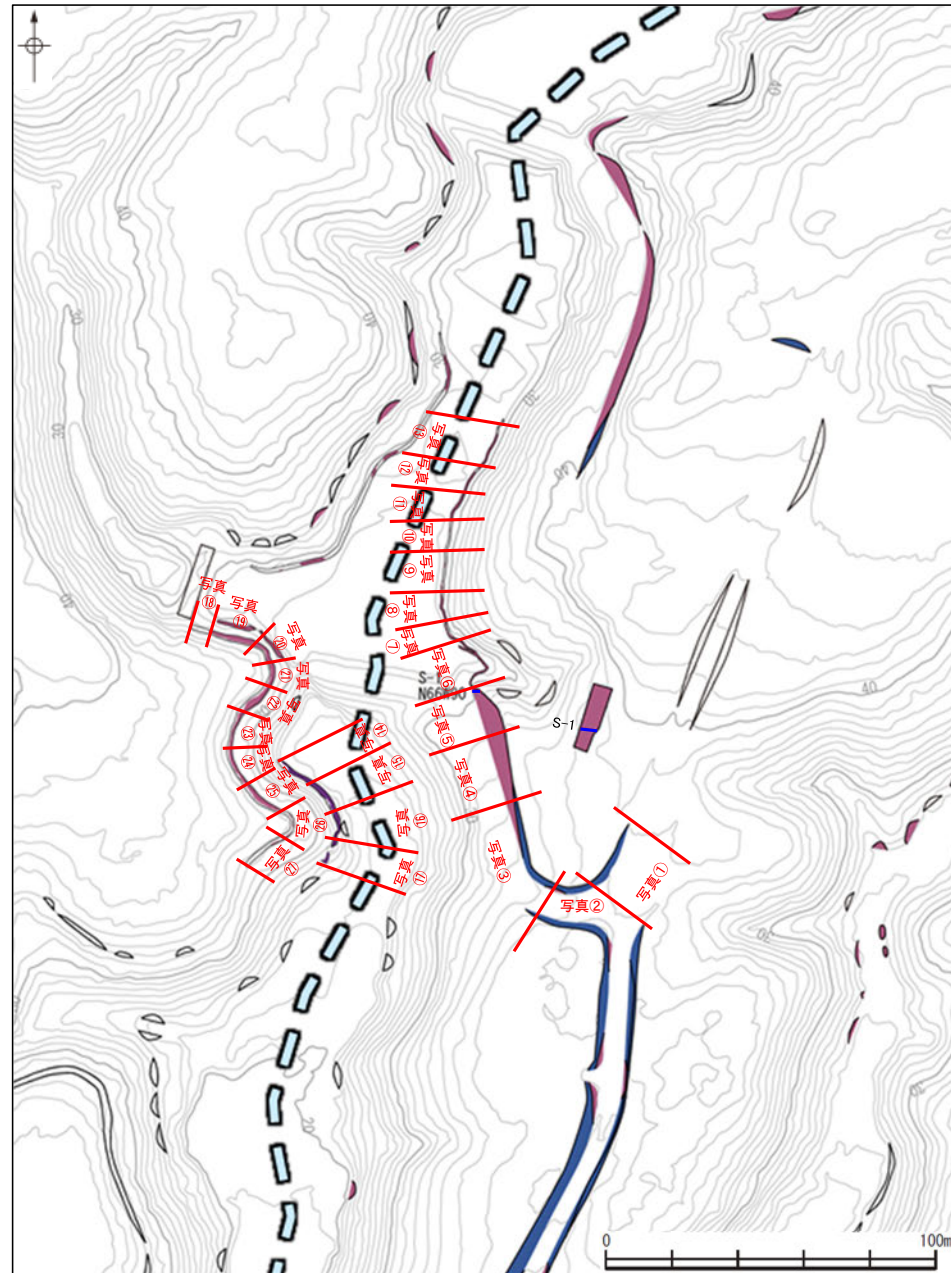
(10) 福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査

福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査 写真位置図

○谷の延長位置を横断して表土はぎ調査を実施した結果、穴水累層の安山岩及び凝灰角礫岩が連続して分布し、それらは非破碎であり、断層は認められない。
○全線の写真を次頁以降に示す。



[地質]		地層・岩石名
第四紀更新世	AL	沖積層
	OF	古期扇状地堆積層
	MI	中位段丘I面堆積層
第三紀新第三紀	IAa	穴水累層 安山岩
	IAAt	穴水累層 安山岩質火砕岩(凝灰角礫岩)
	IAf	穴水累層 安山岩質火砕岩(凝灰岩)



地表踏査結果(ルートマップ)

←SW

NE→



写真①

←W

E→



写真②

←NW

SE→



写真③

←NW

SE→



写真④

←NW

SE→



S-1

写真⑤



写真⑥

←N

S→



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩

←N

S→



写真⑪



写真⑫



写真⑬

←SE

NW→



写真⑭



写真⑮

1m

←SW

NE→



写真⑯



写真⑰

1m

←SE

NW→



写真⑱



写真⑲



写真⑳

←SW

NE→



写真㉑



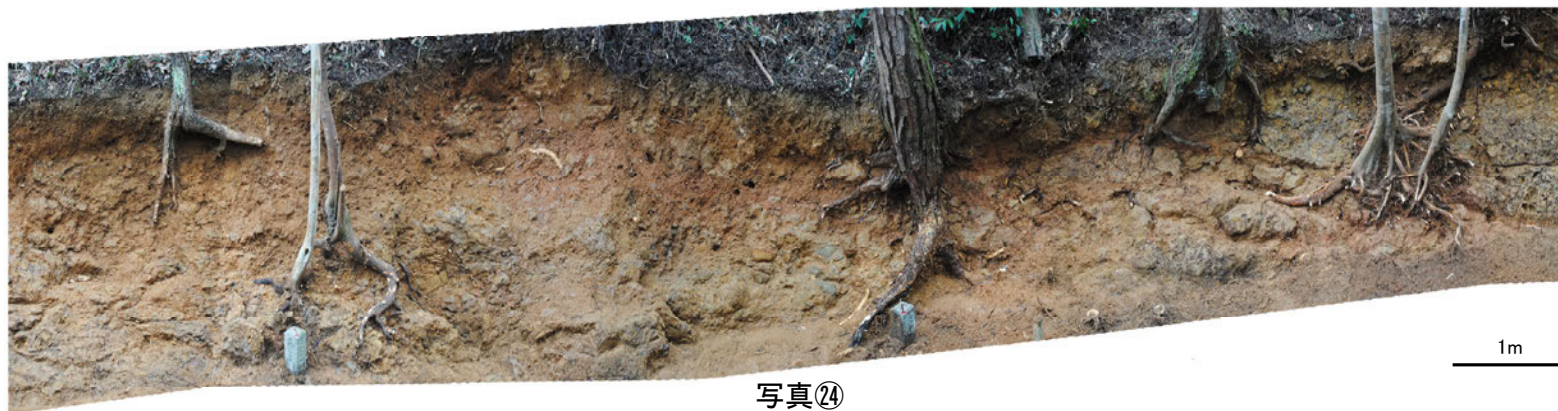
写真㉒



写真㉓

←SE

NW→



←SW

NE→



写真②⑥

←SE

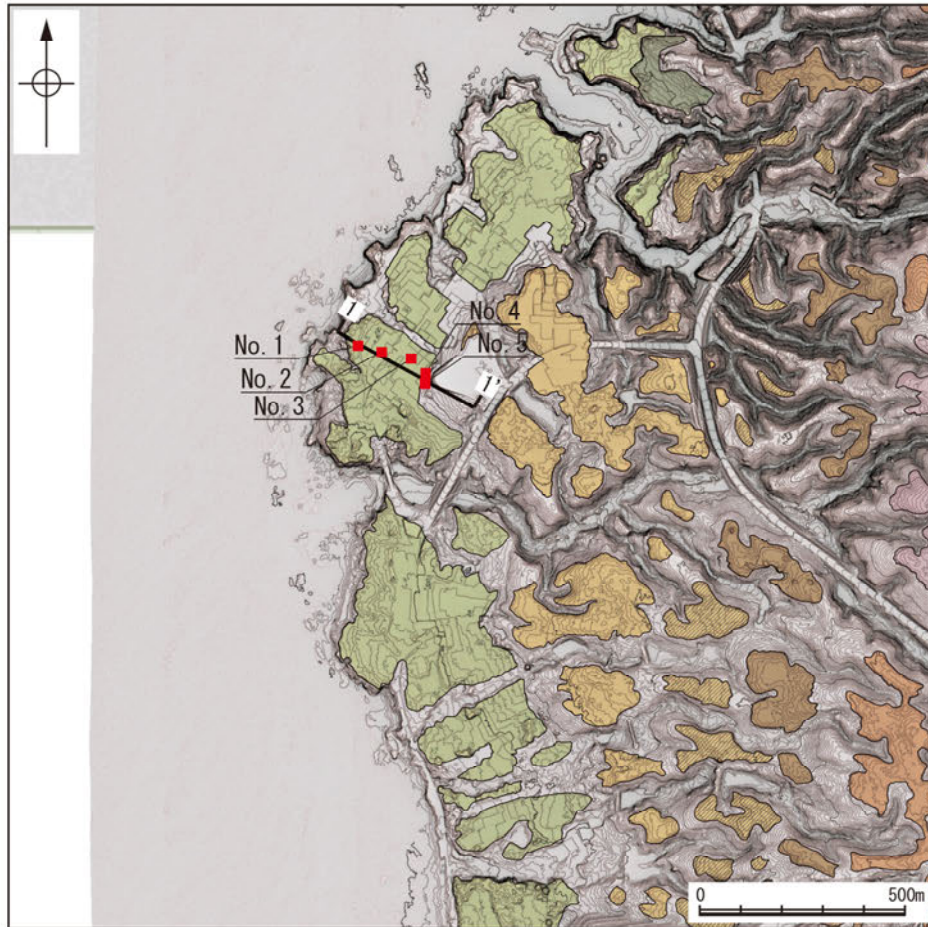
NW→



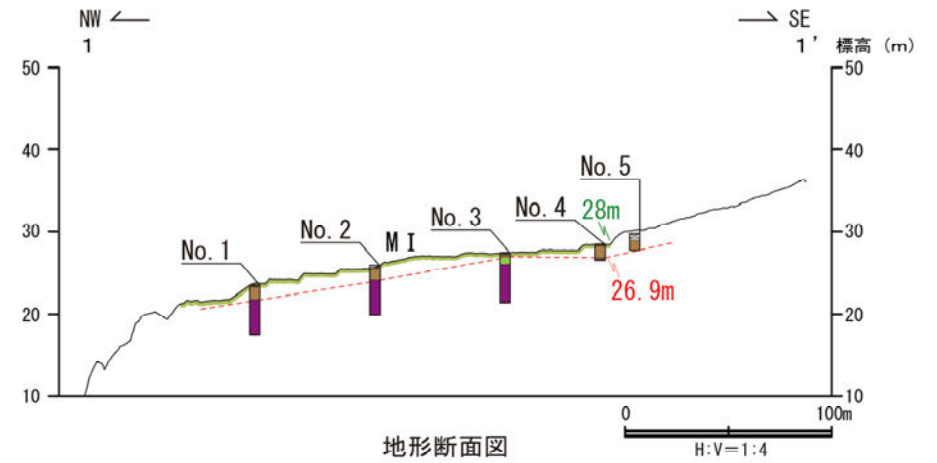
写真②⑦

(11) 福浦断層周辺 段丘面調査

①中位段丘 I 面 段丘面調査結果



調査位置図

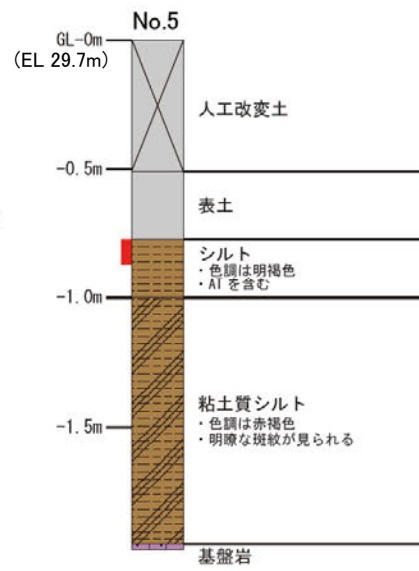
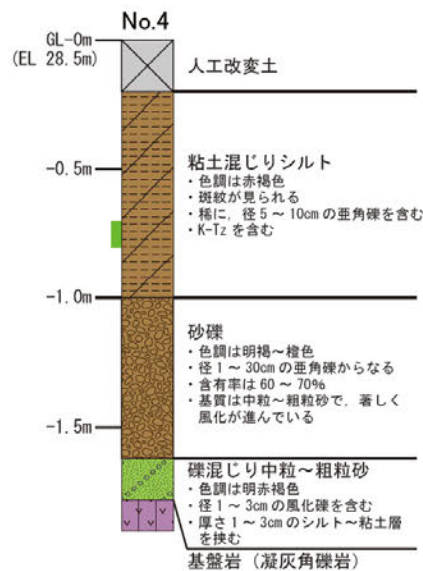
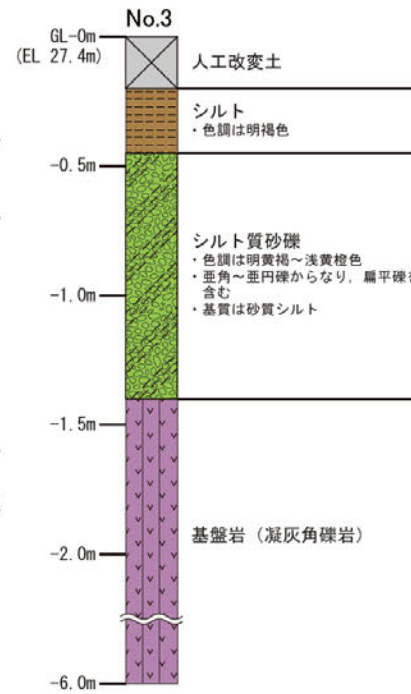
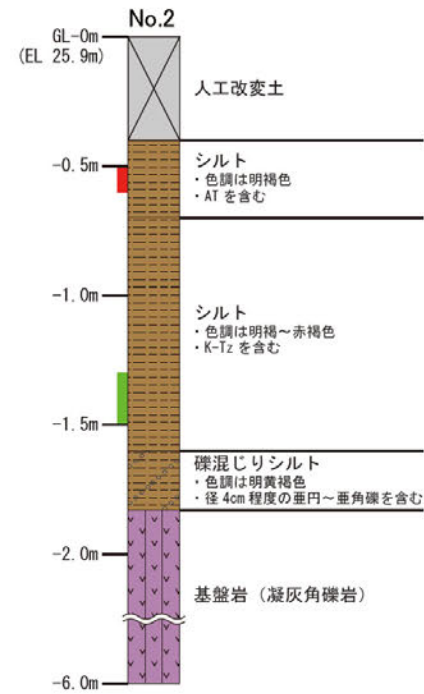
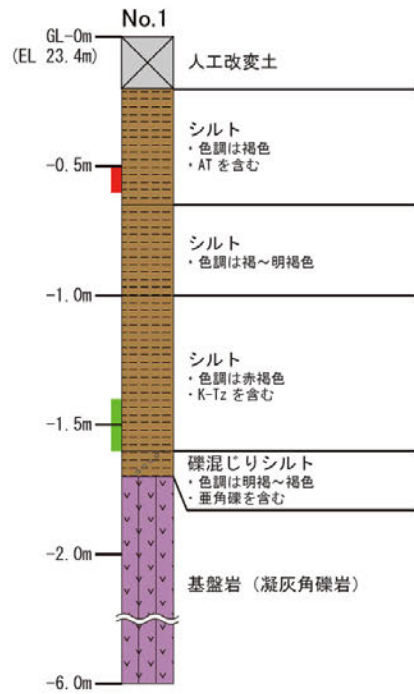


地形断面図

凡例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘IV面	人工改变土
高位段丘III面	表土
高位段丘II面	被覆層
高位段丘I b面	海成堆積物
高位段丘I a面	基盤岩
中位段丘I面	23m 段丘面内縁標高
古期扇状地面	20.0m 旧汀線高度
No. 1 調査位置	
1' 断面線	

【柱状図】



柱状図



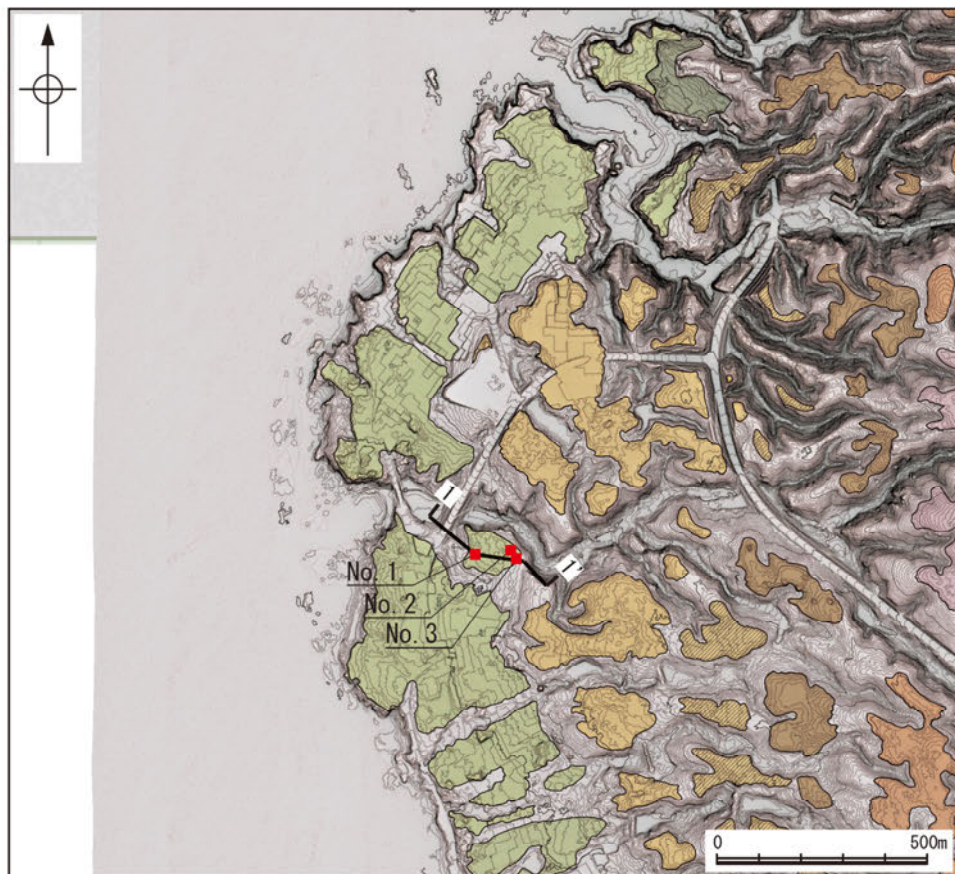
ピット写真 (No. 4)

凡 例

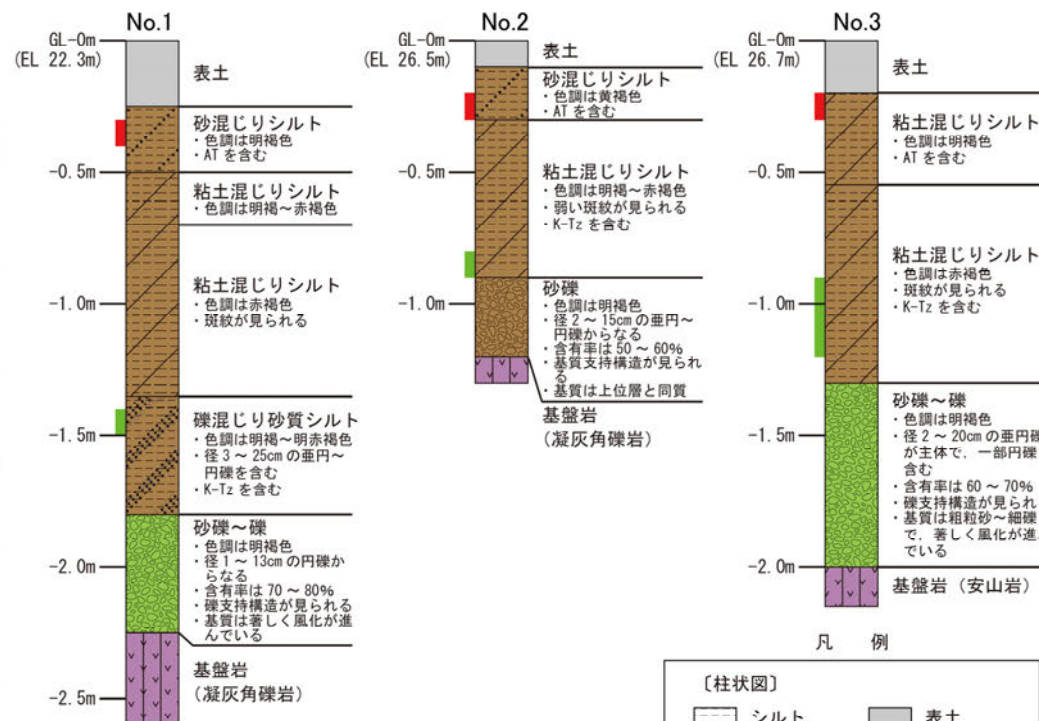
- 【柱状図】
- シルト
 - 砂
 - 砂礫
 - 粘土混じり
 - 粘土質
 - シルト質
 - 礫混じり
 - 人工改変土
 - 表土
 - 被覆層
 - 海成堆積物
 - 基盤岩
 - AT
 - K-Tz

テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万～3万年前
K-Tz: 9.5万年前



調査位置図



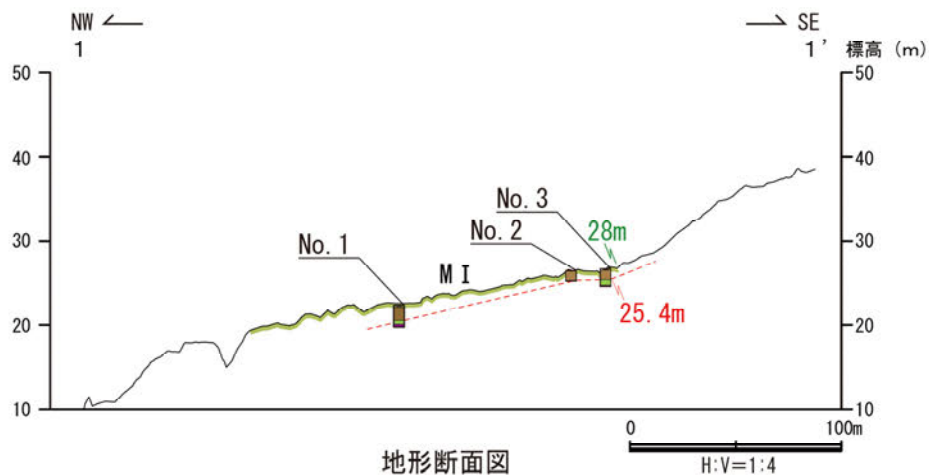
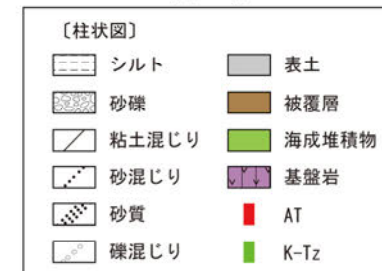
テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万～3万年前
K-Tz: 9.5万年前

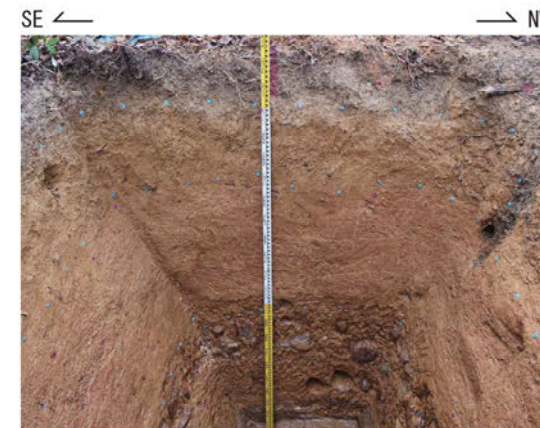
凡例



柱状図

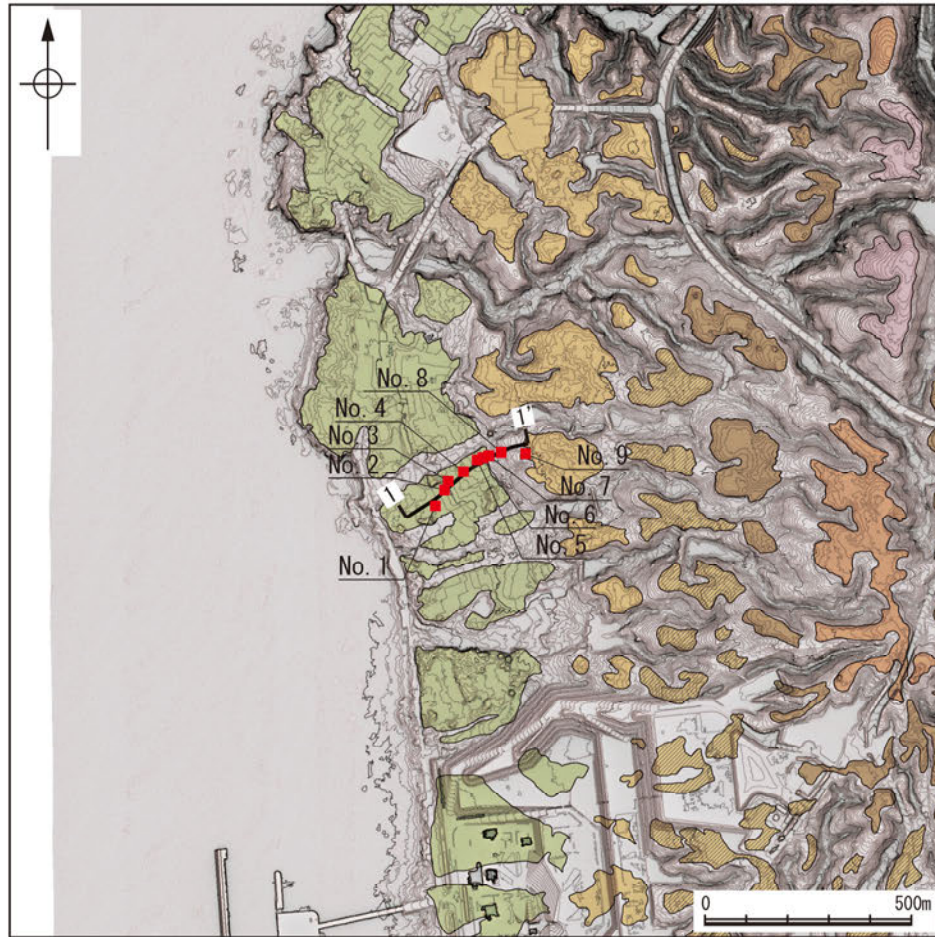


地形断面図

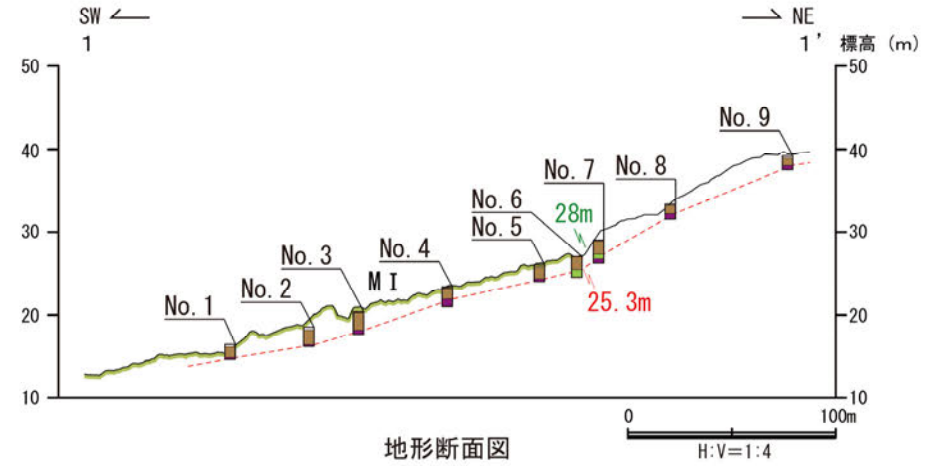


ピット写真 (No. 3)

③中位段丘 I 面 段丘面調査結果



調査位置図

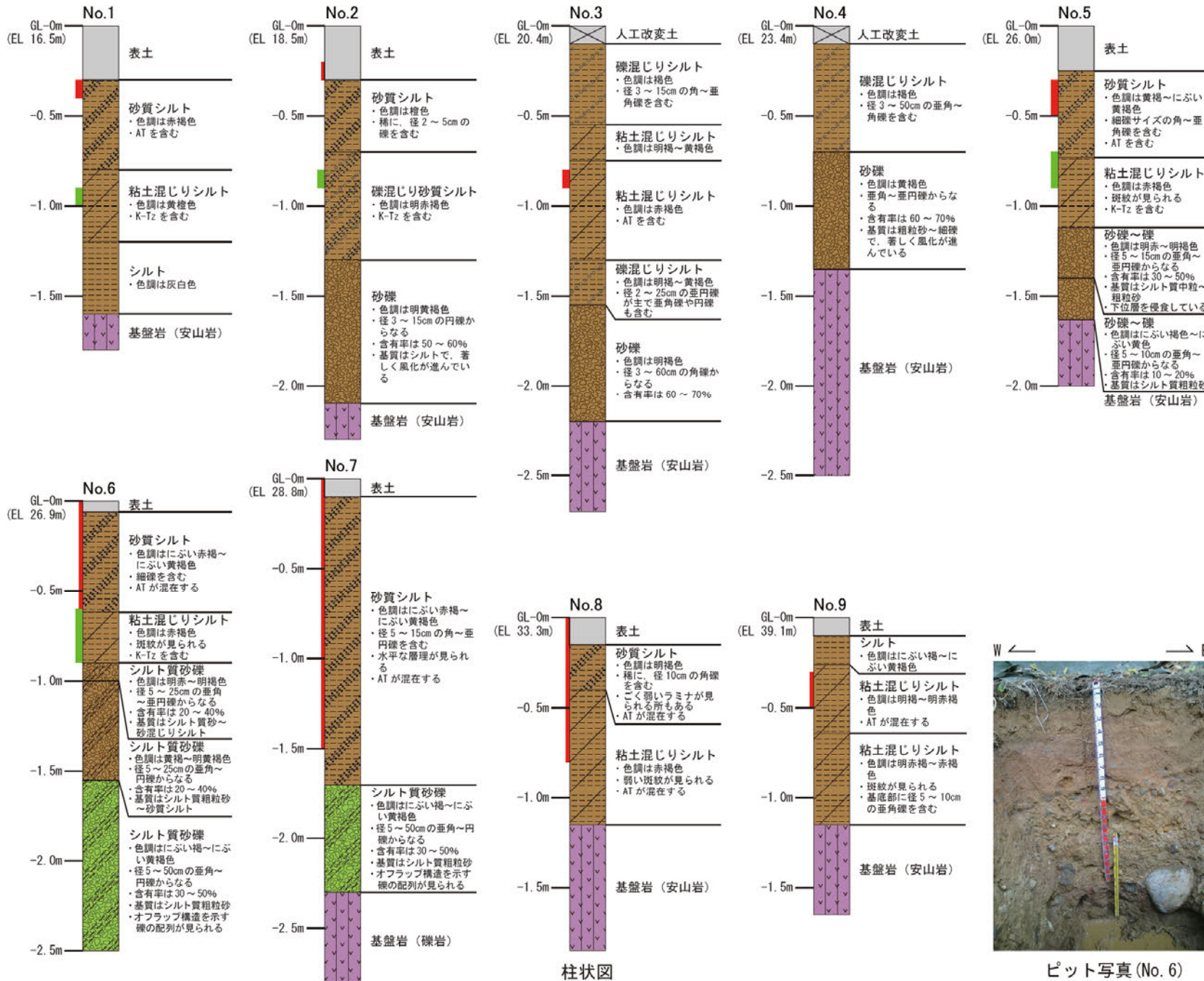


地形断面図

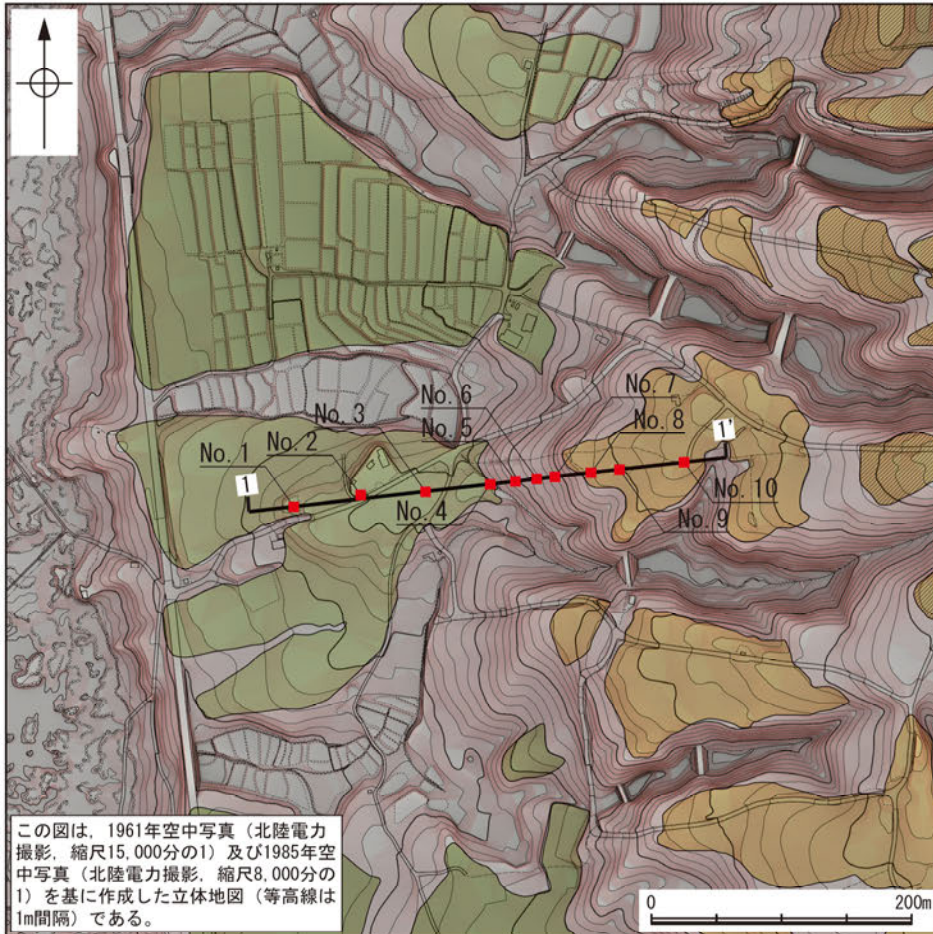
凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘IV面	人工改変土
高位段丘III面	表土
高位段丘II面	被覆層
高位段丘I b面	海成堆積物
高位段丘I a面	基盤岩
中位段丘I面	23m 段丘面内縁標高
No. 1 調査位置	20.0m 旧汀線高度
1:1 断面線	

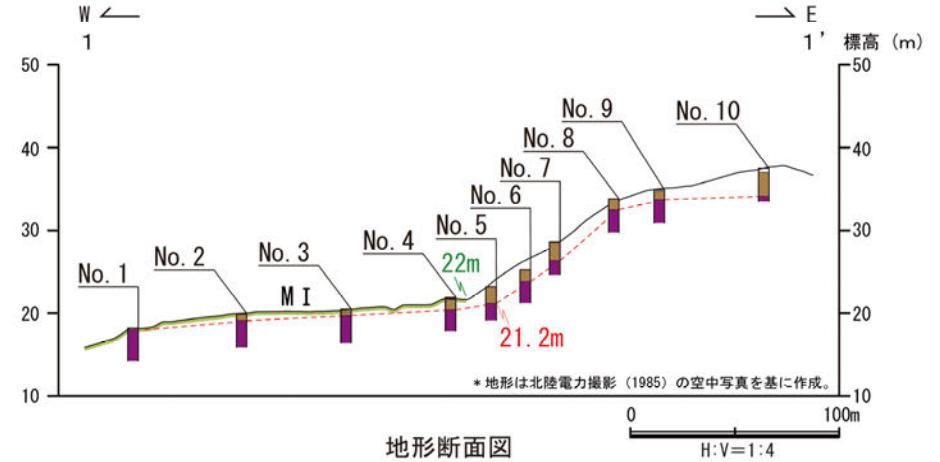
【柱状図】



④中位段丘 I 面, ⑤高位段丘 I a面 段丘面調査結果



調査位置図

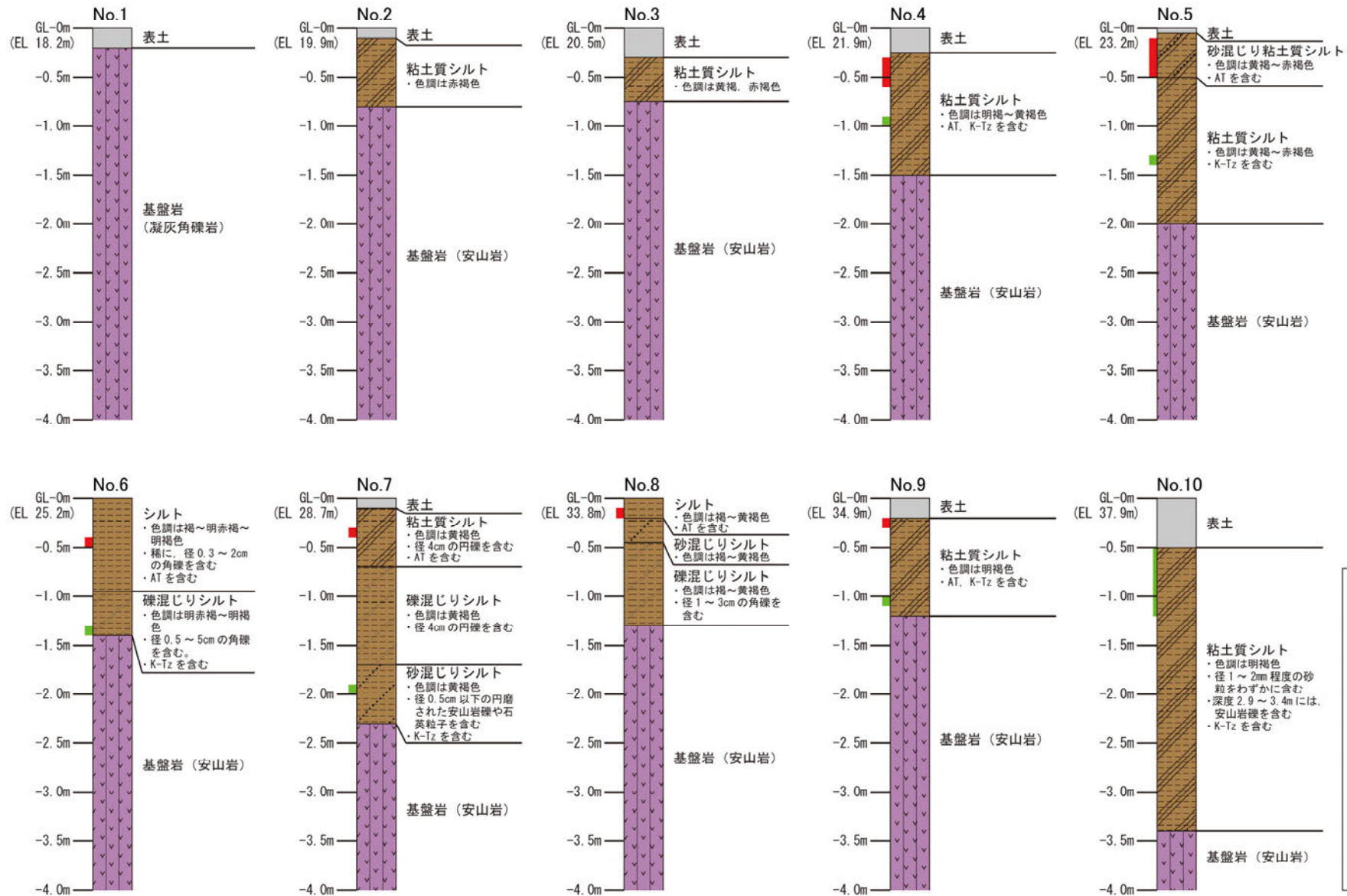


本測線の地質データは、1号機建設前(S60, 61年)にボーリング調査によって取得されており、コアの状況が悪く、海成堆積物の識別が困難である。

凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘 I b面	表土
高位段丘 I a面	被覆層
中位段丘 I 面	基盤岩
No. 1 調査位置	23m 段丘面内縁標高
1' 1' 断面線	20.0m 旧汀線高度

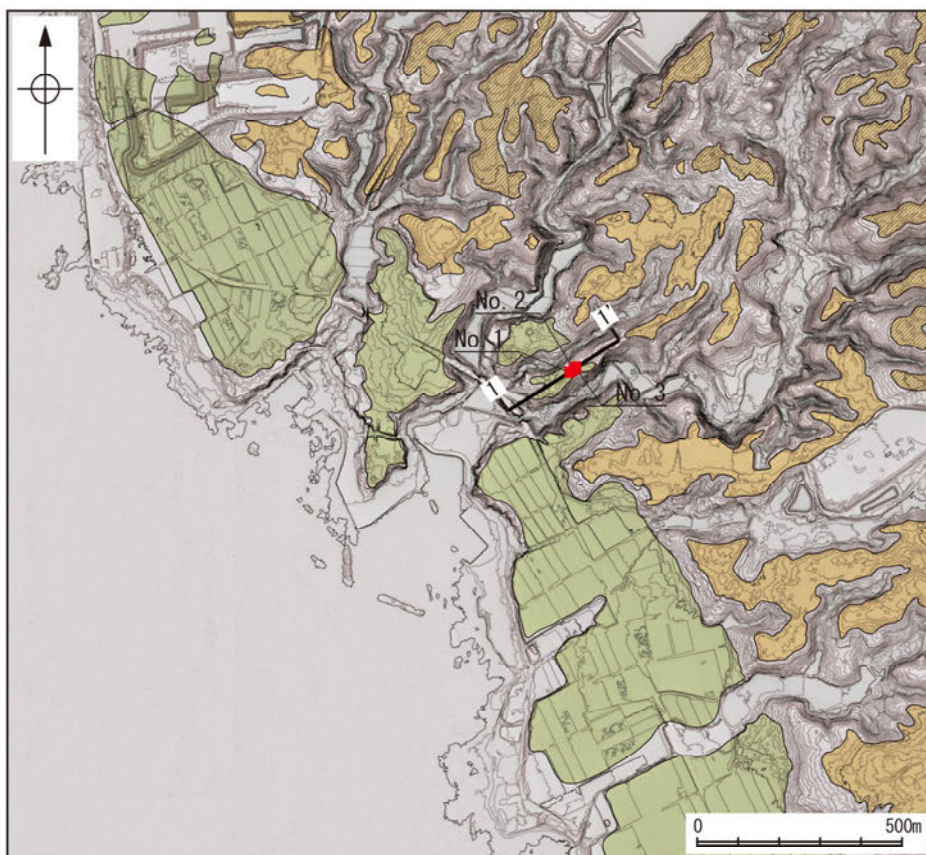
【柱状図】



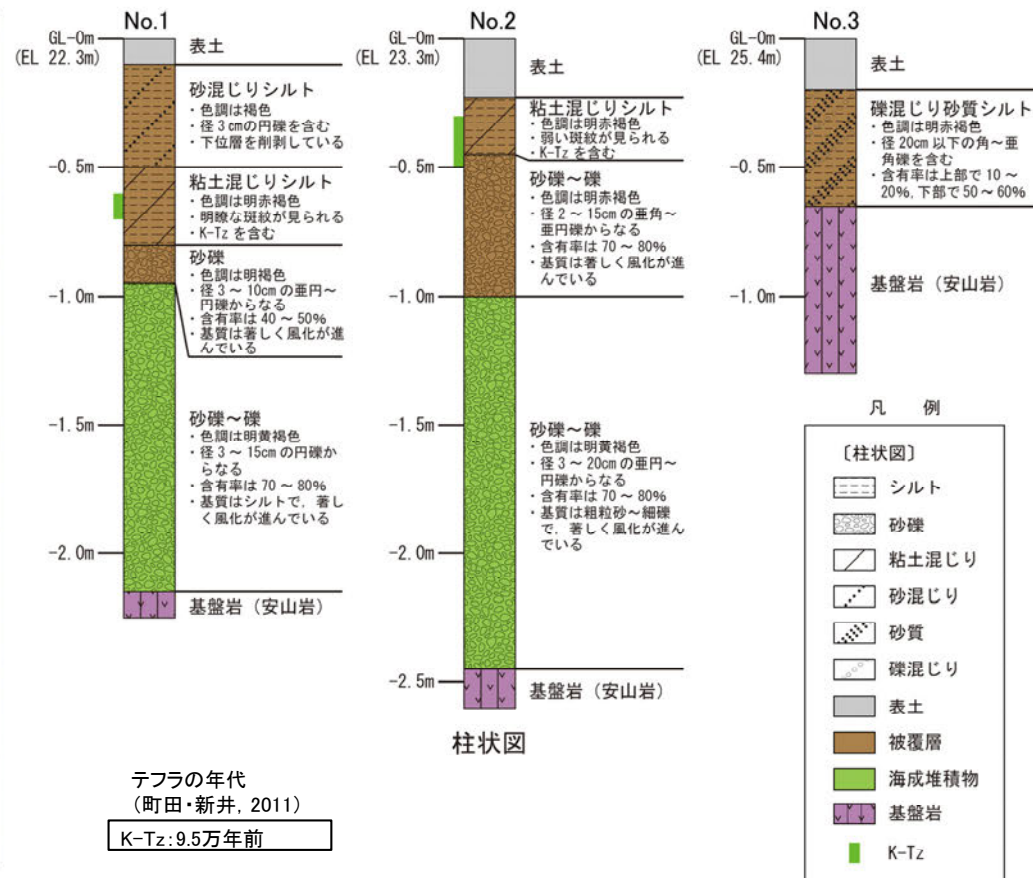
テフラの年代
(町田・新井, 2011)
AT: 2.8万~3万年前
K-Tz: 9.5万年前



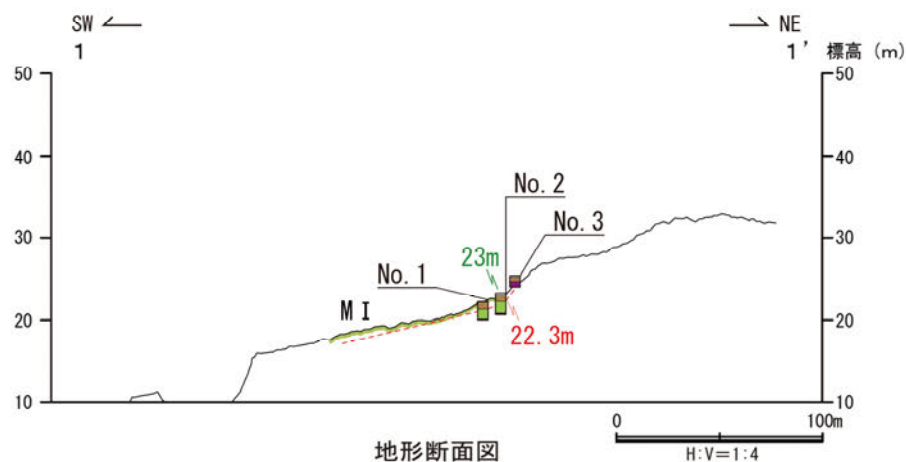
柱状図



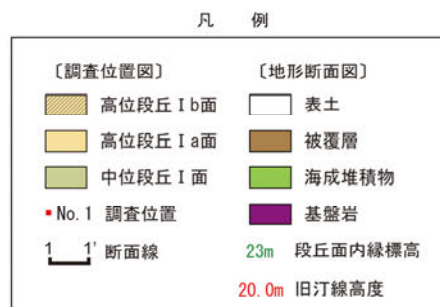
調査位置図



柱状図

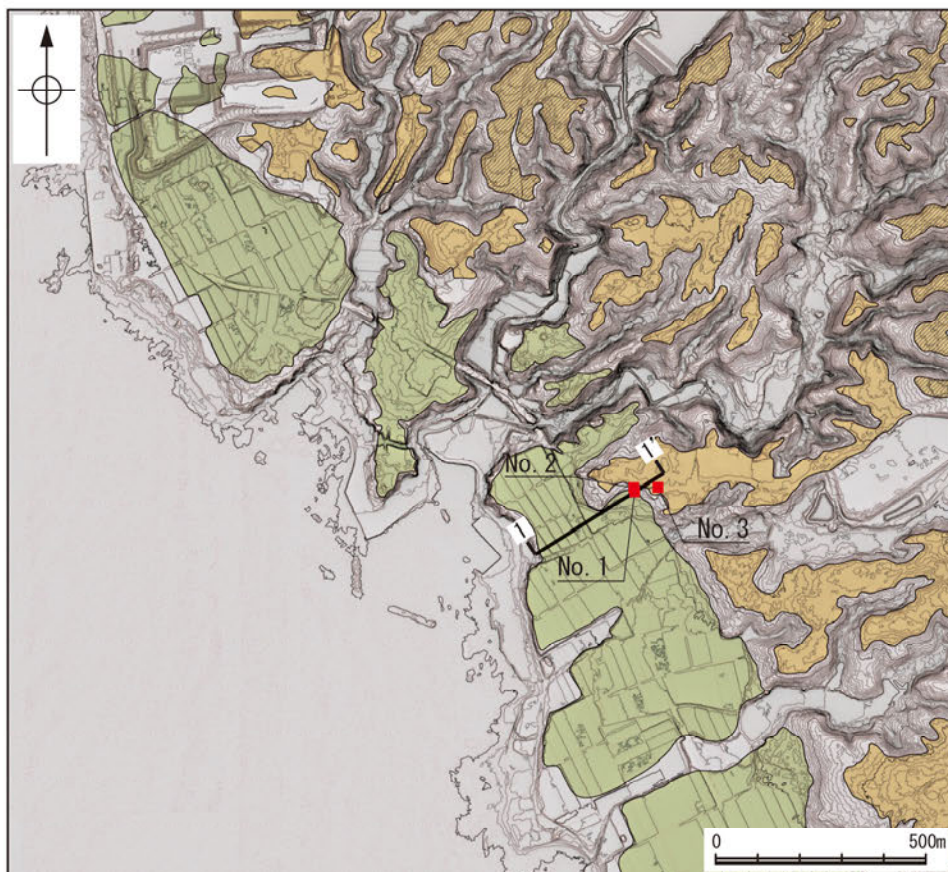


地形断面図

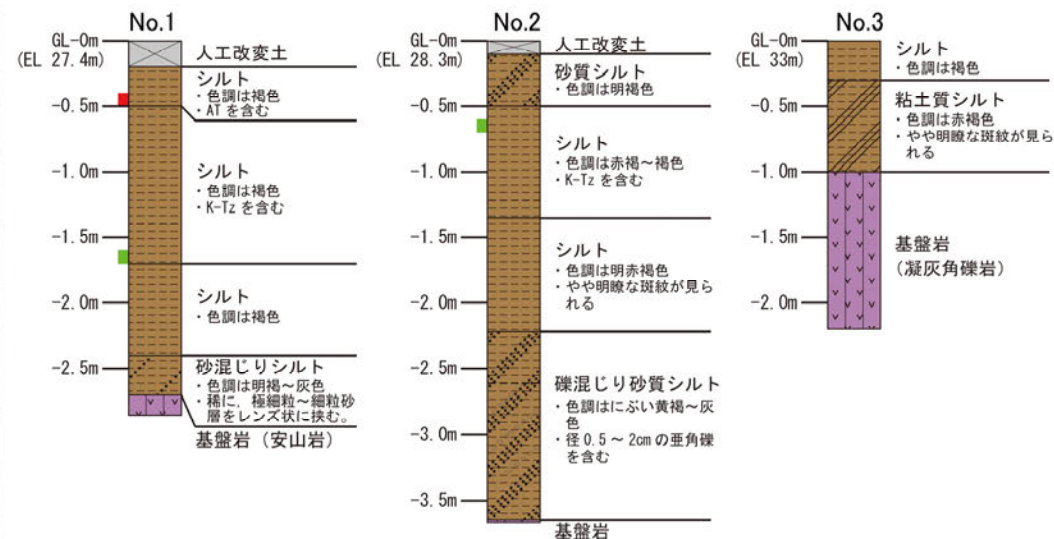


ピット写真 (No. 2)

⑦中位段丘 I 面, ⑧高位段丘 I a面 段丘面調査結果



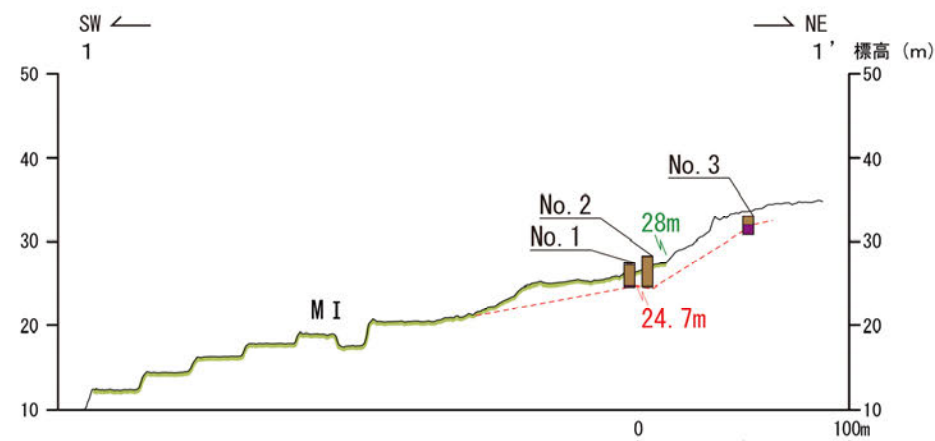
調査位置図



柱状図

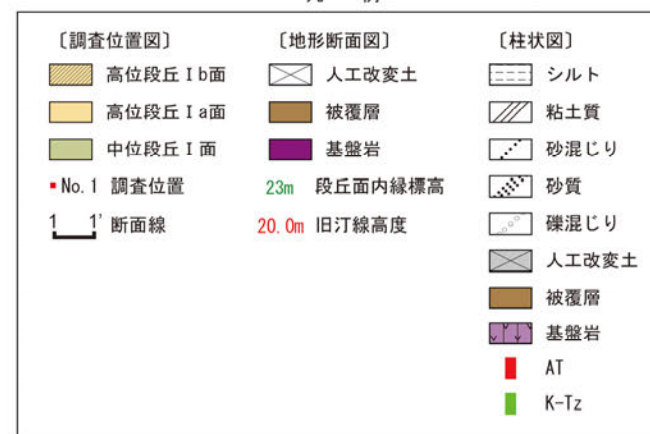
テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万～3万年前
K-Tz: 9.5万年前

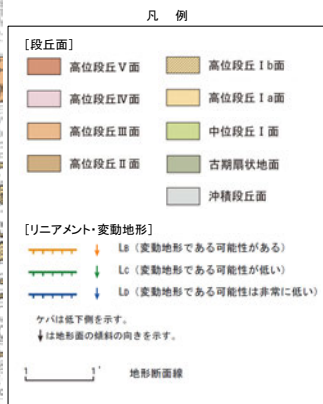


地形断面図

凡例



⑨高位段丘 I a面 段丘面調査結果



調査位置図

深度 (m)	標高 (m)	地質柱状図	地質名	土壌層位		色調	地層区分	記事	分析項目	
				名称	厚さ (cm)				火山灰分析	その他分析
0.0	45.61		シルト		0.35	褐灰色 (10YR4/1)	耕作土	強い指圧で変形する。草根混じりである。下部は褐色味が乏しい。	AT 混在	遊離酸化鉄 結晶化指数: 0.73 活性度: 0.05
0.35	45.26		シルト	II B	0.15	橙色 (5YR6/6)	赤褐色土壌			
0.50	45.11		シルト	III B	0.90	赤褐色 (2.5YR4/8)	赤色土壌	強い指圧で変形しない。わずかに砂分を含む。赤褐色 (2.5YR4/8) 部と不明瞭な斑状模様をなす。		
1.0			シルト	III B	0.90	赤褐色 (2.5YR4/8)	赤色土壌	強い指圧で変形しない。		
1.40	44.21		礫混じりシルト	III C	0.20	明赤褐色 (5YR5/6)	礫混じりシルト層	0.7m付近まで白色の中粒砂分をわずかに含む。橙色部と明瞭な斑状模様 (トラ斑模様) をなす。0.8~0.9mは、やや赤色味に乏しい。付近より深部は赤色味乏しくなる。下位層との境界は漸移的である。		
1.60	44.01		凝灰角礫岩 (強風化)		2.90	褐~にぶい褐色 (7.5YR4/4~7.5YR5/4)	凝灰角礫岩 (強風化)	強い指圧で変形しない。灰褐色部をわずかに含む。1.55m付近~1.6mは、径5mm以下のくさり礫をわずかに含む (含有率10%以下)。礫は、黒色・褐色等の安山岩角礫。下位層との境界は不明瞭である。		
2.0			凝灰角礫岩 (強風化)		2.90	褐~にぶい褐色 (7.5YR4/4~7.5YR5/4)	凝灰角礫岩 (強風化)	風化により著しく酸化褐色化している。基質は、褐色~にぶい褐色を呈する。凝灰岩でナイフにより容易に傷がつく程に軟質化している。礫は、褐色・オリーブ色・黒色・赤褐色等、多様な風化色調を呈する。		
3.0			凝灰角礫岩 (強風化)		2.90	褐~にぶい褐色 (7.5YR4/4~7.5YR5/4)	凝灰角礫岩 (強風化)	安山岩角礫~亜角礫よりなる。礫も全般にナイフで削ることができる程、風化している。礫径は、2~150mm以上で分級が悪い。礫含有率は70%以上。3.0~4.5mは、径100mm以上の大礫とそれを充填する基質 (細礫) よりなる。		
4.0			凝灰角礫岩 (強風化)		2.90	褐~にぶい褐色 (7.5YR4/4~7.5YR5/4)	凝灰角礫岩 (強風化)	安山岩角礫~亜角礫よりなる。礫も全般にナイフで削ることができる程、風化している。礫径は、2~150mm以上で分級が悪い。礫含有率は70%以上。3.0~4.5mは、径100mm以上の大礫とそれを充填する基質 (細礫) よりなる。		
4.50	41.11		火山礫凝灰岩 (強風化)		0.53	赤褐~にぶい褐色 (5YR4/2~5YR5/4)	火山礫凝灰岩 (強風化)	基質は、上位と同質であるが赤色味を帯びる。礫は、径20mm以下の安山岩角礫よりなる。		
5.0	40.58		安山岩 (強風化)		0.97	にぶい橙~浅黄褐色 (7.5YR7/4~7.5YR8/4)	安山岩 (強風化)	礫含有率は50%程度。		
5.03			安山岩 (強風化)		0.97	にぶい橙~浅黄褐色 (7.5YR7/4~7.5YR8/4)	安山岩 (強風化)	著しく風化しており、ナイフで容易に削ることができる。5.5m付近までは粗粒~細粒状の白色粒子を多く含む、角礫質である。全体に割れ目は少なく、割れ目沿いの脆弱化は見られない。		
6.0			安山岩 (強風化)		0.97	にぶい橙~浅黄褐色 (7.5YR7/4~7.5YR8/4)	安山岩 (強風化)			

ATについては混在であり降灰層準を認定していない。

柱状図

テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前



コア写真

火山灰分析結果

試料番号	地層区分	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
				Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
0.30-0.40	耕作土 10YR4/1	AT混在								
0.40-0.50	赤褐色土壌 5YR6/6									
0.50-0.60										
0.60-0.70										
0.70-0.80										
0.80-0.90	赤色土壌 2.5YR4/8									
0.90-1.00										
1.00-1.10										
1.10-1.20										
1.20-1.30										
1.30-1.40										
1.40-1.50	礫混じりシルト 5YR5/6									
1.50-1.60										

試料は10cm間隔

■ バブルウォール (B) タイプ

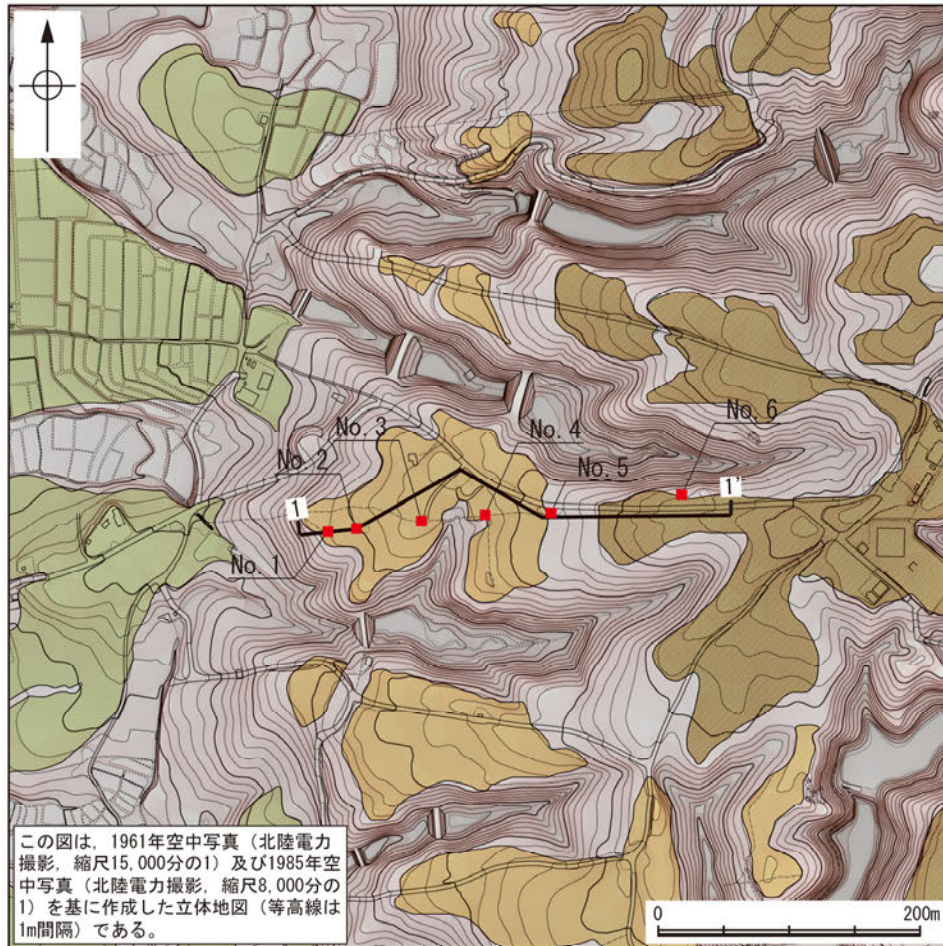
Opx: 斜方輝石

GHo: 緑色普通角閃石

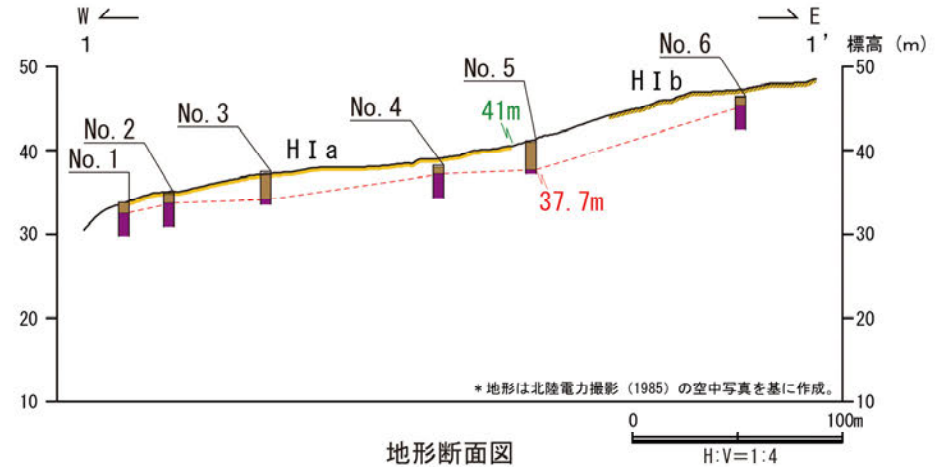
Cum: カルシウム角閃石

Count: 個数

⑩高位段丘 I a面, ⑪高位段丘 I b面 段丘面調査結果



調査位置図

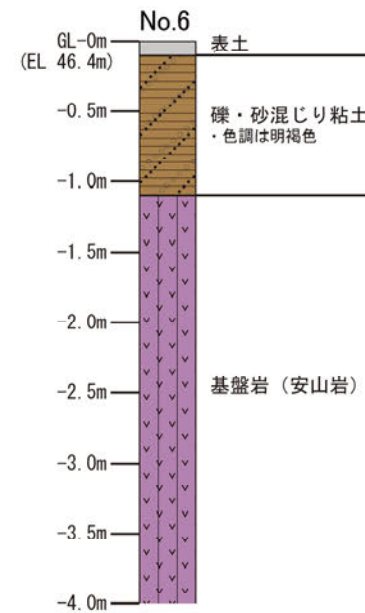
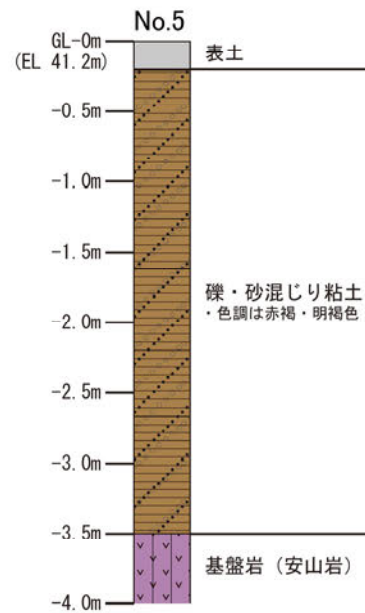
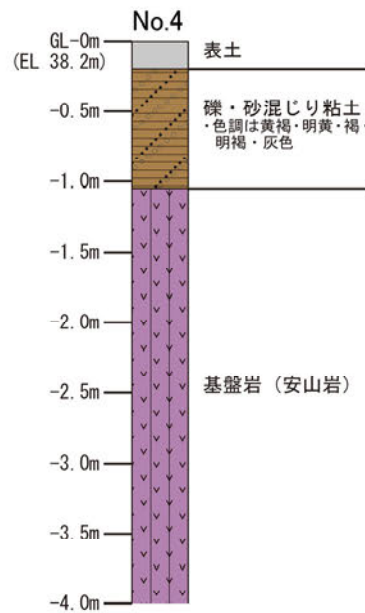
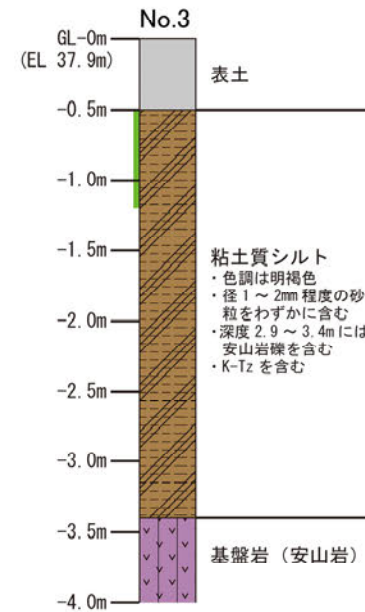
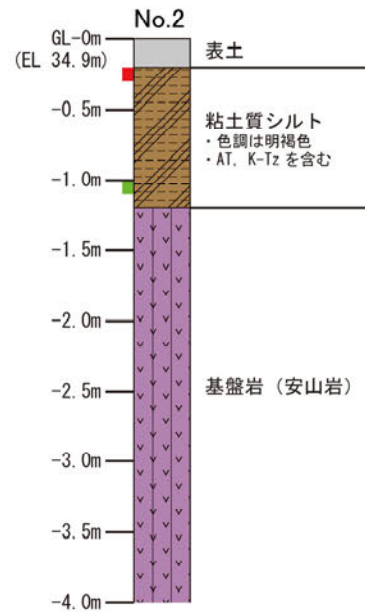
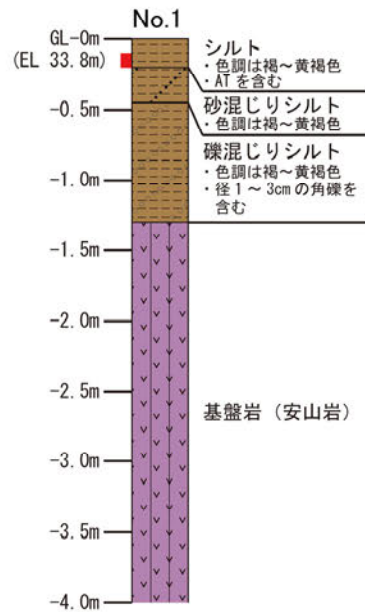


本測線の地質データは、1号機建設前（S60, 61年）にボーリング調査によって取得されており、コアの状況が悪く、海成堆積物の識別が困難である。

凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘 I b面	表土
高位段丘 I a面	陸成堆積物
中位段丘 I 面	基盤岩
No. 1 調査位置	23m 段丘面内縁標高
1 1' 断面線	20.0m 旧汀線高度

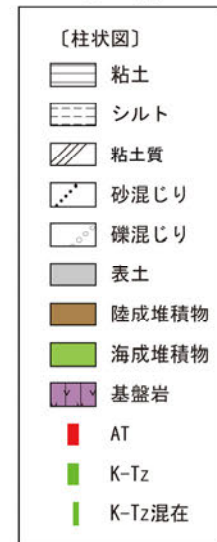
【柱状図】



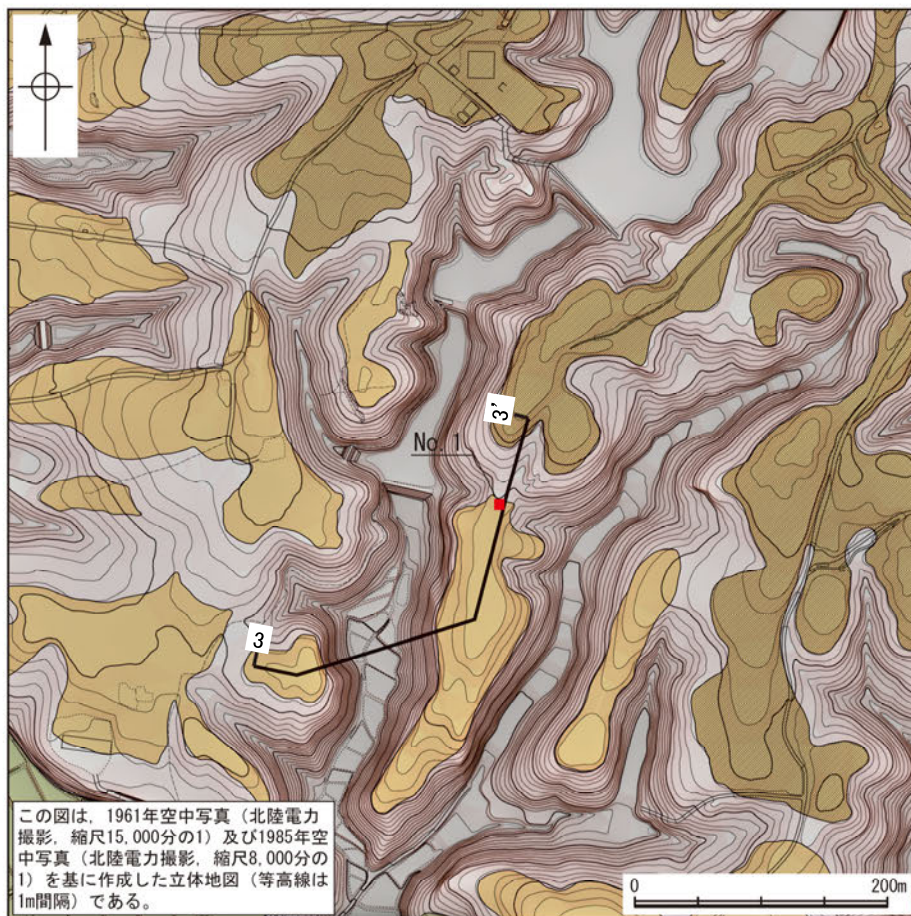
テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万～3万年前
K-Tz: 9.5万年前

凡 例



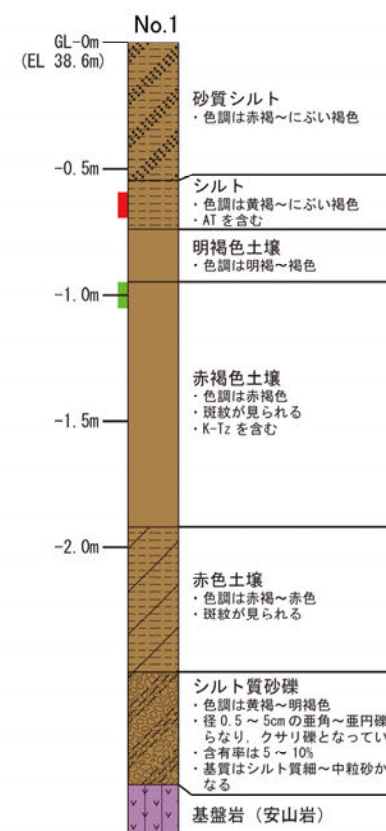
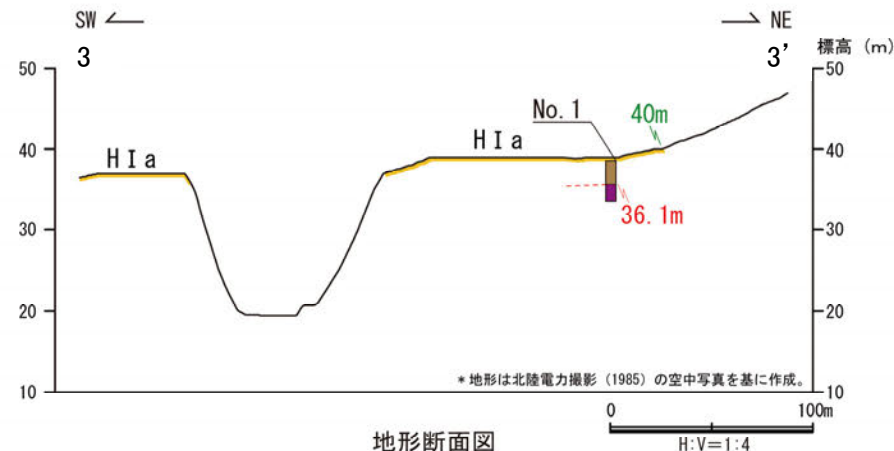
柱状図



調査位置図

凡例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕	〔柱状図〕
高位段丘 I b面	陸成堆積物	シルト
高位段丘 I a面	基盤岩	砂礫
中位段丘 I 面	23m 段丘面内縁標高	粘土混じり
No. 1 調査位置	20.0m 旧汀線高度	シルト質
1' 断面線		砂質
		陸成堆積物
		基盤岩
		AT
		K-Tz



テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前
K-Tz: 9.5万年前

⑬高位段丘 I b面 段丘面調査結果



調査位置図



深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土 色						トラ斑記載		
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		色 相		斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト	
				5 YR	2.5 YR	10 R	最大赤平均	淡 漸	赤:赤色部 淡:淡色部 漸:漸変部			
I		50										
0.5	II B2g1	80	[Soil Profile]							赤:2.5YR4/8 淡:10YR7/3 (にぶい黄橙) 漸:10YR5/8	上部:斑点状 中・下部: 1cm~3cm間 隔の網目状パ ターン	明 瞭
1.0												
1.5	II B2g2	100	[Soil Profile]							赤:最大 2.5YR ~10R4/8 平均 2.5YR4/8 淡:7.5YR7/3 (にぶい橙) 漸:10YR5/8	霜降り ロース状	明 瞭
2.0												
2.5	安山岩		V V V V V									

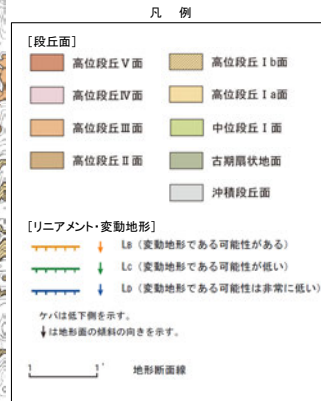
柱状図



近接写真(II B2g1)



近接写真(II B2g2)



深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.5	[柱状図]	A1	砂質シルト	黒褐 (10YR 3/2)	粒状	多	疎	乾	不明	なし	指圧で指が入る程。非常に縮まりの程度は悪い。
		A2	砂質シルト	にぶい黄褐 (10YR 5/4)	弱亜角塊状	含	疎	半湿	不明	なし	指圧で跡が残る程。縮まりの程度は悪い。
0.5	[柱状図]	B1	砂混じりシルト	明褐 (7.5YR 5/6)	弱亜角塊状	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的縮まっている。
		B2	シルト質粘土	明赤褐 (5YR 4/6) にぶい黄橙 ~ にぶい黄橙 (10YR 6/4-5/4)	中塊状	なし	密	半湿	不明	やや鮮明・まだら	指圧で跡が残らない程。縮まっている。
1.0	[柱状図]	II B2	シルト質粘土	赤褐 (2.5YR 4/8) にぶい黄橙 (10YR 7/3-6/4)	中〜強塊状	なし	密	半湿	不明	鮮明・縦	指圧で跡が残らない程。縮まっている。
1.5											
2.0	[柱状図]	堆積物	シルト質粘土	灰白 (5YR 8/2)							指圧で跡が残らない程。縮まっている。

柱状図



露頭写真